MITSUBISHI

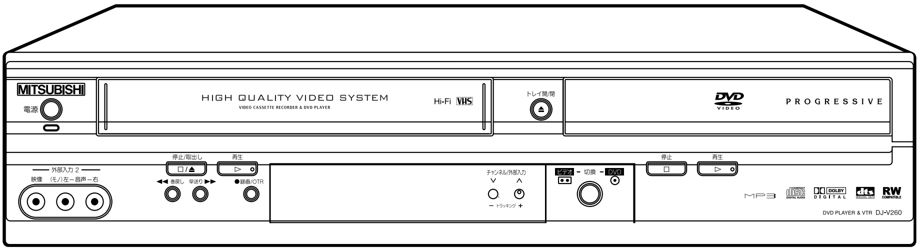
三菱DVDプレーヤー一体型ビデオ

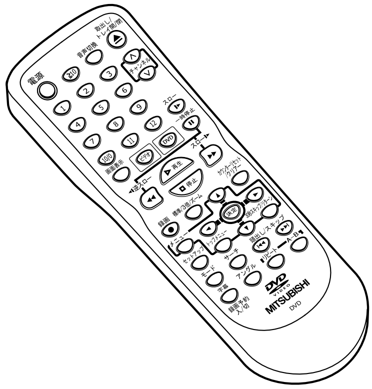
形名

DJ-V260

取扱説明書

4 はじめに
19 接続
26 設定
37 ビデオ編
66 DVD編
114 故障かな？と思ったときは
116 その他





このたびは三菱DVDプレーヤー一体型ビデオをお買い上げいただきありがとうございました。

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」と共に大切に保管し、必要なときお読みください。
「保証書」は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と「保証書」の製造番号をお確かめください。

もくじ

はじめに

・安全にお使いいただくために ・・・4
・使用上のお願い ・・・8
・ディスクについて ・・・11
・ディスクの構成 ・・・12
・おもな特長 ・・・13
・各部のなまえとはたらき ・・・14

接続・設定　接続・設定について

・アンテナ線をつなぐ ・・・19
・本機とテレビをつなぐ ・・・21
・アナログオーディオ機器との接続 ・・・23
・デジタル入力端子つきアンプとの接続 ・・・24
・ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーとの接続 ・・・25
・ビデオ/DVDの切換操作について ・・・26
・本機の機能操作について[DVD] ・・・27
・本機の機能操作について[ビデオ] ・・・28
・日付と時刻の合わせかた ・・・29
・自動チャンネルの設定 ・・・31
・不要なチャンネルの削除(スキップ)とチャンネル復帰 ・・・33
・チャンネル設定変更 ・・・35
・チャンネル設定変更画面について ・・・36

ビデオ編　ビデオを再生する

・再生のしかた ・・・37
・早送り・巻戻しのしかた ・・・39
・スピードサーチ ・・・40
・スロー再生 ・・・41
・静止画再生 ・・・41
・ピクチャーセレクト ・・・42

ビデオ編　ビデオに録画する

・テレビ番組の録画 ・・・43
・オフタイマー録画 ・・・45
・録画予約 ・・・46
・予約内容の確認 ・・・52
・留守録リターン ・・・53
・予約延長設定 ・・・54
・予約内容の修正・取り消し ・・・56
・サテライト予約 ・・・58

ビデオ編　ビデオの便利な機能

・音声多重放送について ・・・60
・テープの頭出し ・・・61
・テープポジション ・・・62
・ＣＭスキップ ・・・63
・画面表示ボタンの使いかた ・・・63
・テープのダビングについて ・・・64
・テープをダビングするには ・・・65

DVD編　DVD・CDを再生する

・DVD、音楽用CDの再生 ・・・66
・MP3／JPEGディスクの再生 ・・・68
・MP3／JPEGファイル形式について ・・・70
・スライドショーモード ・・・71
・JPEGファイルの画像サイズを調整する ・・・72
・MP3／JPEGディスクをプログラム順に再生する ・・・73
・MP3／JPEGディスクをランダムに再生する ・・・74
・MP3／JPEGディスクをフォルダごとに再生する（フォルダ再生） ・・・74
・早送り／早戻しをする ・・・75
・つづきから再生する(リジューム機能) ・・・76
・再生を一時停止する(一時停止) ・・・77
・チャプターやトラックを頭出しする（スキップ） ・・・77
・コマ送り ・・・78
・スロー再生 ・・・79

もくじ

・繰り返し再生(リピート再生) ・・・ 80
・繰り返し再生(A-Bリピート再生) ・・・ 81
・音楽用CDをプログラム再生する ・・・ 82
・音楽用CDをランダム再生する ・・・ 83
・ディスクメニューを使う ・・・ 84
・タイトルメニューを使う ・・・ 85
・VRモードで記録されたDVD-RW/-Rディスクを再生する ・・・ 86

DVD編 希望するところから再生する（サーチ）

・希望するチャプターまたはタイトルからの再生（チャプター／タイトルサーチ） ・・・ 87
・希望するタイムカウントからの再生（タイムサーチ） ・・・ 88
・希望するトラックからの再生（トラックサーチ） ・・・ 89
・マーカーをしたところからの再生（マーカーサーチ） ・・・ 90

DVD編 再生中に切りかえる

・音声(言語)をかえる ・・・ 91
・字幕(言語)をかえる ・・・ 92
・アングル(カメラアングル)をかえる ・・・ 93
・ズーム再生（画面上で拡大） ・・・ 94
・画質・音声調整設定 ・・・ 95
・画面表示の切り換え ・・・ 98

DVD編 DVD・CDの設定をかえる(セットアップ)

・設定一覧 ・・・ 100
・簡単設定 ・・・ 101
・言語設定 ・・・ 103
・言語コード一覧表 ・・・ 106
・ディスプレイ(映像設定) ・・・ 107
・オーディオ(音声設定) ・・・ 110
・視聴制限 ・・・ 112

故障かな？と思ったときは

・ここをお調べください ・・・ 114

その他

・さくいん ・・・ 116
・用語の解説 ・・・ 118
・仕　　様 ・・・ 120
・保証とアフターサービス ・・・ 122

― アナログ放送からデジタル放送への移行について ―

デジタル放送への移行スケジュール

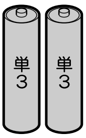
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の施策として決定されています。

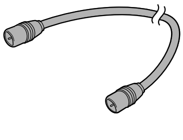
アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

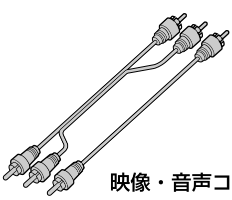
別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画頂けます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

付属品が同梱されているかお確かめください。

リモコン


単3乾電池(2個)
(リモコン動作確認用)


同軸ケーブル


映像・音声コード

リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制にしたがって処分してください。

安全にお使いいただくために

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意　誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

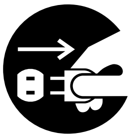
■ 図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください
絶対に水にぬらさないでください	絶対にぬれた手で触れないでください	指のケガに注意してください
必ず指示にしたがい、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	手をはさまないよう注意してください

⚠警告

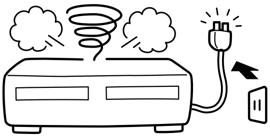
万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

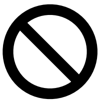
異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

煙がでている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

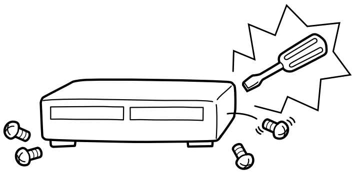




使用禁止

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

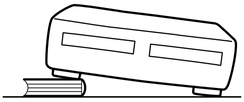
キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない

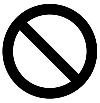


分解禁止

火災や感電の原因となります。また、レーザー光が目に当たると、視力障害をおこす原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

不安定な場所には置かない

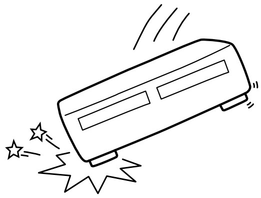


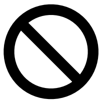


禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない





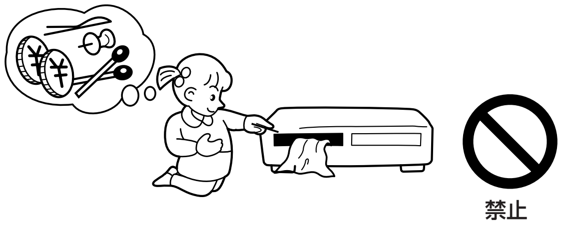
使用禁止

火災や感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

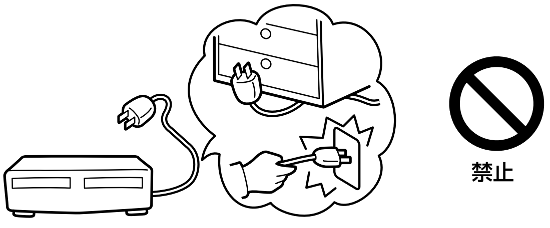
⚠警告

異物を入れない
（とくにお子様にご注意を）



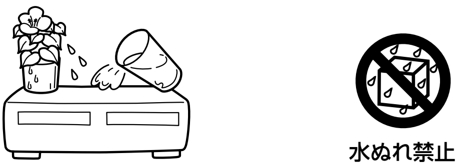
トレイ開閉口やテープ挿入口、通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない
● 重いものをのせない ● 引っ張らない
● ねじらない ● 無理に曲げない ● 加熱しない
● 加工しない ● 束ねない



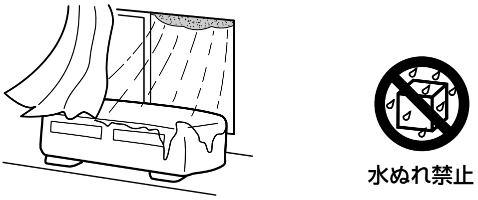
コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

花びんやコップ、植木鉢などを上に置かない



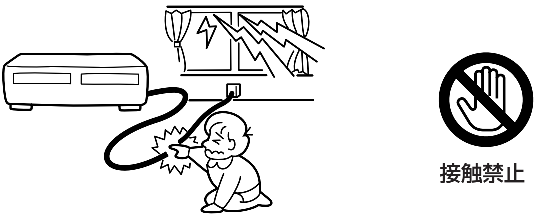
内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

水でぬらさない



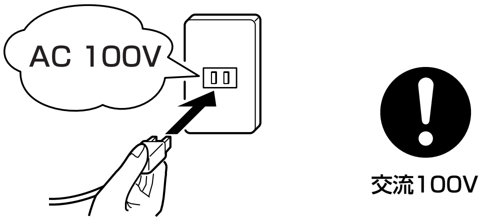
火災や感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、とくにご注意ください。

雷が鳴りだしたら、電源コードには触れない



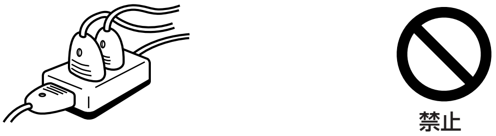
感電の原因となります。

電源は交流100Vを使う



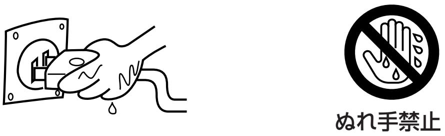
交流100V以外の電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

タコ足配線をしない



火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となります。

次ページに続きます。

はじめに

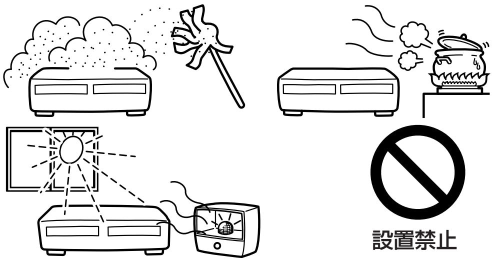
安全にお使いいただくために

⚠注意

設置時は、次のような場所には置かない

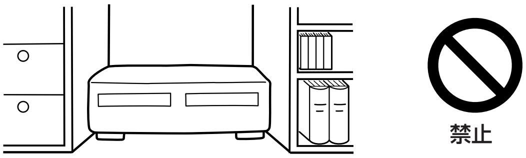
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所
- 熱器具の近く
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどして、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。



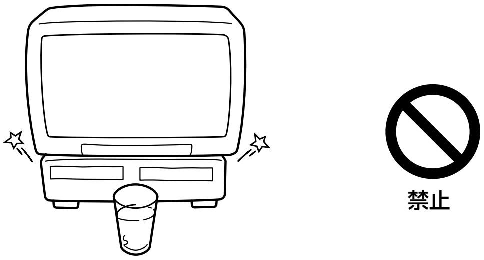
風通しの悪いところ、狭いところに置かない

- 押し入れや本棚などに押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない



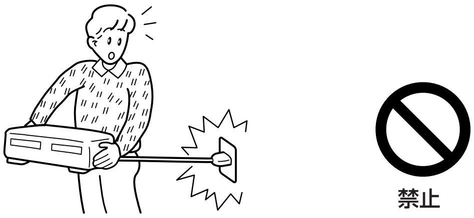
内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

テレビなどの重いものを上に置かない
上にのらない(とくにお子様にご注意を)
トレイの前に物を置かない



バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。

接続したまま移動させない

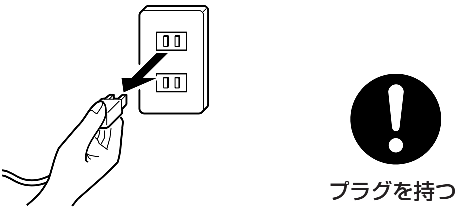


電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。また、ディスクやビデオテープは取り出しておいてください。

トレイ開閉口やテープ挿入口から手を入れない
(とくにお子様にご注意を)

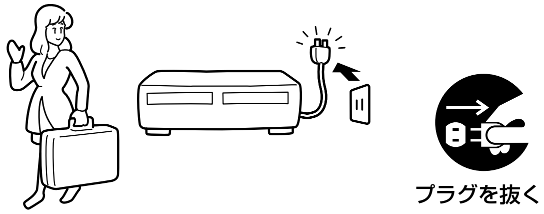
手がはさまれ、けがの原因となることがあります。万一、手をはさまれたときは、無理に引き抜かず、電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

電源プラグを持って抜く



電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

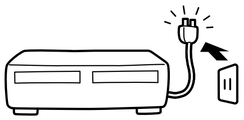
長時間の外出や旅行のときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

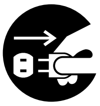


安全にお使いいただくために

⚠注意

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

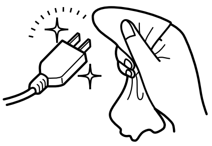




プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取る

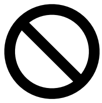
ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

3年に一度は、内部の清掃を販売店に依頼する

内部清掃

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。とくに湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない



禁止

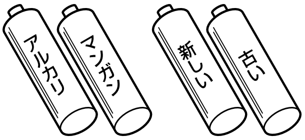
飛び散ってけがの原因となることがあります。

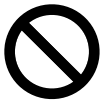
乾電池はプラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる

正しく入れる

間違えると、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけがが、周囲を汚す原因となることがあります。

乾電池は指定以外のものを使わない
- **種類の異なるものを混ぜて使わない**
- **新しいものと古いものを混ぜて使わない**

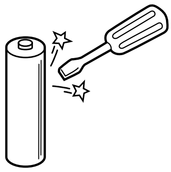


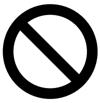


禁止

指定以外のものを使うと、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけがが、周囲を汚す原因となることがあります。

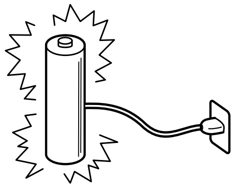
分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない

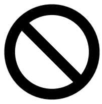




禁止

乾電池を充電しない
充電式の電池は使用しない





禁止

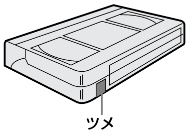
使用上のお願い

ビデオカセットテープについて

このビデオは、VHS 方式のビデオです。VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

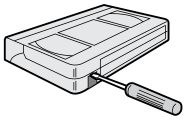
大切な録画テープを誤って消さないように…

誤消去防止用のツメ



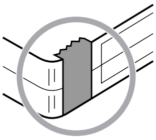
• カセットテープには**誤消去防止用のツメ**がついています。

誤って消さないために…



• ドライバーなどでツメを折ります。
(ツメ折れテープは録画できません)

ふたたび録画したいとき…



• セロハンテープを二重に貼りめくれないようにしてください。

テープの保管は…

■ 次のような場所に保管された場合、テープを傷める場合があります。
- **湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ**
- **直射日光が当たるところやストーブの近く**
- **磁気の発生するところ**

■ 落としたり衝撃を与えないでください。
■ ケースに入れて保管してください。

録画時間について…

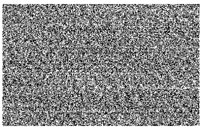
✐ **標準**：画質優先の場合に使用するモードです。
テープに表示されている時間を録画することができます。
✐ **3倍**：長時間録画の場合に使用するモードです。テープに表示されている時間の**3**倍の時間を録画することができます。

テープの種類	標 準	3 倍
T-60	60分	180分
T-120	120分	360分
T-160	160分	480分
T-180	180分	540分

映像が映らないとき…

■ 突然、画像が下記のようになった場合は、ビデオヘッドが汚れていることが考えられますので市販の「**クリーニングテープ**」(乾式)で、ヘッドクリーニングを定期的に行ってください。

■ ヘッドクリーニングしても効果がない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



"ザラザラ"した映像

"ブルー"一色の映像

"ノイズ"が入った映像

オートヘッドクリーニングおよびビデオヘッドの寿命について

■ **オートヘッドクリーニング機能について**
カセットテープを入れたときや、出したときに自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きます。上記画像になった場合には、ビデオヘッドのクリーニングが必要です。市販のクリーニングテープ（乾式）でヘッドクリーニングを行ってください。(ただし、取りきれない汚れもあります。)

■ **ビデオヘッドの点検について**
美しい画面をご覧いただくためには、使用環境(温度/湿度/ほこり)などによって異なりますが、ビデオヘッドはおよそ**1000時間**を目安に点検(清掃/注油/部品交換)されることをおすすめします。詳しくは、**お買い求めの販売店にご相談ください。**

■ **ビデオヘッドの交換について**
ビデオヘッドは、レコード針と同じように磨耗するため、鮮明な映像が映らなくなることがあります。このような場合は、ヘッドの交換が必要になります。**交換費用も含め、お買い求めの販売店にご相談ください。**

市販テープ・レンタルテープのダビングについて

■ 市販のテープやレンタルテープをダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、テレビの映像が正常に映らない場合があります。これは著作権者保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。

■ あなたがテレビ放送や音楽用CD、録画物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

テープ内容補償・ご注意について

万一本機およびビデオカセット等の不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

はじめに

使用上のお願い

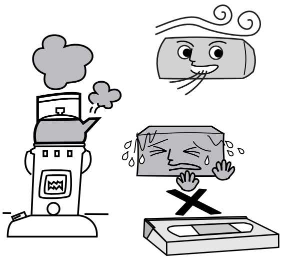
結露について（本機は乾燥した状態でご使用ください。）

■ **結露が発生した場合はビデオテープやディスクを本機に挿入しないでください。（本機やビデオテープ、ディスクを傷めてしまいます。）結露が発生しているときに、ビデオテープを本機に挿入されると、**ドラムヘッドにテープが張りつき、巻きついてしまい、テープや本機を傷めてしまいます。また、ディスクを本機に挿入された場合、ディスク信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。

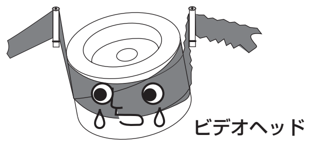
■ **本機はよく乾燥した状態でお使いください。**
結露が発生した場合、電源を「入」にしたまま、**最低2時間**は乾燥のため放置した上で本機をご使用ください。

■ 結露とは…
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「**結露**」(またはつゆつき)と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のドラムヘッドやピックアップレンズ、ディスクに水滴がつきます。乾燥させないかぎり、本機はご使用にならないでください。

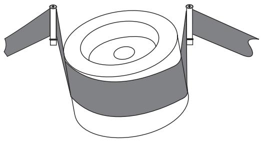
■ **次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。**
- **本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき**
- **急に部屋を暖房したとき**
- **エアコンなどの冷風が直接当たるところ**
- **湿気の多いところ**



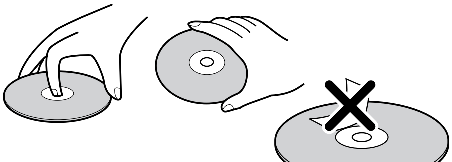
結露が発生したときの
テープが巻きついてしまった状態



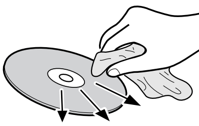
正常なテープローディング状態



ディスクの取り扱い



■ 再生面(虹色に光っている面)に触れないようにディスクの端を持ってください。
■ 紙やシールなどを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
■ 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)
■ 使用後は、**所定のケースに入れて、保管してください。**ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。
■ 指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。
■ お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外のほうへ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。
■ ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
■ 新しいディスクを使用する場合は、ディスクの外周や中心の穴にギザギザが残っている場合があります。ギザギザが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでボールペンなどでこすり、ギザギザを取り除いてください。



■ 本機で使用できるディスクについては、[➡ **11ページ**]をご覧ください。

著作権について

■ **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
■ **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
■ 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。
■ この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
■ 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
■ Dolby、ドルビーおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
■ DTS、DTSデジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
■ DVDロゴはDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の登録商標です。

MP3の再生機能について

本製品のMP3再生機能は、個人使用に限ってライセンスされており、営利目的で使用することはできません。

本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

本機のプログレッシブ出力(525p/480p)は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機プログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で[D1/D2出力]を[インターレース]にし、本体表示部の“P.SCAN”を消灯させてください。

次ページに続きます。

はじめに

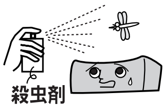
使用上のお願い

レーザーピックアップについて

■ この取扱説明書の該当部分と「故障かな？と思ったときは」をお読みになり、操作を行ってもプレーヤーが正常に動作しない場合は、レーザーピックアップが汚れている可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。
■ 市販のレンズクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがあるため使用しないでください。

本機の置き場所や取り扱いについて

■ ほかの機器とあまり近づけると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。
■ 本機とテレビを上下に重ねて置くと、映像や音声が乱れたりディスクやビデオテープがでないなどの故障の原因となることがあります。
■ 本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
■ 強い磁気を持っているものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれることがあります。
■ キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。
■ ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
■ ご使用にならないときは、必ず**[停止]ボタン**を押してからビデオカセットテープまたはディスクを取り出し、電源を切ってください。



■ 長期間ご使用にならないときは、液もれを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。
■ 本機を移動するときは、ディスクやビデオカセットテープを取り出し、電源を切ってください。
■ 本機は日本国内専用です。放送形式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。(This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.)

ビデオのトラッキング調整について

ほかのビデオで録画したテープを本機で再生すると、映像にノイズがでる場合があります。その調整を行うのが、**トラッキング調整**で、**デジタル調整(自動)とマニュアル調整(手動)の2つの方法**があります。また、テープを再生するとデジタルトラッキング調整が自動的に行われますが、ノイズが少なくならない場合はマニュアルトラッキング調整をしてください。

デジタルトラッキング調整

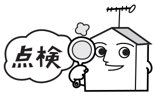
✐ 再生中、自動的に調整します。

マニュアルトラッキング調整

✐ **デジタルトラッキング時**にテレビ画面を見ながら**[チャンネル**(∧または∨)**]ボタン**で、ノイズが最も少なくなる位置に合わせてください。
- 再生を**停止したり**、ビデオカセットテープを**入れ直す**とデジタルトラッキングに戻ります。
- マニュアルトラッキングからデジタルトラッキングにするときは、**1度[停止]ボタン**を押して**再生を停止してからもう1度**再生してください。

アンテナについて

■ 妨害電波をさけるために電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされているので定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。



ご注意

■ 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、映像または、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。
■ 次のような場合に、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、テレビと本機を離してください。
・本機の上にテレビを直接置いたとき。　　・テレビの上に本機を直接置いたとき。

この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD-V	DVDビデオディスク(ビデオモード)で楽しめる機能を表します。
CD	音楽用CDディスクで楽しめる機能を表します。
MP3	MP3ファイル形式で記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。
JPEG	JPEGが記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。
VR DVD-RW/-R	VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RW/-Rディスクで楽しめる機能を表します。
ちょっと一言!	操作上、気を付けていただきたい情報を表します。
	用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行っています。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下表のディスクを再生できます。

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 2 ALL 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音声＋映像(動画)	12cm盤／8cm盤
DVD-RW/DVD-R※ 記録状態によっては再生できないディスクもあります CPRM対応	音声＋映像(動画)	12cm盤／8cm盤
音楽用CD	音声	12cm盤／8cm盤
CD-RW/CD-R 音楽CDフォーマット、MP3、JPEGファイル形式で記録されたディスク	音声（MP3） 静止画像（JPEG）	12cm盤／8cm盤

※ ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- ディスクレーベル面に上記ロゴマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生できない場合があります。また再生できた場合であっても、画質・音質の保証は致しかねます。
- ディスクの記録状態、傷、汚れやDVD再生機のピックアップの状態により再生ができない場合があります。
- Content Protection for Recordable Media
  CPRMとは、「1回だけ録画可能」番組に対してスクランブルをかけて録画する著作権保護システムです。

DVD-RW/-Rディスクの再生について
- DVD-RW/-Rディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行ってください。
- ビデオモード、VRモード、ファイナライズなど、DVD-RW/-Rについて詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、DVD-R DL、VRモードで記録されたDVD-Rディスク（CPRM対応）も再生できますが、ディスクの記録状態によっては再生できない場合があります。
- DVD+RW/+Rディスクは、DVDビデオ互換ディスクのみ再生できます。

RW COMPATIBLE　この表示は、DVDレコーダーでVRモード（ビデオレコーディングフォーマット）記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示しています。(CPRM対応)

■ 記録領域が少ないディスク（直径55mm以下）は再生できない場合があります。
■ コピーコントロールDVDなど、DVD規格に準拠していないディスクについては、再生状態を保証できません。特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
■ DVD-RW/-R, CD-RW/-Rを再生するとき、ディスクの記録状態が記録用機器、ディスク自体の状態、ディスクとの相性によっては再生できないことがあります。
■ CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生状態を保証できません。特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
■ ディスクにラベルや紙などを貼りつけると、再生できない場合があります。

ちょっと一言!

DVDビデオディスク
- ● 本機は、NTSC方式に適合しています。PAL方式やSECAM方式で記録されたディスクは再生できません。
- ● DVDビデオには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。
  本機のリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」です。
  （リージョン番号が2以外でも「ALL」と表記されているディスクは、再生できます。）

次のディスクは再生できません。
- ● 特殊な形状のディスク(ハート形など)（故障の原因となります。）
- ● NTSC方式以外（PAL方式など）で記録されたディスク
- ● CD規格外の音楽用CD（コピーコントロールつきCDなど）
- ● 無許可のディスク（海賊版のディスクなど）
- ● デュアルディスク（CD/DVD）

※8cmアダプター（音楽用CD用）は使わないでください。故障の原因となります。

次ページに続きます。

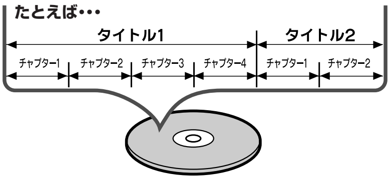
ディスクについて

DVDビデオソフトに記載されている表示をご確認のうえお楽しみください。

表示		機能説明
・リージョン番号（再生可能値域番号）を表しています。 2　ALL		・本機は、「リージョン番号」が「ALL」または「2」の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。		・本機を接続するテレビの種類（ワイドテレビや4：3のテレビ）に応じた画面サイズが選べます。
	4:3	・4：3の画面サイズで記録されています。
	16:9 LB	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは上下に黒いバーつき（レターボックス）画像を楽しめるように記録されています。
	16:9 PS	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは左右をカットした4：3の画像を楽しめるように記録されています。
・字幕の種類を表しています。 例：2　1：日本語 字幕 2：英語 字幕		・リモコンの[字幕]ボタンまたは、再生設定画面でお好みの字幕が選べます。
・DVDビデオディスクに記録されているカメラアングル数（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像）を表しています。 例：2		・リモコンの[アングル]ボタンまたは、再生設定画面でお好みのカメラアングルが選べます。
・音声トラック数や音声記録方式を表しています。 例：5 音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド） 音声2：日本語（ドルビーサラウンド） 音声3：ドルビーデジタル（ステレオ） 音声4：リニアPCM音声 音声5：日本語（3/2.1chサラウンド/DTS）		・DVDビデオディスクに記録されている音声をリモコンの[音声切換]ボタンで切り換えることができます。

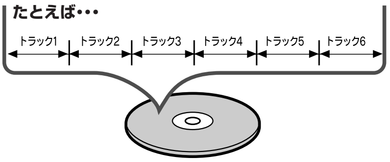
ディスクの構成

DVD



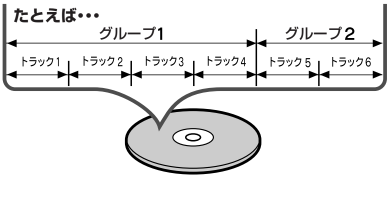
■ DVDビデオディスクは、「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。
●タイトルとは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。
●チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

音楽用CD



■ 音楽用CDは、「トラック」に区切り構成されています。
●トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

CD-RW/-R（MP3/JPEGファイル形式）



■ CD-RW/-Rに記録されているMP3およびJPEGのデータはグループとよばれる部分に分けられ、各グループはトラックとよばれる小さな部分に分けられています。MP3またはJPEGデータ作成の際、アルバムやトラックは階層に分けて記録させることができます。（記録方法はMP3レコーダーなどの説明書をご覧ください。）本機では8階層まで認識することができます。

ちょっと一言!

● 音楽用CDディスクは、ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
CD規格外の音楽用CDディスク（コピーコントロールつきCDなど）で録音されたディスクは、全く再生できないか、再生できても正常に再生できないことがあります。
● DVD-RW/-RやCD-RW/-Rの場合は、記録状態、ディスクの特性、傷、汚れ、本機のピックアップの汚れ、結露などにより、再生できないことがあります。また、パソコンなどで作成したディスクは再生できないことがあります。

おもな特長

ビデオ

ステレオ音声多重機能 [➡ 60ページ]
- ステレオサウンドや音声多重放送を楽しむことができます。

CATV対応チューナー [➡ 31～32ページ]
- C13ch～C63chまでのフルバンドを受信できます。

DVD

プログレッシブ [➡ 23ページ]
- 接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレーススキャン方式より、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しむことができます。

ドルビーデジタルサラウンド [➡ 25ページ]
- ドルビーラボラトリーズが開発した音声圧縮方式でマルチチャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

DTS(デジタルシアターシステム) [➡ 25ページ]
- デジタルシアターシステム社が開発した臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンドシステムを楽しむことができます。

早送り、早戻し、一時停止、スキップ、コマ送り、スロー再生 [➡ 75、77～79ページ]
- 早送り、早戻し、一時停止、チャプターやトラックの頭出し（スキップ)、コマ送り、スロー再生などの再生や停止ができます。

プログラム再生(音楽用CD、MP3/JPEG) [➡ 73、82ページ]
- 本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

ランダム再生(音楽用CD、MP3/JPEG) [➡ 74、83ページ]
- 本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

再生速度を微調整する（スピーチコントロール） [➡ 95ページ]
- 早送り／遅送り再生時でも聞き取りやすい音声を出力する機能です。

DVDメニュー言語切り換え [➡ 103～105ページ]
- DVDディスクに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

スクリーンセーバー機能
- 停止状態で約5分間の無操作で、スクリーンセーバーが起動します。

DVDプレーヤー自動電源オフ機能
- DVDプレーヤーで再生一時停止約30分間またはスクリーンセーバー起動後約25分間経過すると、DVDプレーヤーの電源が自動的に切れます。

希望する言語で字幕を表示 [➡ 92ページ]
- 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➡ 93ページ]
- 異なるアングルからの映像が､ディスクに記録されている場合には､希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➡ 91、110～111ページ]
- 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

視聴制限設定 [➡ 112～113ページ]
- 視聴レベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を制限することができます。

ディスクの自動判別
- DVDディスク､音楽用CD、MP3やJPEGを自動的に判別して再生します。

MP3/JPEG再生 [➡ 68～69ページ]
- CD-R、CD-RWに記録されたMP3やJPEGファイルを再生することができます。

バーチャルサラウンド [➡ 96～97ページ]
- バーチャル(疑似)サラウンドを楽しむことができます。

VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)ディスクの再生[➡ 86ページ]
- VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)で記録されたDVD-RW/-Rを再生することができます。

画面表示 [➡ 98～99ページ]
- 各時点で行っている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

サーチ [➡ 87～90ページ]
- チャプターサーチ： ユーザーが指定したチャプターをサーチすることができます。
- タイトルサーチ： ユーザーが指定したタイトルをサーチすることができます。
- タイムサーチ： ユーザーが指定した時間をサーチすることができます。
- トラックサーチ： ユーザーが指定したトラックをサーチすることができます。
- マーカーサーチ： ユーザーが指定した箇所をサーチすることができます。

リピート [➡ 80～81ページ]
- チャプター、タイトル、トラック：
  再生中のディスクのチャプター、タイトル、トラックを繰り返して再生することができます。
- オール（DVD-RW/-R(VR-モード)、音楽用CD、MP3、JPEG)：
  再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- A-B（DVDディスク、音楽用CD）： ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。
- グループ： MP3またはJPEGで再生中のグループを繰り返して再生することができます。

ズーム再生 [➡ 94ページ]
- 1.3倍、2倍または4倍に拡大した画面を表示させることができます。

つづき再生（リジューム機能） [➡ 76ページ]
- 再生をストップした位置から再生することができます。

黒レベル設定 [➡ 95～97ページ]
- 暗部の階調を補正し､暗いシーンでも見やすくできます。

ビットレート表示 [➡ 98ページ]
- ディスクの画像情報量を示します。

DRC [➡ 110～111ページ]
- 音量範囲をコントロールします。

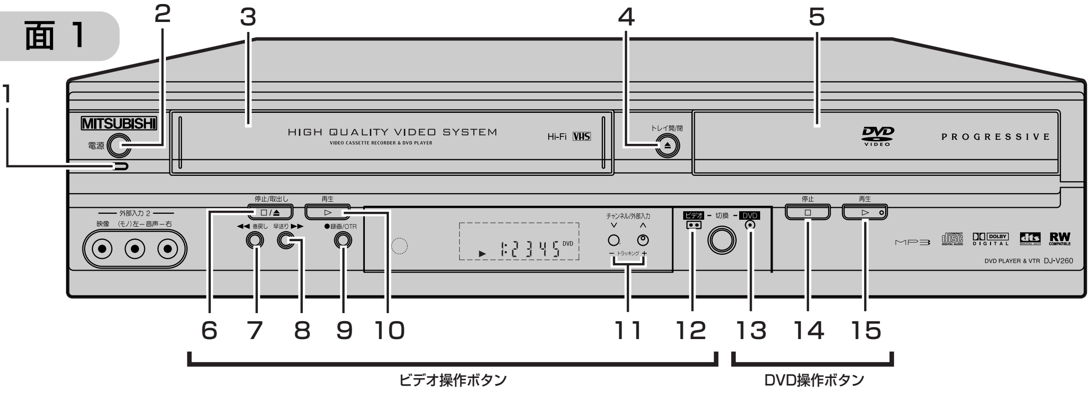
ダウンサンプリング [➡ 110～111ページ]
- 96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換することができます。

画質調整 [➡ 107～109ページ]
- ガンマ調整、シャープネス、色のこさ、色あいを調整することができます。

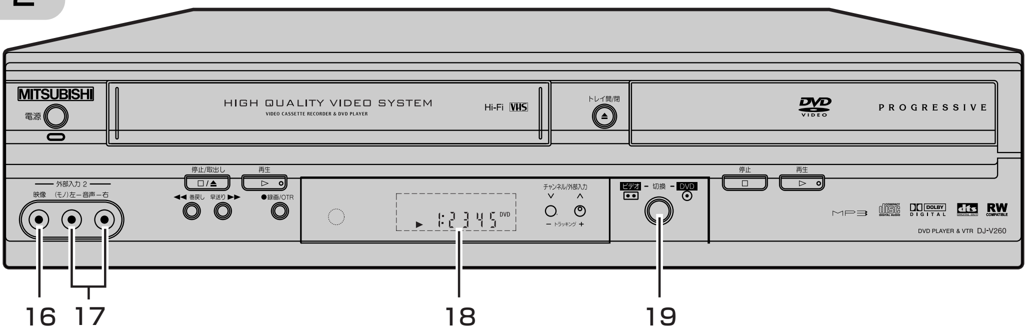
各部のなまえとはたらき

操作ボタンの機能については、次ページをご覧ください。

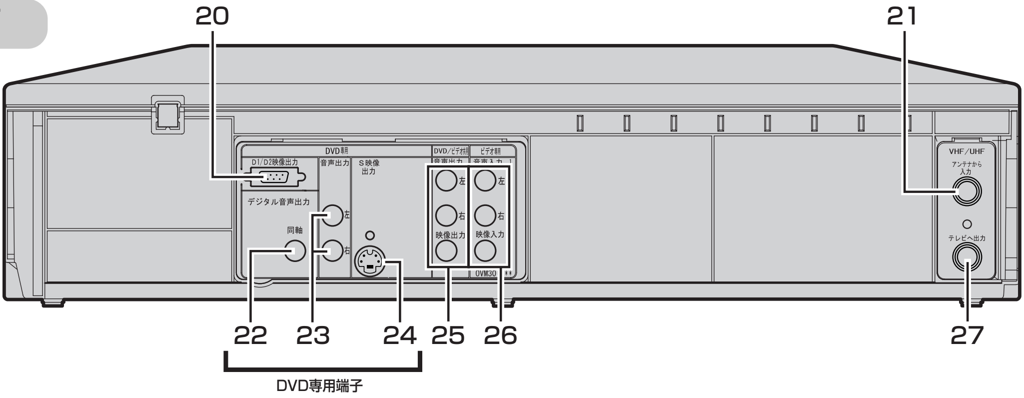
前 面 1



前 面 2



後 面



ちょっと一言!

- テープ走行中(再生／録画中など)に電源プラグをコンセントから抜かないでください。テープのから回りなど、故障の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、テープを取り出し、[電源]ボタンで電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

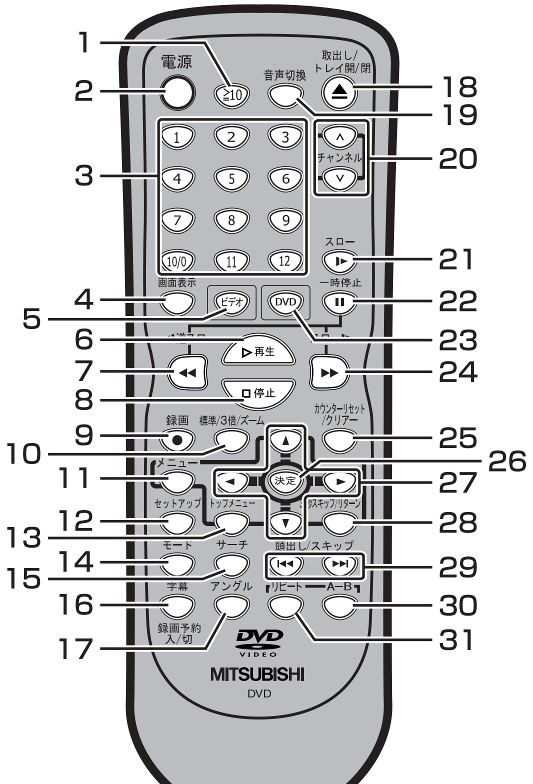
各部のなまえとはたらき

【 】内は、本文で説明しているおもなページです。

1. **電源ランプ(赤)**
   電源が入っているときに点灯します。
   自動時刻修正スタンバイ時にも点灯します。
2. **電源ボタン**
   電源の「入」「切」に使用します。
3. **カセットドア(ビデオ)**【37ページ】
   テープをセットします。
4. **トレイ開/閉ボタン(DVD)**【66ページ】
   トレイを出し入れします。
5. **トレイ(DVD)**【66ページ】
   ディスクをセットします。
6. **停止/取出しボタン(ビデオ)**【37ページ】
   ビデオの再生/録画を止めます。テープの取り出しをします。予約スタンバイ中は、スタンバイを解除します。
7. **巻戻しボタン(ビデオ)**【39ページ】
   ビデオの巻戻しをします。
8. **早送りボタン(ビデオ)**【39ページ】
   ビデオの早送りをします。
9. **録画/OTRボタン(ビデオ)**【43、45ページ】
   録画を開始します。オフタイマー録画の予約設定に使用します。
10. **再生ボタン(ビデオ)**【37ページ】
    ビデオの再生を開始します。
11. **チャンネル/外部入力ボタン(ビデオ)**
    【10、43、65ページ】
    ビデオランプ点灯時には、本機のチャンネルを変えます。再生中にマニュアルトラッキング調整するときにも使用します。
12. **ビデオランプ(緑)**【26ページ】
    このランプ点灯時はビデオの操作ができます。
13. **DVDランプ(緑)**【26ページ】
    このランプ点灯時はDVDの操作ができます。
14. **停止ボタン(DVD)**【67ページ】
    ディスクの再生を止めます。
15. **再生ボタン(DVD)**【67ページ】
    ディスクの再生を開始します。
16. **映像入力端子(ビデオ)**【64ページ】
    他機器との接続に使用します。
17. **音声入力(左/右)端子(ビデオ)**【64ページ】
    他機器との接続に使用します。
18. **表示部**【18ページ】
19. **ビデオ/DVD切換ボタン**【26ページ】
    ビデオ/DVD共用出力端子の映像、音声切り換えを行います。
20. **D1/D2映像出力端子(DVD)**【22ページ】
    市販のD端子ケーブルを接続します。
21. **VHF/UHFアンテナ入力端子**【19ページ】
    アンテナ線を接続します。
22. **同軸デジタル音声出力端子(DVD)**
    【24～25ページ】
    市販の同軸デジタル音声ケーブルを接続します。
23. **DVD専用音声出力(左/右)端子(DVD)**
    【22～23ページ】
    付属または市販の映像・音声コードを接続します。
24. **S映像出力端子(DVD)**【22ページ】
    市販のS映像ケーブルを接続します。
25. **DVD/ビデオ共用出力端子(DVD/ビデオ共用)**
    【21～22ページ】
    付属または市販の映像・音声コードを接続します。
26. **ビデオ専用入力端子(ビデオ)**【58、64ページ】
    他機器との接続に使用します。
27. **VHF/UHFアンテナ出力端子**【19ページ】
    付属の同軸ケーブルを接続します。

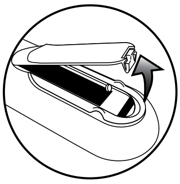
各部のなまえとはたらき

操作ボタンの機能については、次ページをご覧ください。

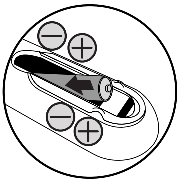


電池の入れかた

1

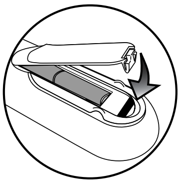


2



★乾電池の【＋－】を確かめてください。
★【－】側を先に入れてください。

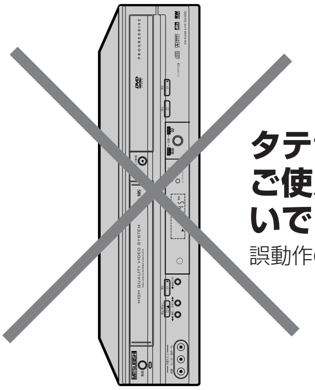
3



「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

ちょっと一言!
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。（※付属の乾電池は動作確認用です。）
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や強い光を当てないようにしてください。誤動作の原因となります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。
- 付属品のリモコンは、本機の専用リモコンです。他機には使用できません。

タテ置き禁止



タテ置きではご使用にならないでください
誤動作の原因になります。

リモコンの操作方法について

リモコン受光部にむけて操作してください。

受信許容範囲
距離
本体正面より約7メートル以内

各部のなまえとはたらき

【　】内は、本文で説明しているおもなページです。

1. ≧10ボタン
【DVD/87、89ページ】
2桁以上のタイトル/チャプター、グループ/トラック番号の入力に使用します。(DVD)
2. 電源ボタン
電源の「入」「切」に使用します。
3. 数字ボタン【DVD/87、89ページ】
テレビチャンネルの選択に使用します。(ビデオ)
タイトル/チャプター、グループ/トラック（ファイル）番号やタイムサーチ時間の入力に使用します。(DVD)
4. 画面表示ボタン
【ビデオ/60、63ページ、DVD/98ページ】
ビデオの状態/テープポジション/カウンター/時刻/チャンネル音声モードを表示します。(ビデオ)
ディスクの情報を画面に表示します。(DVD)
5. ビデオボタン【26ページ】
リモコンでビデオ操作をするときに使用します。
映像/音声共用出力をビデオに切り換えます。
6. 再生ボタン
【ビデオ/37ページ、DVD/67ページ】
ビデオの再生を開始します。(ビデオ)
ディスクの再生を開始します。(DVD)
7. 巻戻し/早戻しボタン
【ビデオ/39～41ページ、DVD/75ページ】
ビデオの巻戻し、スピードサーチ、スロー再生をします。(ビデオ)
お好みの位置まで戻します。
逆スロー再生するときに使用します。(DVD)
8. 停止ボタン
【ビデオ/37ページ、DVD/67、69ページ】
ビデオの再生を止めます。(ビデオ)
ディスクの再生を止めます。(DVD)
9. 録画ボタン(ビデオ)【43ページ】
録画を開始します。
10. 標準/3倍/ズームボタン
【ビデオ/43ページ、DVD/94ページ】
テープの録画モードを変えます。(ビデオ)
再生中のDVD画像を大きく表示します。(DVD)
11. メニューボタン
【ビデオ/29ページ、DVD/84ページ】
ビデオメニューを表示します。(ビデオ)
DVDメニューまたはファイルリストを表示します。(DVD)
12. セットアップボタン(DVD)【101ページ】
設定を変更するときに使用します。
13. トップメニューボタン(DVD)【85ページ】
最上層のDVDディスクメニュー画面を表示します。
14. モードボタン(DVD)
【71～74、82～83、95～97ページ】
DVDのスピーチコントロール・黒レベル・画質モード選択・バーチャルサラウンドの設定をします。
音楽用CDとMP3/JPEGのプログラム再生・ランダム再生・バーチャルサラウンドの設定をします。
15. サーチボタン(DVD)【87～90ページ】
お好みの位置を検索します。
16. 字幕/録画予約入/切ボタン
【ビデオ/56ページ、DVD/92ページ】
録画予約時にスタンバイ状態にします。(ビデオ)
字幕の言語を選択します。(DVD)
17. アングルボタン(DVD)【93ページ】
カメラアングルを切り換えます。
18. 取出し/トレイ開/閉ボタン
【ビデオ/37ページ、DVD/66ページ】
テープを取り出します。(ビデオ)
トレイを出し入れします。(DVD)
19. 音声切換ボタン
【ビデオ/60ページ、DVD/91ページ】
ステレオ/モノラル/左音声/右音声または、主音声/副音声の切り換えをします。(ビデオ)
希望する音声（言語）およびサウンドモードを選択します。(DVD)
20. チャンネル(∧/∨)ボタン(ビデオ)
【10、43、65ページ】
テレビチャンネルの選択に使用します。再生中にマニュアルトラッキング調整するときにも使用します。
21. スローボタン(ビデオ)【41ページ】
スロー再生時に使用します。
22. 一時停止ボタン
【ビデオ/41ページ、DVD/77～78ページ】
ビデオの再生/録画を一時止めます。(ビデオ)
ディスクの再生を一時止めます。また、コマ送り再生するときにも使用します。(DVD)
23. DVDボタン【26ページ】
リモコンでDVD操作をするときに使用します。
映像/音声共用出力をDVDに切り換えます。
24. 早送りボタン
【ビデオ/39～41ページ、DVD/75、79ページ】
ビデオの早送り、スピードサーチ、スロー再生をします。(ビデオ)
お好みの位置まで送ります。また、スロー再生するときにも使用します。(DVD)
25. カウンターリセット/クリアーボタン
テープのカウント表示をリセットします。(ビデオ)
間違った設定を消します。(DVD)
26. 決定ボタン(DVD)【84ページ】
設定を決定したり初期設定画面で項目を選択します。
27. カーソルボタン
【ビデオ/42ページ、DVD/84ページ】
メニュー画面表示中は、メニュー操作ボタンとして使用します。(ビデオ)
ズームの位置を移動させたり、テレビ画面上での各種設定項目の選択などに使用します。(DVD)
28. 30秒スキップ/リターンボタン
【ビデオ/63ページ、DVD/103ページ】
再生中にCMスキップを行います。(ビデオ)
DVD初期設定画面で前の画面に戻ります。また、テレビ画面から設定画面を消します。(DVD)
29. 頭出し/スキップボタン
【ビデオ/61ページ、DVD/77ページ】
録画テープの頭出しをします。(ビデオ)
チャプターやトラック（ファイル）をスキップします。(DVD)
30. A-Bボタン(DVD)【81ページ】
お好みの部分だけを繰り返し再生します。
31. リピートボタン(DVD)【80ページ】
再生中のディスク・タイトル/チャプター、グループ/トラックを繰り返し再生します。

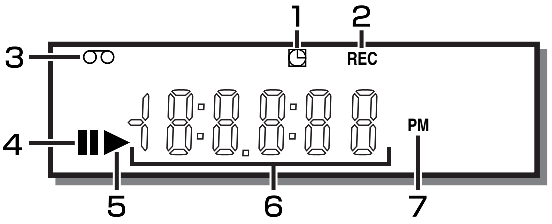
各部のなまえとはたらき

表示部について

本体前面

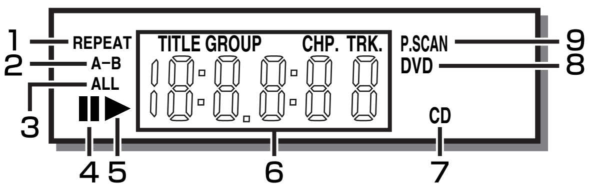
本体のビデオランプが点灯しているときはビデオの表示を、DVDランプが点灯しているときはDVDの表示をします。

[ビデオ]



1. **タイマーセット表示**
   ビデオが予約スタンバイ中、もしくは予約録画中に点灯します。
   また、すべての予約録画が完了すると点滅します。
2. **録画表示**
   録画中に点灯します。また、録画中に一時停止すると点滅します。
3. **ビデオテープ表示**
   ビデオテープが本体に入っているときに点灯します。
4. **一時停止表示**
   入っているビデオテープが一時停止またはスロー再生中に点灯します。
5. **再生表示**
   入っているビデオテープが再生・スピードサーチ・スロー再生・一時停止状態のときに点灯します。
6. **再生時間表示**
   現在の時刻やビデオテープのカウンターを表示します。
   (再生、録画時間の表示)
7. **午後表示**
   午後になると表示します。(午前は表示されません)

[DVD]



1. **リピート表示**
   リピート機能が選択されているときに点灯します。
2. **A-Bリピート表示**
   A-Bリピート機能が選択されているときに点灯します。
3. **オールリピート表示**
   オールリピート機能が選択されているときに点灯します。
4. **一時停止表示**
   入っているディスクが一時停止状態のときと、スロー再生中に点灯します。
5. **再生表示**
   入っているディスクが再生されているときと、スロー再生・早送り・早戻し中に点灯します。
6. **タイトル/グループ/チャプター/トラック/再生時間表示**
   現在再生されているディスクの経過時間を表示します。
   チャプターかトラックを切り換えると、新しいタイトル、グループ、チャプターまたはトラック番号が表示されます。
7. **CD表示**
   音楽用CDまたはMP3/JPEG形式のディスクがトレイに入っているときに点灯します。
8. **DVD表示**
   DVDディスクがトレイに入っているときに点灯します。
9. **プログレッシブスキャン表示**
   D1/D2出力設定が"プログレッシブ"のときに点灯します。

表示部の表示例

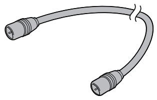
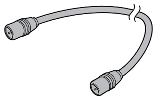
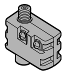
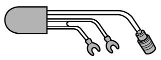
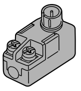
- - - - -	ディスクが入っていないとき
OPEN	トレイを開けたとき
CLOSE	トレイを閉めたとき
LoAd	ディスク読み込み中

ちょっと一言!

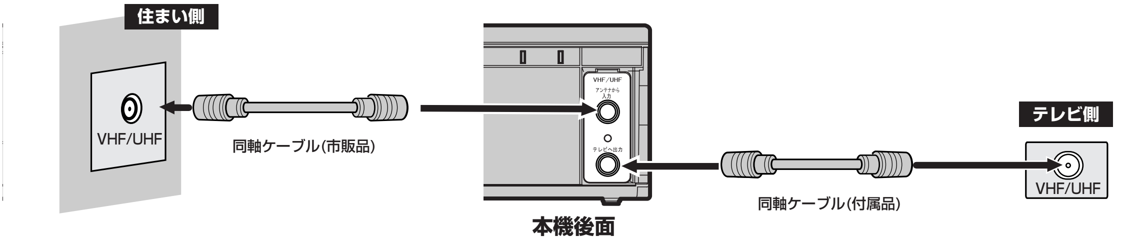
● スロー再生中は、再生表示と一時停止表示が同時に点灯します。

アンテナ線をつなぐ

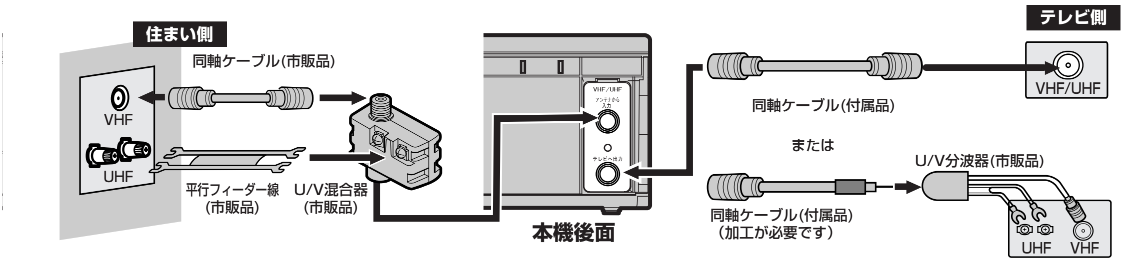
アンテナ線の接続をしないと、テレビ放送の録画はできません。
アンテナ線やケーブルの加工が必要なときは、販売店にご相談ください。

接続に使う部品（必要に応じて市販品または付属品をお使いください）				
 同軸ケーブル（付属品）	 同軸ケーブル（市販品）	 U/V混合器（市販品）	 U/V分波器（市販品）	 変換器付プラグ（市販品）

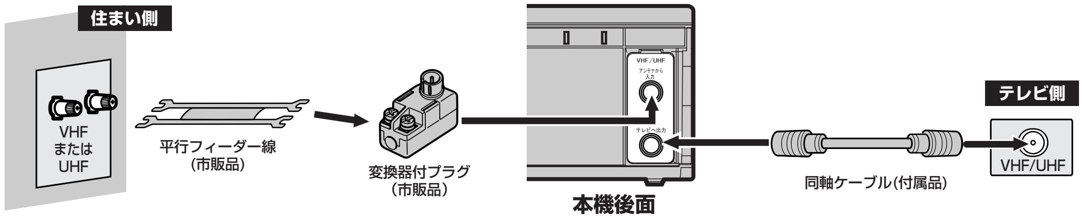
住まい側にVHF/UHF混合アンテナ端子がついている場合



住まい側にVHFとUHFアンテナ端子の両方がついている場合



住まい側にVHFまたはUHFアンテナ端子がついている場合



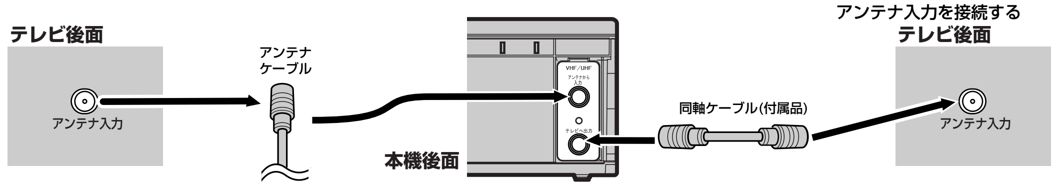
次ページに続きます。

現在お使いのテレビに本機を接続する場合

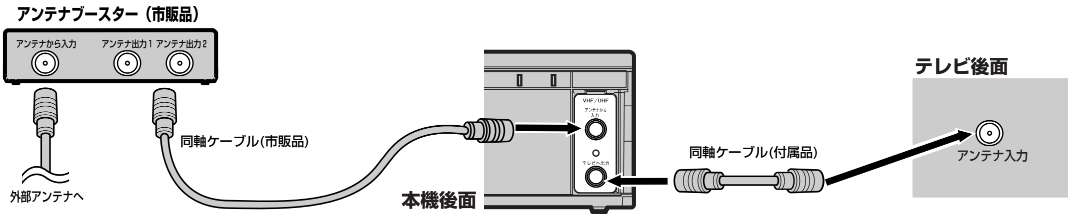
① テレビのアンテナ入力に接続している、アンテナケーブルをはずす

② はずしたアンテナケーブルを、本機の「アンテナから入力」へ接続する

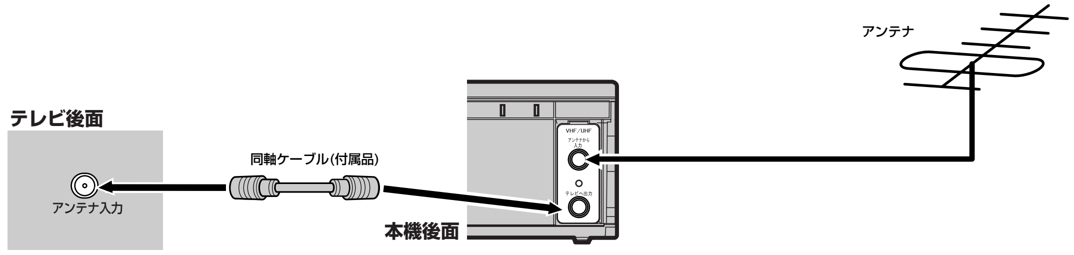
③ 付属の同軸ケーブルを使い、本機の「テレビへ出力」とテレビのアンテナ入力を接続する



現在お使いのテレビに本機を接続する場合（電波が弱い場合の接続方法）



お使いのテレビに本機を接続する略図



ちょっと一言！ アンテナ接続について…

- お使いのテレビやお住まいの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法は違います。
- アンテナ線の種類により、変換器付プラグ(市販品)やU/V混合器(市販品)が必要です。
- アンテナ線の加工や取り付けかたは、販売店にご相談ください。
- 電波が弱い地域の場合、「アンテナブースター（市販品)」をご使用いただくことにより、電波の強さを全体に増幅させることはできますが、ノイズも同じく増幅されるために、テレビ画像にノイズが残る場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

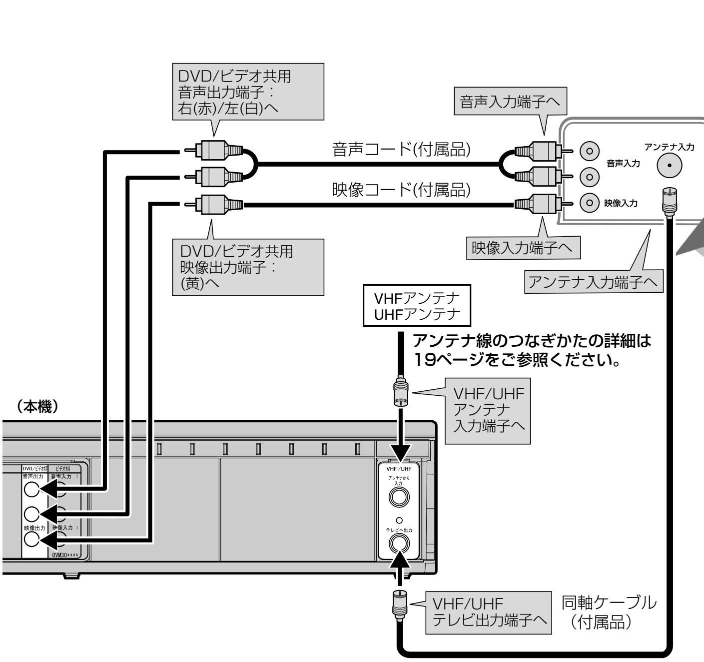
本機とテレビをつなぐ

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビ側に外部入力（映像/音声）端子がない場合は本機と接続できません。

[基本接続]

この接続はビデオとDVDを切り換えてお楽しみいただくための基本的接続です。
DVDをより鮮明な画像でお楽しみいただくには、DVD専用端子への接続をおすすめします。
（接続端子に対応するテレビが必要です。）



本機でビデオやDVDを見るときはテレビ側を外部入力(ビデオ/AUXなど)モードに切り換えてください。

ちょっと一言！

- 電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときは販売店にご相談ください。
- テレビ側に映像/音声入力端子が装備されていない場合は、RFユニットが必要です。（RFユニットをつながないと、テレビをビデオ画面/DVD画面にしても何も映りません。）
- **本機用のRFユニットは別売しておりませんので、RFユニットを利用される場合「三菱電機ご相談窓口」にお問い合わせください。（当社のDAR-X1は、本機では使用できません。）**
- RFユニットをつないだ場合は、映像/音声コードをつないだときよりも映像が劣化し、音声はモノラル音声のみとなります。

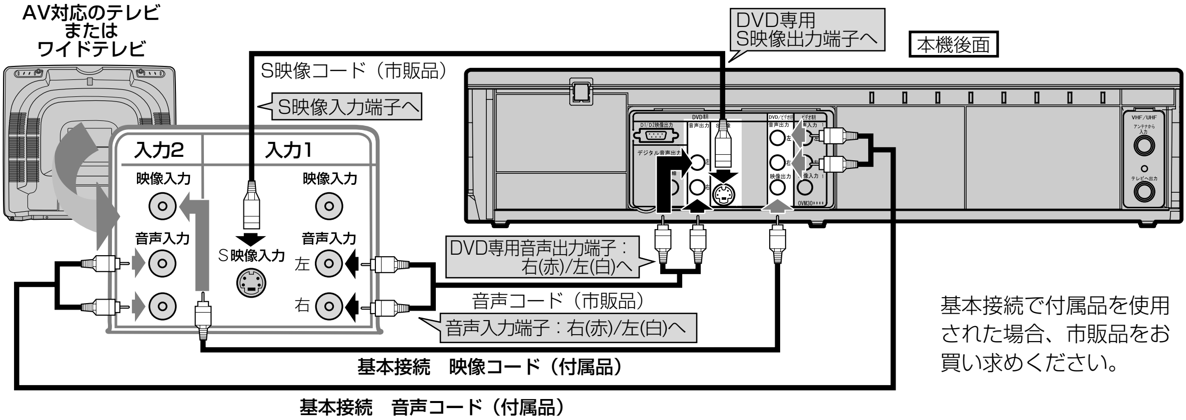
次ページに続きます。

接続・設定について

入力が2系統あるテレビをお持ちの場合、S映像接続またはD端子接続で、より鮮明な映像をお楽しみいただけます。

S映像入力端子つきテレビでDVDをお楽しみいただく場合…

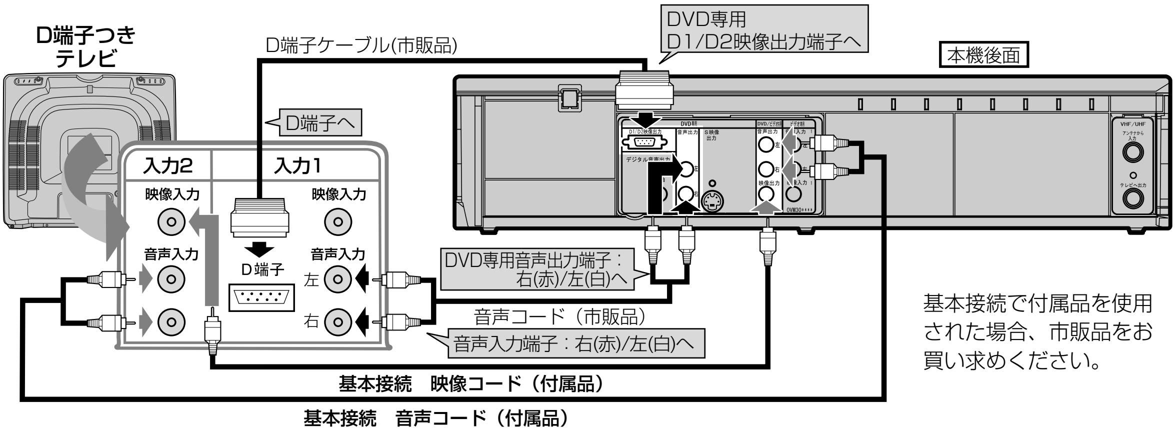
この接続はDVDをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに市販のS映像コードを使用して接続します。
さらに鮮明な映像を楽しむことができます。



基本接続で付属品を使用された場合、市販品をお買い求めください。

D端子つきテレビをお使いの場合…

この接続はDVDをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに市販のD端子ケーブルを使用して接続します。
高品質な映像を楽しむことができます。



基本接続で付属品を使用された場合、市販品をお買い求めください。

ちょっと一言！

- **テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY,CB/PB,CR/PRのピンジャックタイプのときは、市販品のD／コンポーネント端子ケーブル（D端子→D-ピンプラグ×3）をご使用ください。**

コンポーネント映像入力端子(D端子)とは？

- コンポーネント映像入力端子(D端子)を備えたテレビやモニターに接続することで、さらに高画質な画像を楽しむことができます。
  D1/D2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D端子ケーブル(市販品)を使って、D映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で、簡単にコンポーネント映像の接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。
  詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

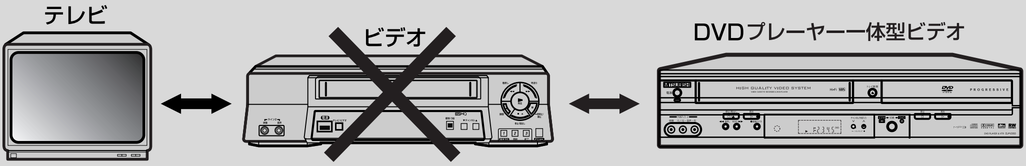
D1/D2出力の設定（お買い上げ時は“インターレース”）

●接続するテレビに合わせて設定してください。
プログレッシブスキャン方式（525p/480p）対応テレビを本機のD端子を使って接続し、「ディスプレイ」（映像設定）で[D1/D2出力]の設定を[プログレッシブ]にしてください。切り換えのしかたは[➡ 101～102、107～109ページ]をご覧ください。また、このときはテレビをプログレッシブモードに設定してください。
ただし、D1のみの対応テレビ（プログレッシブスキャン方式対応でないテレビ）と本機のD端子を使って接続している場合は、[D1/D2出力]の設定を[インターレース]にしてください。
●テレビモニターの映像入力端子がBNCタイプの場合は、市販のアダプターを使用してください。

プログレッシブスキャン方式とは？

●プログレッシブスキャン方式では従来方式のインターレーススキャン方式に対して、よりちらつきの少ない高密度な画像をお楽しみいただけます。

ちょっと一言！
- ワイドテレビ(16:9)に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。
[➡ 101～102、107～109ページ]
- 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを経由してテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

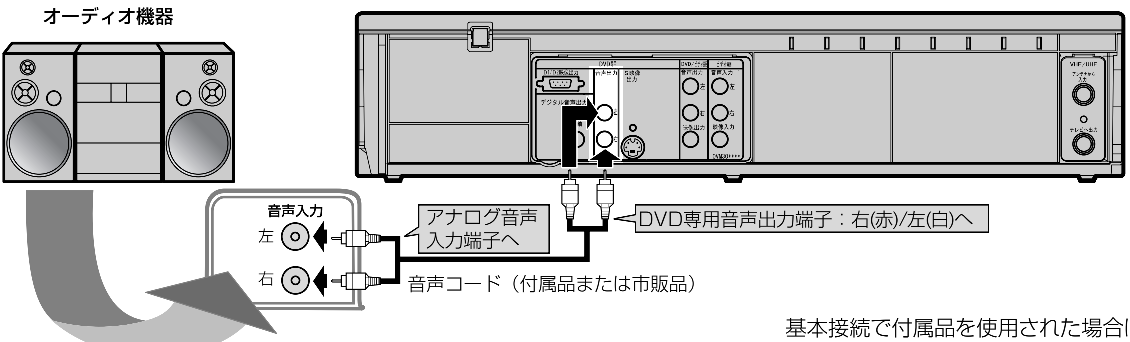


- 本機はハイビジョン対応のコンポーネント(Y, PB, PR)映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。(映像は映りません)

アナログオーディオ機器との接続

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

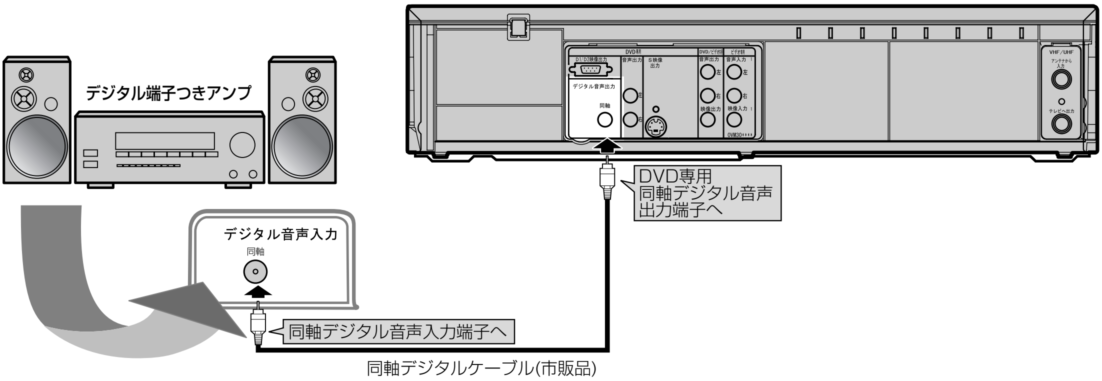


基本接続で付属品を使用された場合は、市販品をお求めください。

デジタル入力端子つきアンプとの接続

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。



デジタル入力端子つきアンプとの接続には、同軸デジタルケーブル(市販品)をご利用ください。

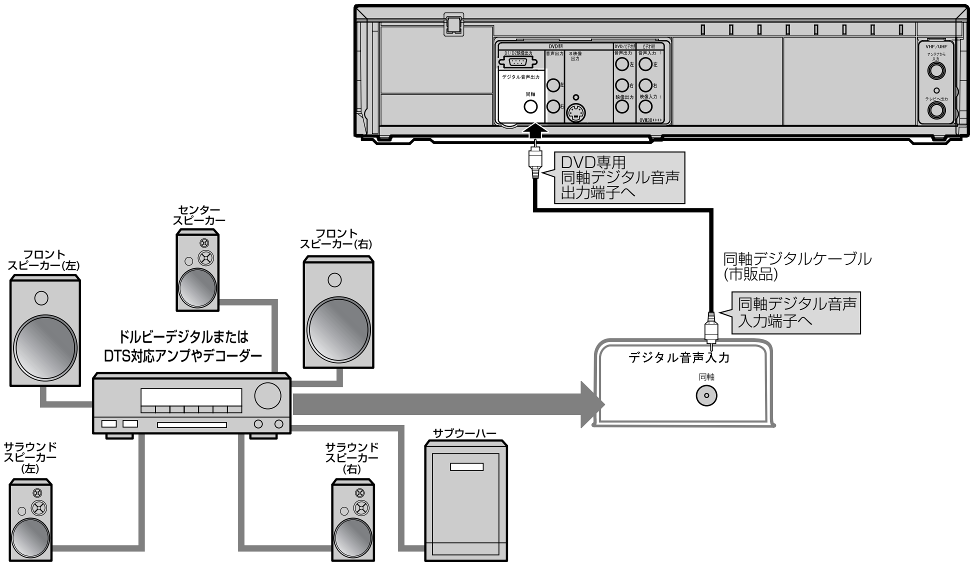
ちょっと一言!
- 各音声モードに対応していないアンプやデコーダーに接続する場合には、「オーディオ」(音声設定)の[ドルビーデジタル]を[PCM]に、[DTS]を[オフ]にしてください。(お買い上げ時は[ドルビーデジタル]は[ビットストリーム]、[DTS]は[オフ]) 正しくない設定でDVDディスクを再生すると、音がゆがみスピーカーが壊れることがあります。[➡ 101～102、110～111ページ]
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーとの接続

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ドルビーデジタルサラウンド、またはDTSデジタルサラウンドフォーマットのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタルやDTS対応のアンプまたはデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。



ちょっと一言!

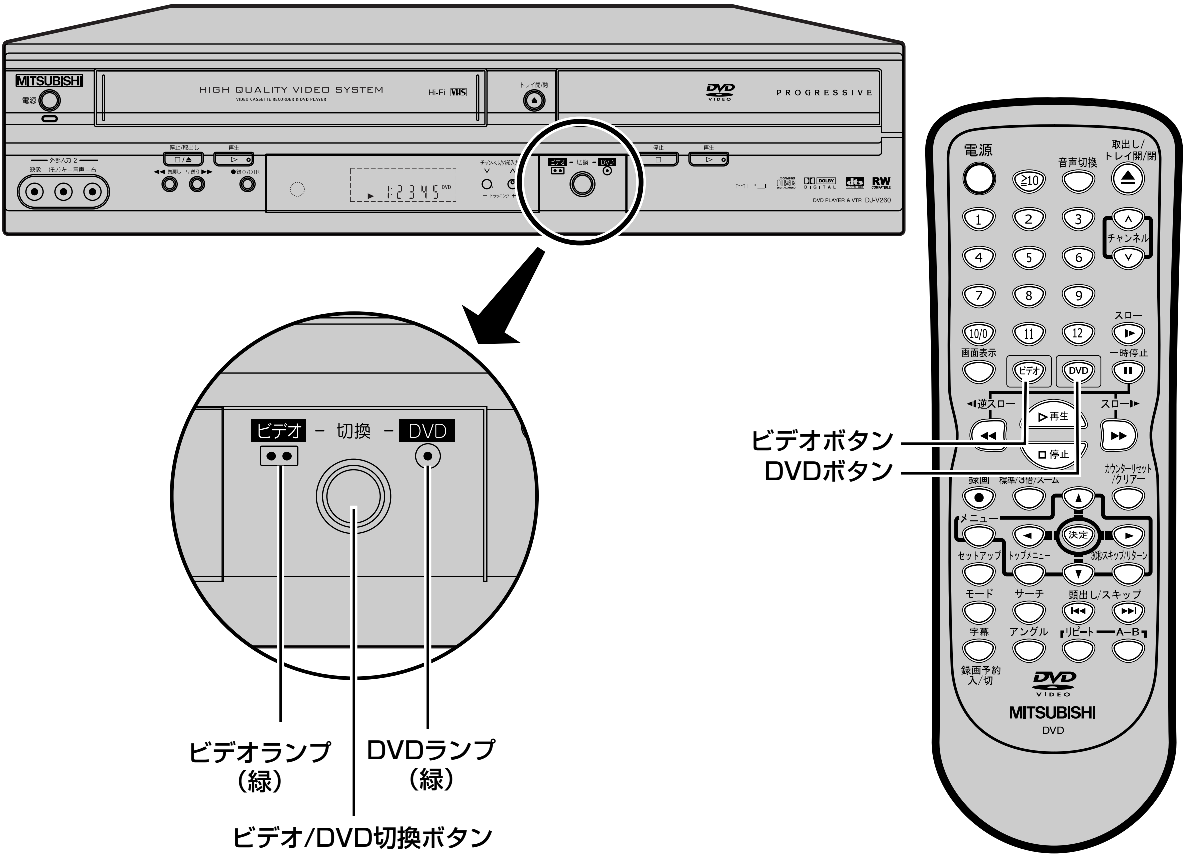
- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「オーディオ」（音声設定）の[ドルビーデジタル]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 101～102、110～111ページ]
- DTS対応のアンプやデコーダーに接続する場合には、「オーディオ」（音声設定）の[DTS]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 101～102、110～111ページ]
- 各音声モードに対応していないアンプをご使用の場合は、「オーディオ」（音声設定）の[ドルビーデジタル]を[PCM]、[DTS]を「オフ」にしてください。（お買い上げ時は、[ドルビーデジタル]は[ビットストリーム]、[DTS]は「オフ」です。）
  正しくない設定でDVDディスクを再生すると音がひずみ、スピーカーが壊れることがあります。
  [➡ 101～102、110～111ページ]

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「ドルビー」「Dolby」およびダブルD記号（ DD ）はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTSとDTS Digital Outは米国Digital Theater Systems. Inc.の登録商標です。

ビデオ／DVDの切換操作について

本機はビデオデッキとDVDプレーヤーが一体型になっており、
操作時はビデオとDVDを切り換える必要があります。
電源を入れ、以下の操作を行ってから、各操作を行ってください。
※ 以下29ページ以降の説明は、リモコンを主体とした説明になりますのでご了承ください。



ビデオ操作時

■リモコンの[ビデオ]ボタンを押します。
（本体のビデオランプが点灯します。）

＊本体の[ビデオ/DVD切換]ボタンは映像・音声切り換えのみを行います。続いてリモコンでビデオ操作を行うときは、リモコンの[ビデオ]ボタンを押してから各操作ボタンを押してください。

DVD操作時

■リモコンの[DVD]ボタンを押します。
（本体のDVDランプが点灯します。）

＊本体の[ビデオ/DVD切換]ボタンは映像・音声切り換えのみを行います。続いてリモコンでDVD操作を行うときは、リモコンの[DVD]ボタンを押してから各操作ボタンを押してください。

ちょっと一言！

- 本体の[ビデオ/DVD切換]ボタンは、DVD/ビデオ共通出力端子からの映像、音声切り換えのみを行います。

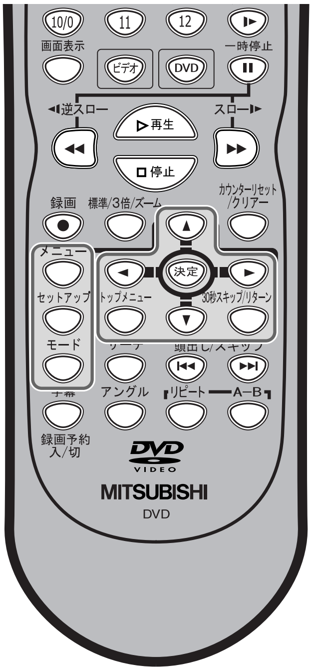
本機の機能操作について[DVD]

DVD 初期設定画面を表示させるためには、リモコンの[DVD]ボタンを押してから、[セットアップ]ボタンを押してください。

本機は初期設定画面(図1)にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※以下66ページ以降の説明は、リモコンを主体とした説明となります。

図1 初期設定画面（テレビ画面）

図2 リモコン 操作ボタン



各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・ディスクのメニュー画面を呼び出す	メニュー	メニュー
・タイトルメニューを呼び出す	トップメニュー	トップメニュー
・初期設定（セットアップ）画面を呼び出す	セットアップ	セットアップ
・選択項目の移動	カーソル	◄ ► ▲ ▼
・選択項目の確定	決定	決定
・1つ前の項目に戻る	30秒スキップ/リターン	30秒スキップ/リターン
・プログラム画面などの切り換え	モード	モード

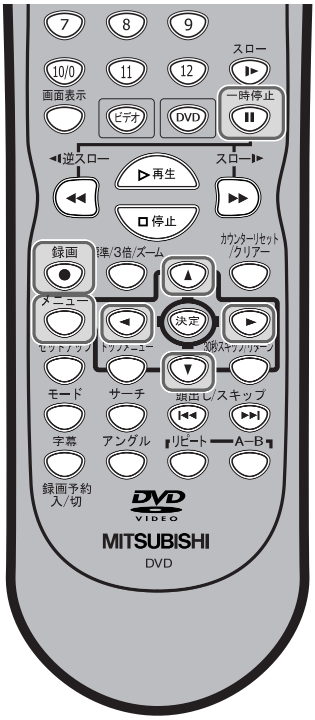
本機の機能操作について[ビデオ]

ビデオ メニューを表示させるためには、リモコンの[ビデオ]ボタンを押してから、[メニュー]ボタンを押してください。

本機はメニュー画面(図1)にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※以下37ページ以降の説明は、リモコンを主体とした説明となります。

図1 メニュー画面（テレビ画面）

図2 リモコン 操作ボタン



各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・メニュー画面を呼び出す	メニュー	メニュー
・メニュー項目の選択 ・録画予約時の数値選択	カーソル	▲ ▼
・選択項目の確定/移動	カーソル	▶
・1つ前の項目に戻る ・予約の取り消し	カーソル	◀
・録画予約の延長	録画	録画 ●
・録画予約の延長取り消し	一時停止	一時停止 ❚❚

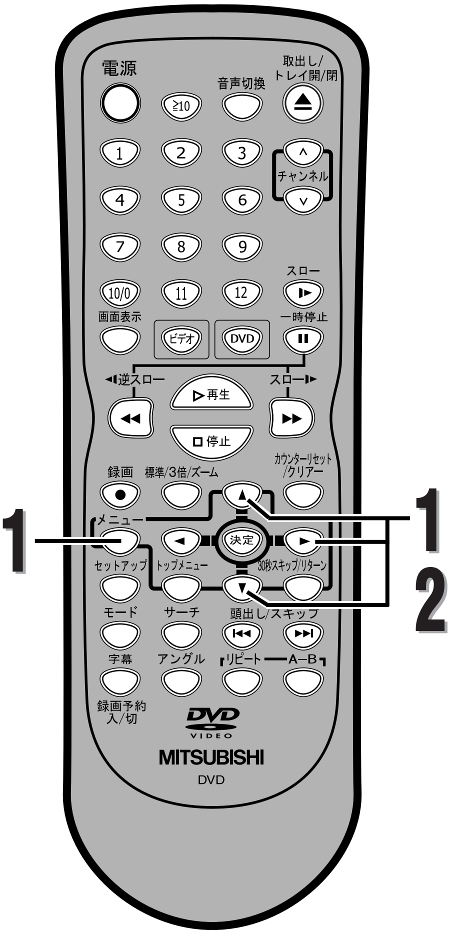
▲ を押すと、上へ移動または大きい数字になり、
▼ を押すと、下へ移動または小さい数字になります。

日付と時刻の合わせかた

表示部の時計表示が「ーー：ーー」になっているときは、時計を合わせてください。
（時計合わせをしないと、録画予約はできません。）
電源が「入」になっていることを確認してください。操作は、テレビにメニュー画面を表示して行います。

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



1

メニュー を押してメニュー画面を表示させ、

▲/▼ を押して "時刻設定" を選ぶ

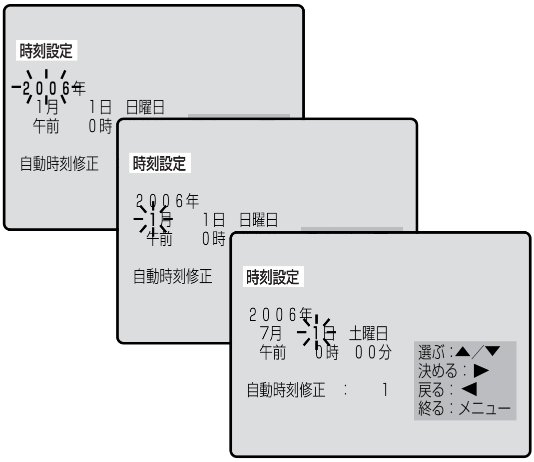
▶ を押して次画面に移る

2

▲/▼ を押して "年" を合わせる

▶ を押して次項目に移る

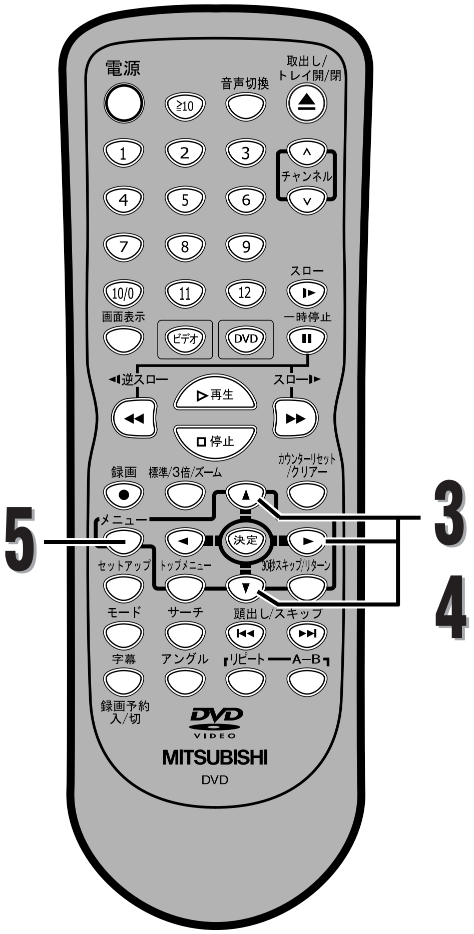
- "月／日" についても同様の操作で合わせます。



ちょっと一言！

- 手順2、3は、入力後8秒経過すると自動的に次の項目へ移動します。

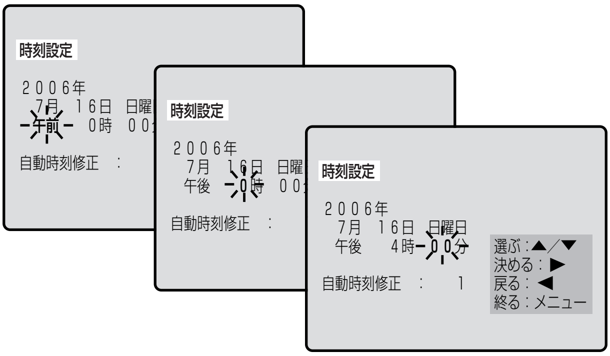
次ページに続きます。



3

▲/▼を押して“午前”または“午後”を選ぶ ▶を押して次項目に移る

- “時／分”についても同様の操作で合わせます。

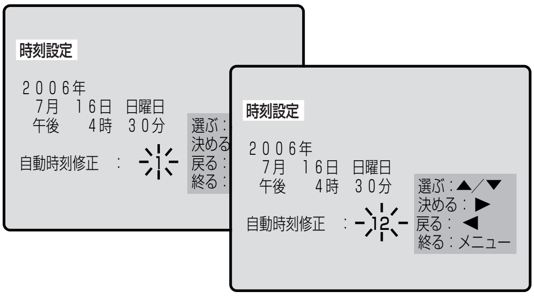


4

▲/▼で“自動時刻修正チャンネル”を設定する

- “自動時刻修正チャンネル”は、各地域のNHK教育テレビのチャンネルに合わせてください。

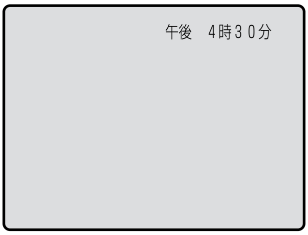
[◀]ボタンを押すと1つ前の操作に戻ることができます。



5

メニューで終了する

- 設定した時刻が右上に表示され、5秒後に消えます。
- 電話117番などの時報と同時に[メニュー]ボタンを押すと、同時に時計カウントがスタートし、正確に時刻を合わせることができます。



設定

日付と時刻の合わせかた

ちょっと一言！

- 時計合わせが行われていないときに録画予約を選ぶと、時刻設定の画面になります。
- 電源プラグを抜いても約30秒間は現在時刻を記憶しています。ほかの設定は消えてしまうので再度設定を行ってください。
- 約30秒以上の停電があった場合や、約30秒以上電源プラグをコンセントから抜いていた場合は、本機のバックアップ機能が働きませんので時刻設定を再度設定してください。（そのときの表示は−− : −−）
- [▲/▼]ボタンを押し続けると、表示される数字が早く変わります。
- 本機には2006年〜2055年まで設定可能な50年カレンダーが内蔵されています。（カレンダーは2006年1月1日から表示されます。）

自動時刻修正について…

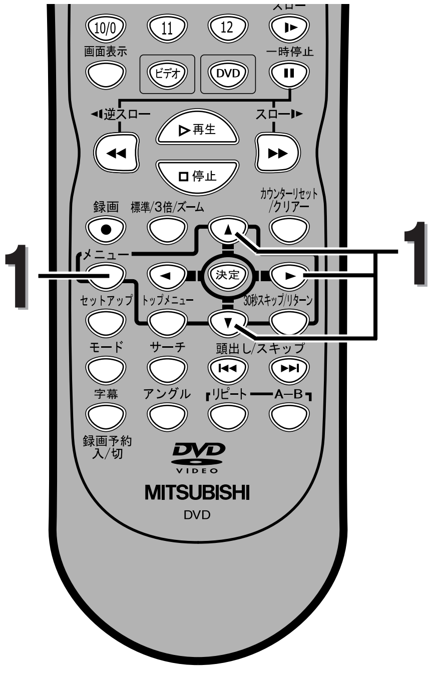
- 自動時刻修正は、NHK教育テレビの時報に合わせて時刻を自動設定する機能です。正午/午後7時に本機の電源が切れた状態で、NHK教育テレビの「ポッポッポッポーン」（バックに音楽は無し）の時報が鳴った場合だけ、時刻を自動修正します。
- 自動時刻修正スタンバイ時（午後0時、7時）の前後5分間は、電源ランプが点灯します。
- 時刻のずれが5分以内の場合は自動的に現在時刻に修正されます。5分以上時刻がずれてる場合は、時刻を合わせてください。
- 自動チャンネル設定およびチャンネル設定変更でチャンネルを設定し直した場合は、自動時刻修正チャンネルを再度設定してください。
- 次のような場合は、自動時刻修正は動作しません。
  - 「ポッポッポッポーン」以外の時報やバックに音楽入りの時報のとき、時報が鳴らなかったとき（NHK教育テレビの時報は曜日や時間によって時報のタイプが変わります。また、高校野球シーズンや番組改編時期は、NHKの都合で通常とは時報のタイプが変わることがあります。）
  - 自動時刻修正チャンネルをNHK教育テレビを受信しているチャンネルに合わせていないとき
  - 実際の時刻と本機の時刻が 5 分以上ずれているとき
  - 正午/午後7時に、本機を使用している（本機の電源が入っている）ときやサテライト予約が設定されているとき

自動チャンネルの設定

お買い上げ時や、お引っ越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、自動チャンネル設定を行ってください。
お住まいの地域で受信可能なチャンネルを本機が設定します。

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させせます。



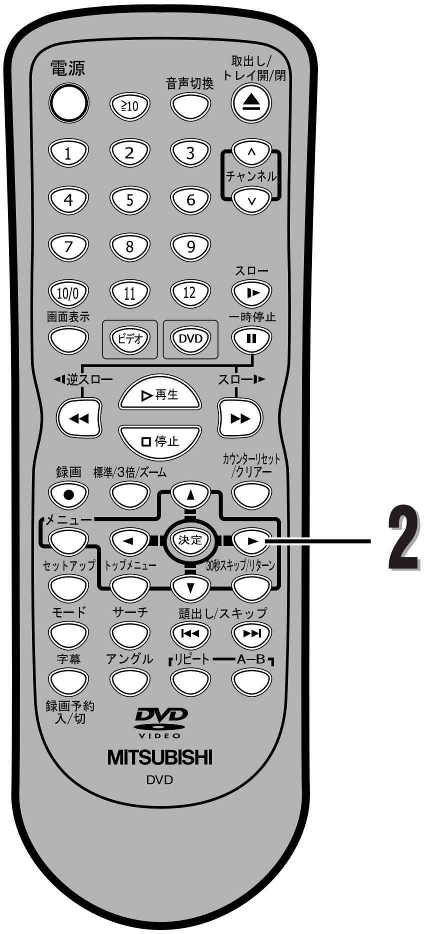
1

メニュー でメニュー画面を表示させ、

▲ / ▼ で "自動チャンネル設定" を選ぶ

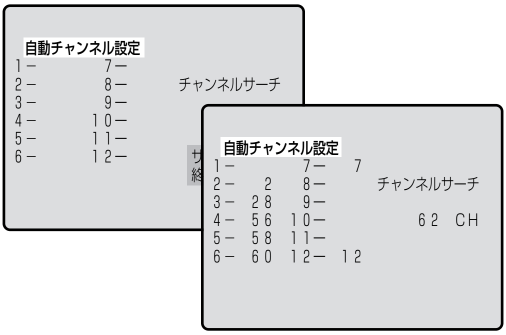
▶ で次画面に移る

次ページに続きます。



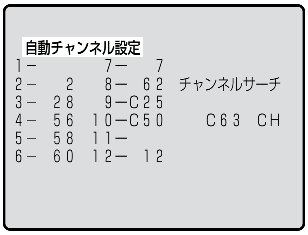
2 ▷ を押す

- サーチを開始します。
- 1チャンネルから順次、受信可能なチャンネルを探していきます。



■チャンネルサーチ中

- 最終チャンネルのC63CHが表示されるまで、しばらくお待ちください。
  チャンネルサーチ中にほかの操作をすると、正常なチャンネルが設定されませんのでご注意ください。
- チャンネルサーチ終了後は、記憶された最小チャンネルが画面に表示されます。



■チャンネル表示の確認

- 自動チャンネル設定後、 チャンネル を押して、テレビに表示されるチャンネル表示が合っているか確認してください。チャンネル表示の確認は、録画予約時にチャンネルが違うために起こる録画ミスを防ぐため、必ず確認してください。

■自動チャンネル設定（受信ステップ）について

(1)【VHF】1CH～12CH
↓
(2)【UHF】13CH～62CH
↓
(3)【CATV】C13CH～C63CH

- 上記の順に自動チャンネル受信設定をしていきます。
- 設定には多少時間がかかります。

※CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。
CATVの受信は、サービスの行われている地域のみです。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

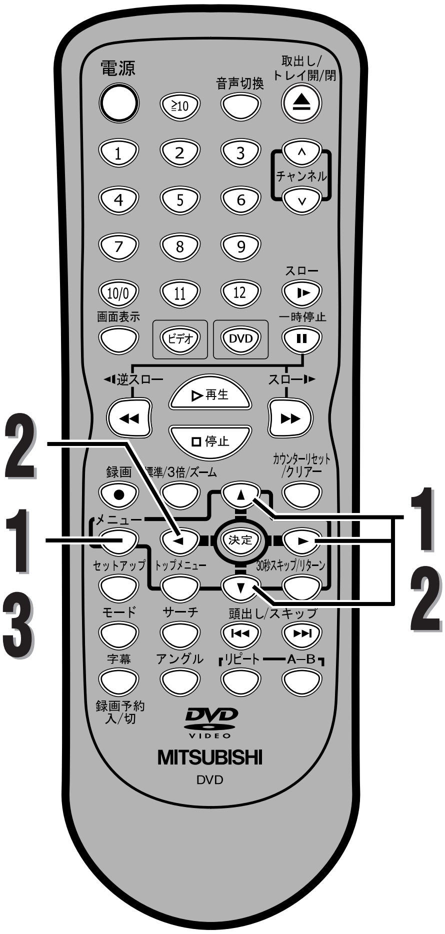
不要なチャンネルの削除(スキップ)とチャンネル復帰

自動チャンネル設定が終わったあと、受信チャンネルの確認を行ってください。空チャンネルや電波が弱くてはっきりと映らないチャンネルなどを飛び越すように設定できます。

〈例えば〉CH番号「3」に19チャンネルが記憶されている場合、19チャンネルを削除(スキップ)するには…

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



1

メニュー ◯ でメニュー画面を表示させ、

▲/▼で"チャンネル設定変更"を選ぶ

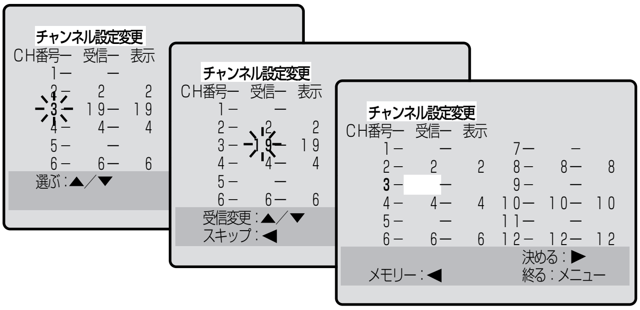
►で次画面に移る

2

▲/▼で削除(スキップ)したい"CH番号"を選ぶ

►を押して受信チャンネルを選び、

◄で削除(スキップ)する



- 自動チャンネル設定をしていない場合、「受信ー表示」欄の番号は表示されません。
- ほかの不要なチャンネルを削除(スキップ)したい場合は、◄でカーソルを"CH番号"に戻し、上記の操作を繰り返してください。

3

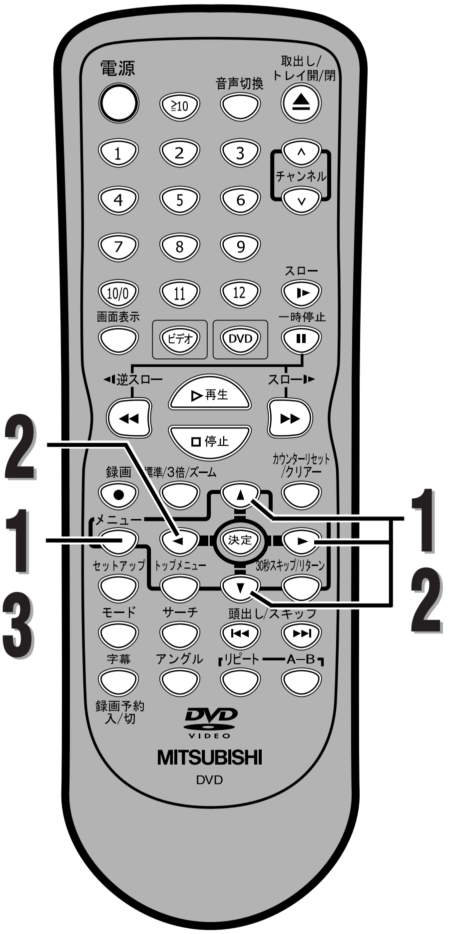
メニュー ◯ を押し、通常画面に戻す

次ページに続きます。

1度削除(スキップ)したチャンネルを復帰するには…

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



1

メニュー でメニュー画面を表示させ、

▲/▼ で“チャンネル設定変更”を選ぶ

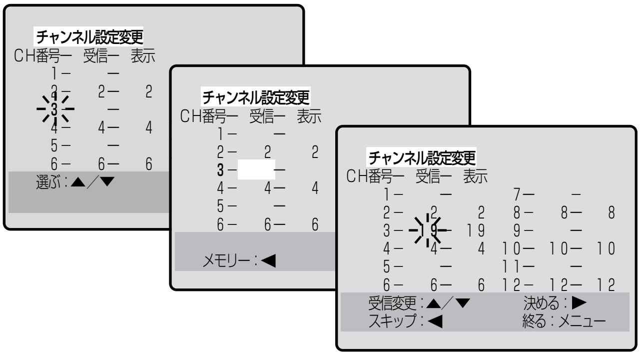
▶ で次画面に移る

2

▲/▼ で復帰したい“CH番号”を選ぶ

▶ を押し、

◀ で受信チャンネルを復帰させる



- ほかのチャンネルを復帰したい場合は、▶ でカーソルを“CH番号”に戻し、上記の操作を繰り返してください。

3

メニュー を押し、通常画面に戻す

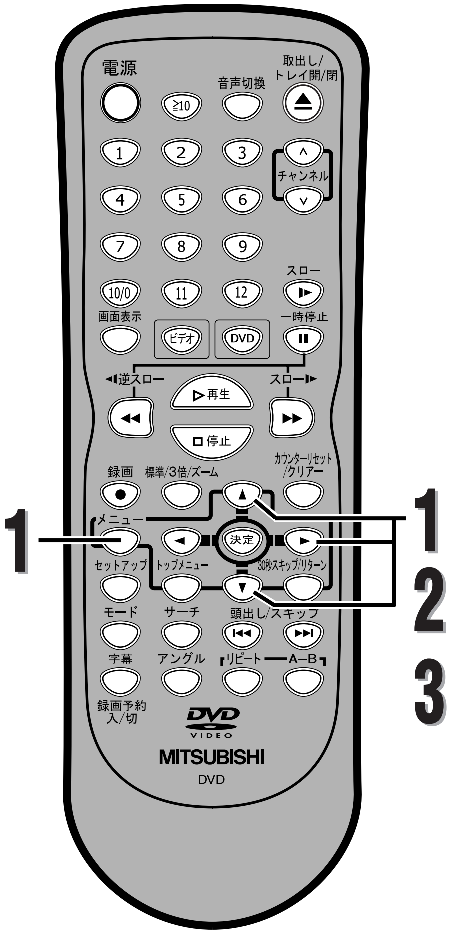
チャンネル設定変更

受信チャンネルおよび画面に表示されるチャンネル番号を設定・変更することができます。

〈例えば〉CH番号「3」に19チャンネルを受信させ、画面表示を「3」にするには…

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



1

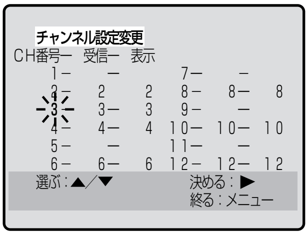
メニュー ○ でメニュー画面を表示させ、

▲/▼ で“チャンネル設定変更”を選ぶ

▶ で次画面に移る

2

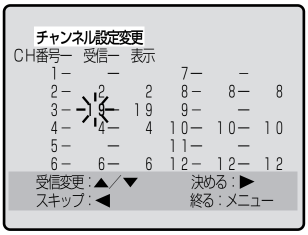
▲/▼ で変更したい
“CH番号”を選び、
▶ を押す



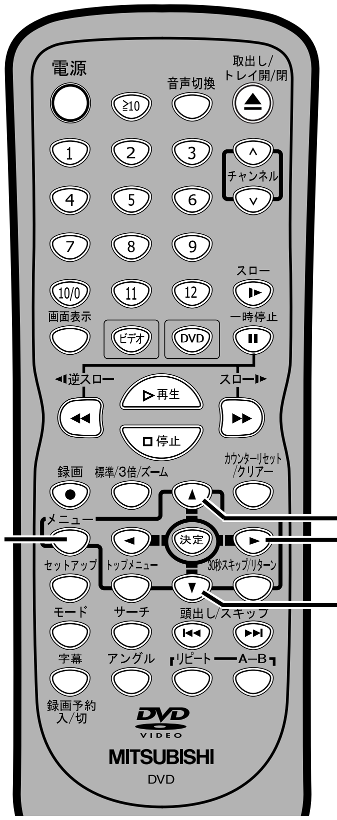
3

▲/▼ で受信内容を変更し、

▶ で次画面に移る



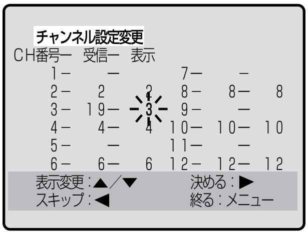
次ページに続きます。



4

▲/▼ で表示内容を変更する

※CH番号か受信番号の表示になります。

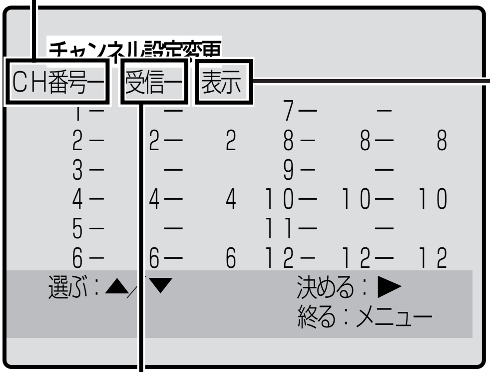


- ほかのチャンネル表示も変更したい場合は、
  ▶ でカーソルを"CH番号"に戻し、
  2～**4** の操作を繰り返してください。

5

メニュー を押し、通常画面に戻す

チャンネル設定変更画面について



CH番号(チャンネル番号)
- 本機に記憶される番号です。
（1～12はリモコンの数字ボタンで選択可能です。）

画面表示番号
- 画面に表示されるチャンネル番号です。
- チャンネル表示は、録画予約時に、表示チャンネルと受信チャンネルが違うために起こる録画ミスを防ぐため、必ず確認してください。

受信チャンネル
- 実際に受信した放送チャンネルです。

ちょっと一言!

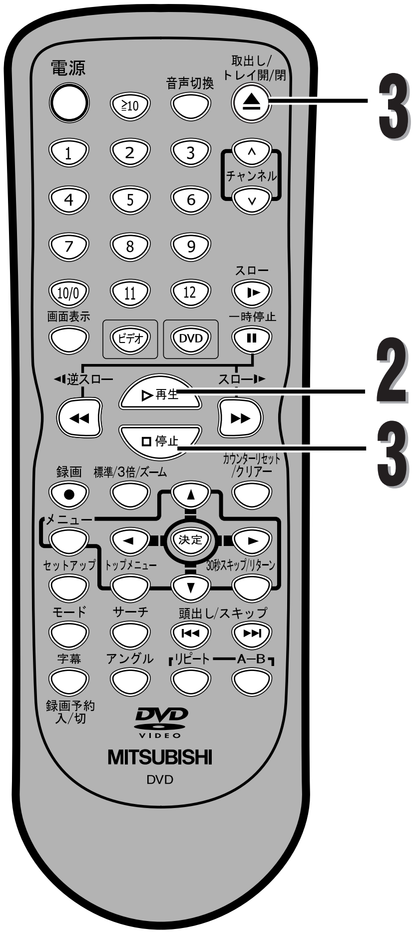
- 画面表示番号はCH番号（チャンネル番号）か、受信チャンネル番号のどちらかのみになります。任意に数字を設定することはできません。
- CH番号（チャンネル番号）と受信チャンネル番号が同じときは、画面表示番号の変更はできません。すべて同じ番号となります。
- チャンネル設定の変更中に[画面表示]ボタンを押すと、テレビをご覧になれます。

ビデオを再生する

再生のしかた

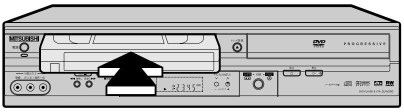
準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



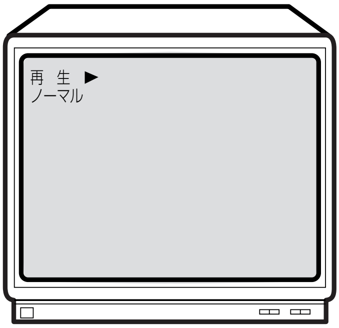
1 ビデオカセットテープを挿入する

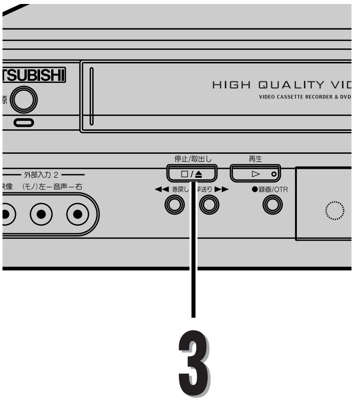
- 電源「切」の状態でビデオカセットテープを挿入すると、自動的に電源が入ります。
- ツメが折れているテープの場合は、自動的に再生が始まります。



2 ▷再生 を押す

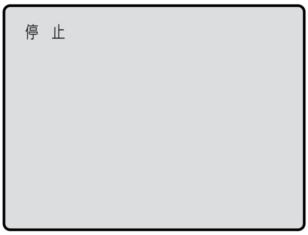
- 再生が始まります。
- 画面上の「ノーマル」表示は、ピクチャーセレクトの設定項目を表しています。





3 再生をやめるときは、□停止 を押す

- ビデオカセットテープを取出すときは、ビデオ停止中に本体の 停止/取出し □/▲ または リモコンの 取出し/トレイ開/閉 ▲ を押します。



次ページに続きます。

ちょっと一言!

ビデオの再生について

- ビデオカセットテープ挿入直後や、再生停止のあと再び[再生]ボタンを押すと約1.5秒で画面に映像がでます。(クイックプレイ機能) ただし停止後5分以上放置すると、テープ保護のためクイックプレイ機能は働きません。
- デジタルトラッキング調整中は、画面にノイズがでることがありますが故障ではありません。
- ほかのビデオカセットテープレコーダーで録画したテープを再生／静止画にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。
- テープの録画状態により、デジタルトラッキング調整では最良点に合わないことがあります。ノイズが少なくならないときは、マニュアルトラッキング調整をしてください。
- トラッキング調整の詳しいことは、[➡ 10ページ]をご覧ください。
- テープを最後まで再生したときは、自動的に巻戻されます。テープを先頭まで巻戻したときは、自動的にテープが排出されます。(自動巻戻し機能)

画面表示について

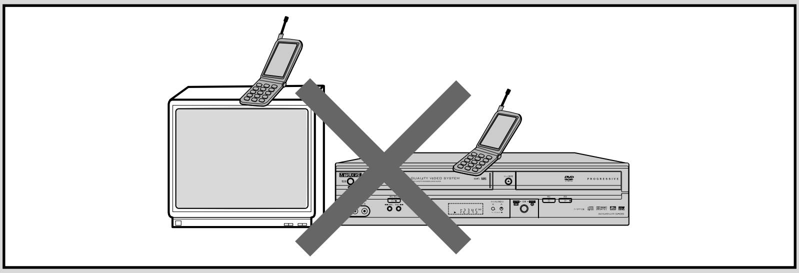
- テープカウンターや時計、チャンネルを画面上に表示させるときは[画面表示]ボタンを押してください。[➡ 63ページ]

S-VHS簡易再生機能(SQPB)について

- S-VHS方式で録画されたビデオカセットテープを簡易的に見ることができます。再生のしかたはノーマルVHSテープと同じです。
- S-VHSかノーマルVHSかを自動的に判別し再生します。
- S-VHS本来の高解像度は得られません。また画面にノイズがでる場合があります。
- 本機ではS-VHS録画はできません。
- SQPBとはS-VHS Quasi Playbackの略です。
- スピードサーチ／静止のときは、映像が乱れたり色が抜けたりしますが、故障ではありません。

携帯電話をご使用になるときはテレビやビデオに近づけないでください

- 音声に異音が入ったり、テレビにノイズがでたりする場合があります。
  異音がでたり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

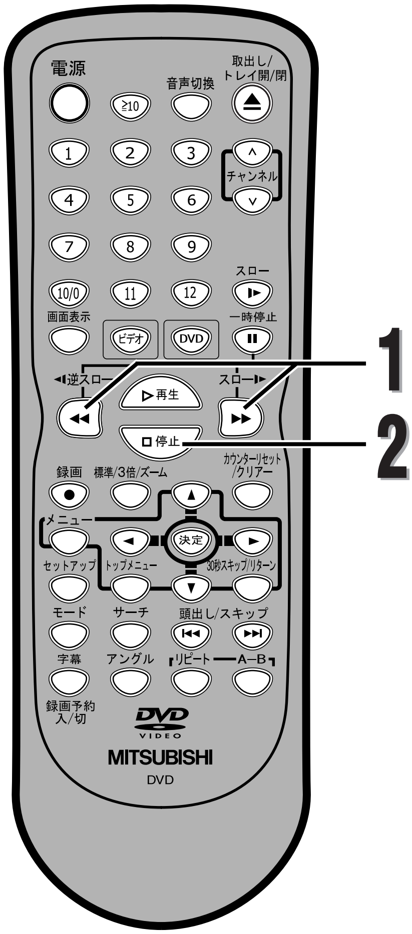


ビデオを再生する

早送り・巻戻しのしかた

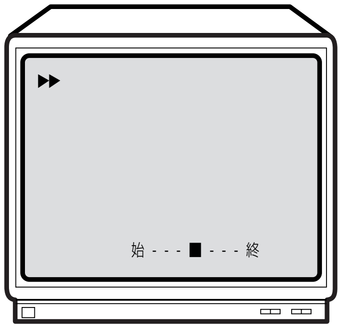
準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。

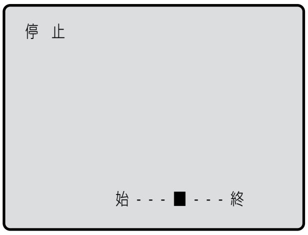


再生中の場合、[停止]を押します。

1 巻戻しは[◀◀]を、早送りは[▶▶]を押す



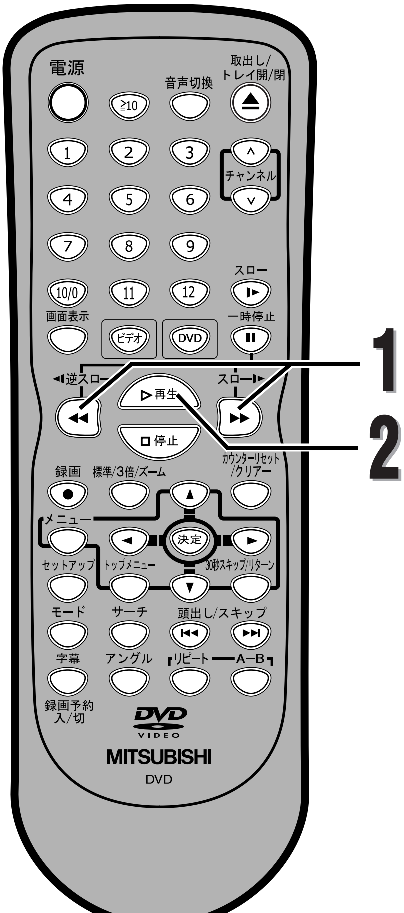
2 早送り・巻戻しをやめるときは、[停止]を押す



ビデオを再生する

スピードサーチ

画面を見ながら、早送り再生／巻戻し再生ができます。



スピードサーチ

1 再生中に ◀◀ または ▶▶ を押す
（ビデオの音声はでません。）

●約5倍速で再生します。

2 ▷再生 を押すと通常の再生速度に戻る

2段階スピードサーチ
[録画モード3倍で録画したテープの場合のみ]

1 再生中に ◀◀ または ▶▶ を押す
（ビデオの音声はでません。）

●約5倍速と約15倍速の2段階でスピードサーチできます。
- **1度押す**…**約5倍速**で再生します。
- **2度押す**…**約15倍速**で再生します。

録画モード／操作方法	「標準」	「3倍」
再生中に1度押す	約5倍速で再生	約5倍速で再生
再生中に2度押す		約15倍速で再生

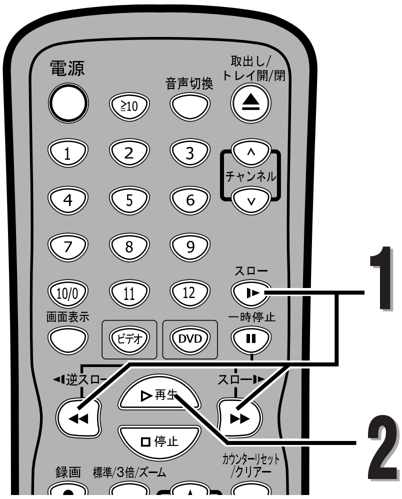
2 ▷再生 を押すと通常の再生速度に戻る

ちょっと一言！
- スピードサーチは再生中以外は操作できません。
- スピードサーチ中は画面にノイズがでますが故障ではありません。
- スピードサーチを始めるときや、通常の再生に戻すとき、一瞬画面が乱れることがありますが故障ではありません。

ビデオを再生する

スロー再生

約1/5～1/30倍速にスピードを変えて、スロー再生ができます。
（初期値は約1/12倍速。ビデオの音声はでません。）



1

再生中に スロー［▶］ を押す

- スロースピードを変えるときは…
  - ［▶▶］**を押す**…速くなります。
  - ［◀◀］**を押す**…遅くなります。
- スロー再生が5分以上続くと、テープ保護のため自動的に停止します。

2

［▷再生］を押すと通常の再生速度に戻る

ちょっと一言！

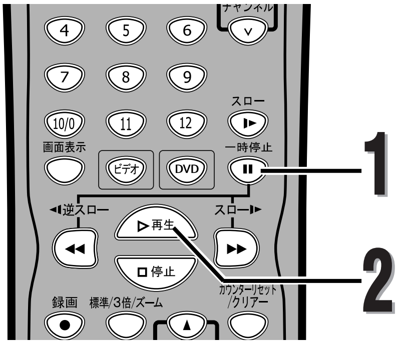
- スロー再生は再生時以外は操作できません。
- 逆スロー再生はできません。

スロー画面でノイズがでるときは…

- [チャンネル(∧/∨)]ボタンでノイズがでないように調整してください。

静止画再生

一瞬の場面などを、止めて見ることができます。（ビデオの音声はでません。）



1

再生中に 一時停止［II］ を押す

- 静止画再生が5分以上続くと、テープ保護のため自動的に停止します。

2

［▷再生］を押すと通常の再生速度に戻る

ちょっと一言！

- 静止画再生中に[一時停止]ボタンを押すと、1コマ送ることができます。
- 静止画再生は再生時以外は操作できません。

静止画面でノイズがでるときは…

- 一旦、スロー再生にして[チャンネル(∧/∨)]ボタンでノイズをなくしたあと、もう一度、静止画面に戻してください。
- 画像がブレる場合は、[チャンネル(∧/∨)]ボタンで画像のブレがなくなるように調整してください。（場合によっては調整で改善できないことがあります。）
- ほかのビデオカセットテープレコーダーで録画したテープを静止画再生にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。

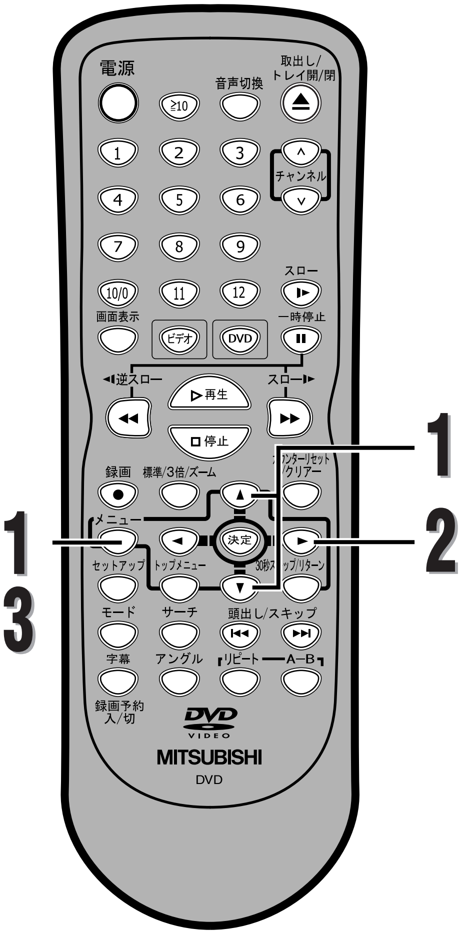
ビデオを再生する

ピクチャーセレクト

ビデオを再生する際に映像(ノーマル・ソフト・クッキリ)を選択できます。

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



1

(メニュー) でメニュー画面を表示させ、

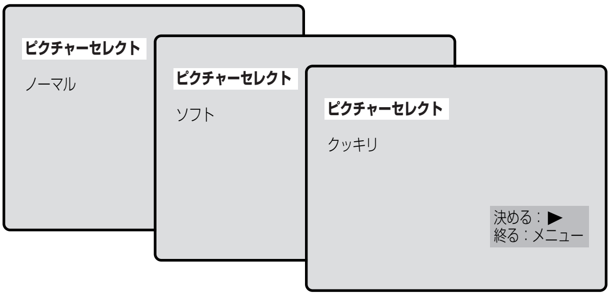
(▲) / (▼) で“ピクチャーセレクト”を選ぶ

2

(▶) で“ピクチャーセレクト”画面に移り、

(▶) を押して、選択したい項目を選ぶ

- “ノーマル”、“ソフト”、“クッキリ”の中から選択します。
- ピクチャーセレクト画面の状態のまま5秒経過すると、設定モードが自動的に終了します。



3

(メニュー) を押し、通常画面に戻す

- この設定はテープを取り出しても変わりません。

ビデオに録画する

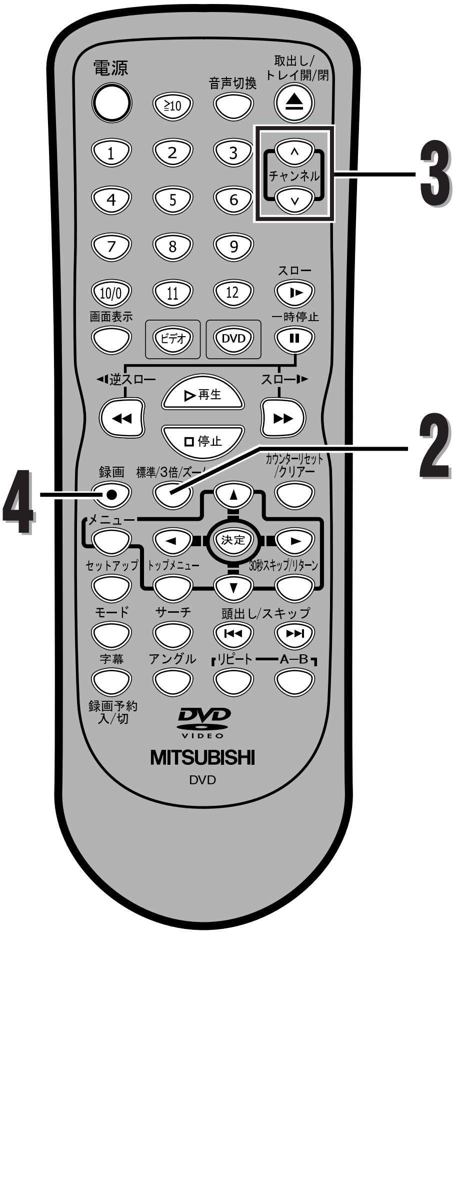
本機のDVDからは録画できません。

テレビ番組の録画

番組を見ながら録画するには…

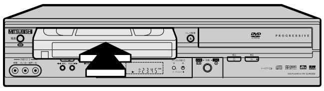
準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させせます。



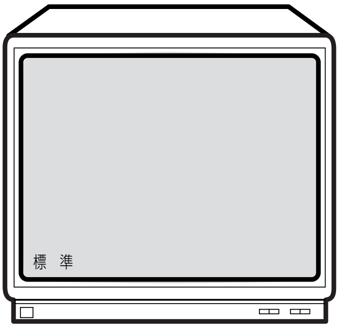
1 ツメの折れていないビデオカセットテープを挿入する

- ツメが折れている場合は録画できません。



2 標準/3倍/ズーム を押して録画モードを選ぶ

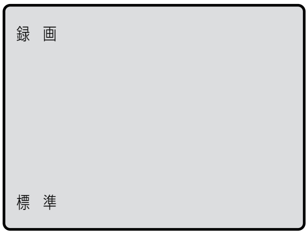
- 標準(SP)モード
  …画質を優先したいとき
- 3倍(EP)モード
  …録画時間を長くしたいとき



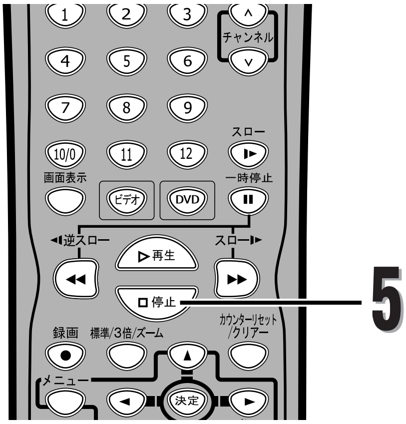
3 チャンネル を押して、お好みのチャンネルを選ぶ

4 録画 を押す

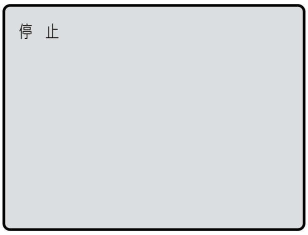
- 録画が始まります。



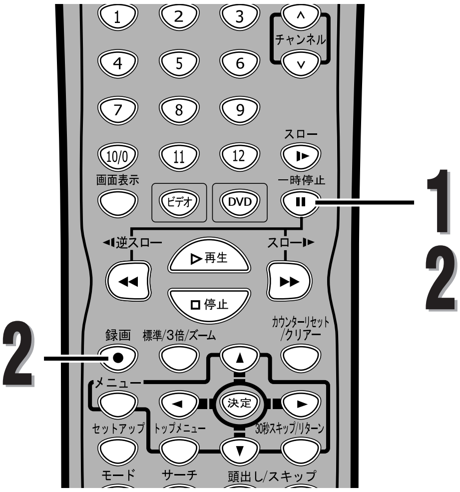
次ページに続きます。



5 録画をやめるときは、（停止）を押す

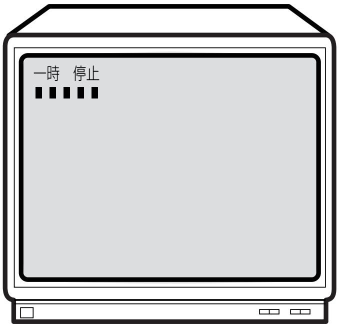


録画中にコマーシャルなどをカットするには…

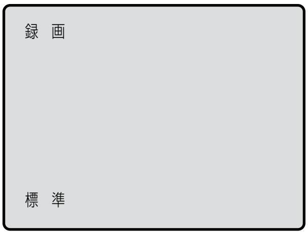


1 録画中に（一時停止）を押す

- テープの走行が一時停止します。
- 画面に▮マークが表示され、1分で1個ずつ左から消えていきます。また、本体表示部のREC表示が点滅します。
  最後の▮マークが点滅し、一時停止から合計5分経過するとテープ保護のため、自動的に録画が停止します。



2 （一時停止）または（録画）を押し、録画を再開させる



ちょっと一言！

録画モードについて

- 録画モードを変更するときは、リモコンの[標準／3倍]ボタンで録画モードを選びます。
- 画質、音声を優先するときは「標準」、録画可能時間を優先するときは「3倍」で録画してください。ただし3倍で録画すると画質／音質は、標準より劣ります。

録画中に録画チャンネルを変えるには…

- [一時停止]ボタンを押してから[チャンネル(∧/∨)]ボタンで変えます。

録画中にテープが終わると…

- 自動的にテープを巻戻し、排出します。

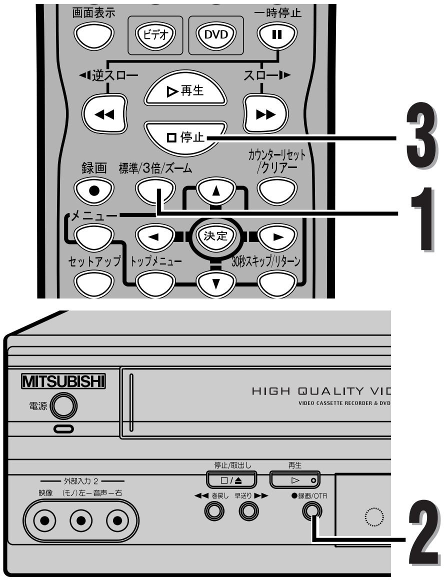
録画中にテレビ/DVDを見るには…

- テレビを見るときは、テレビ側のチャンネルでお好きな番組を選択してください。
- DVDを見るときは、[DVD]ボタンを押してください。

オフタイマー録画

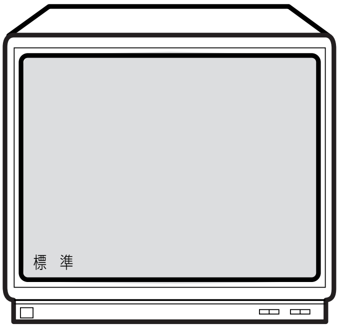
簡単・手軽に録画を始めることができ、録画時間を30分単位で最大8時間まで設定できます。
テレビを見ている途中で「電話がかかってきた」「急にお客様が来られた」「録画中に外出する用事ができた」といったときに便利です。

準備
- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。
- ツメの折れていないテープを入れます。（ツメが折れている場合は録画できません。）



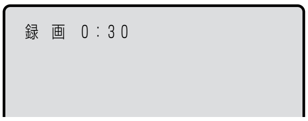
1 標準/3倍/ズーム を押して、録画モードを選ぶ

- 標準(SP)モード
  …画質を優先したいとき
- 3倍(EP)モード
  …録画時間を長くしたいとき



2 本体の 録画/OTR を押して通常の録画を開始し、希望の設定になるまで数回押す

- 本体の 録画/OTR を押すごとに、30分単位で録画時間が加算されます。
- 録画時間が終了すると自動的に電源が切れます。そのあとビデオを使用する場合は、本体の[停止／取出し]ボタン、またはリモコンの[録画予約入/切]ボタンを押してください。



- オフタイマー録画中は本体表示部のタイマーセット表示と録画表示が点灯します。
- オフタイマー録画中は、録画の一時停止はできません。

3 オフタイマー録画をやめるときは、 停止 を押す

録画時間セットについて

- 本体の[録画/OTR]ボタンを押すごとに、30分単位最大8時間まで、録画時間をセットできます。
- 画面表示は次のように変わります。

ちょっと一言！

- オフタイマー録画中は、オフタイマー機能とストップ機能以外は働きません。
- オフタイマー録画中にテープが最終端になると、自動的に録画を停止しテープを排出します。
- オフタイマー録画中に停電があると、録画が停止して電源が切れます。通電後も録画は再開しません。

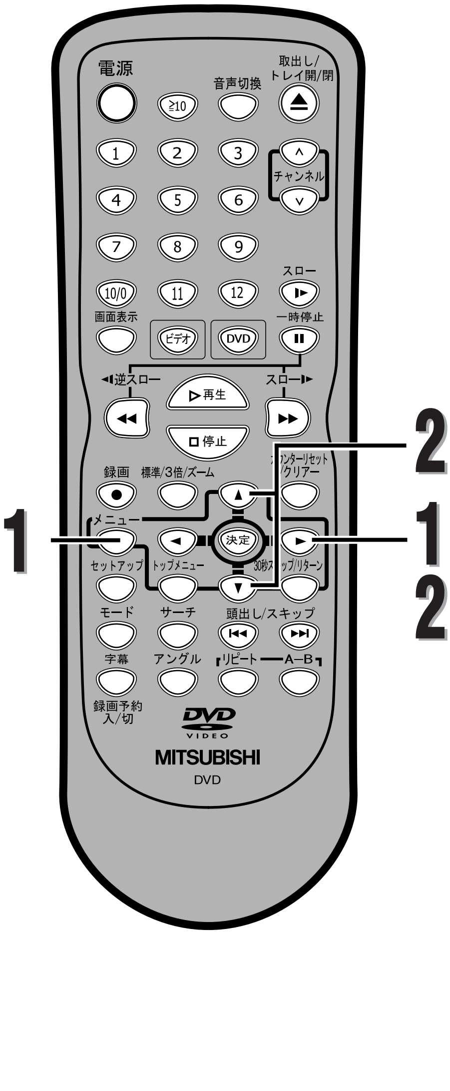
録画時間表示について
- オフタイマー録画が始まると、録画時間表示は1分単位でカウントダウンしていき、残りの録画時間表示となります。(残りの録画時間を確認するには[画面表示]ボタンを押してください。) [➡ 63ページ]

録画予約

あらかじめ予約した開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると電源が切れます。
1年以内の8つの番組の録画、または毎日録画、毎週録画を予約できます。

予約番号「1」に、2006年7月16日(日曜日)、午前11時30分〜午後2時50分に放映される「7」チャンネルの番組を、録画モード3倍で録画するには…
(時計合わせをしないと録画予約できません。)

準備
- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。
- ツメの折れていないテープを入れます。(ツメが折れている場合は録画できません。)



1

[メニュー] でメニュー画面を表示させ、
[►] で次画面に移る

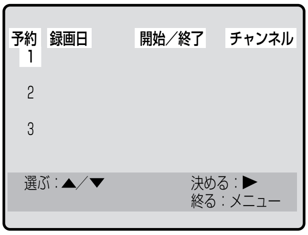
2

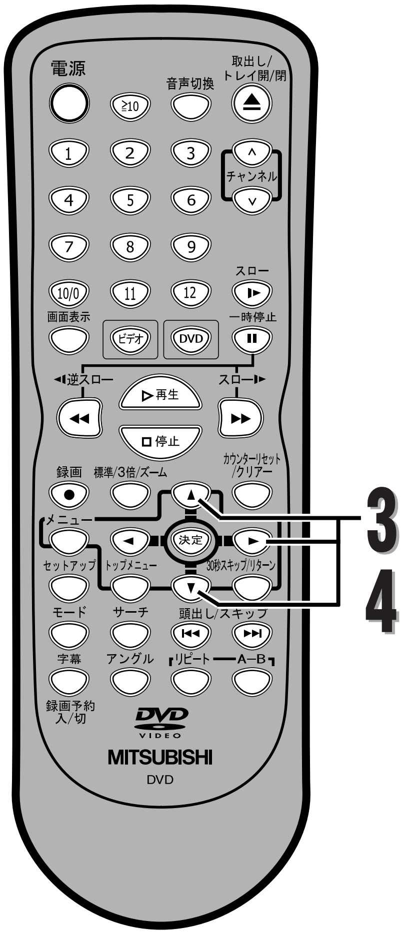
例)予約番号を「1」に設定するには…

[▲]/[▼] で"予約番号"を選ぶ

- 予約番号1が選択されているときに
  [▲] を押すと予約番号8を選択できます。

[►] で次画面に移る

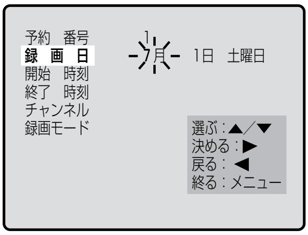




3

例）録画日を「7月16日（日曜日)」に設定するには…

▲/▼で“月”を選ぶ



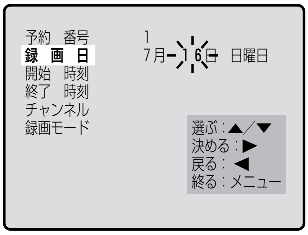
▲/▼で毎週・毎日録画が選べます。

7月…12月…6月 ⟷ 毎週 日曜日…毎週 土曜日 ⟷ 毎日 月曜日－金曜日

- 毎日予約は月曜日から金曜日までの毎日となります。

▶で次項目に移る

- “日”についても同様の操作で設定します。
(曜日は自動的に変わります。)

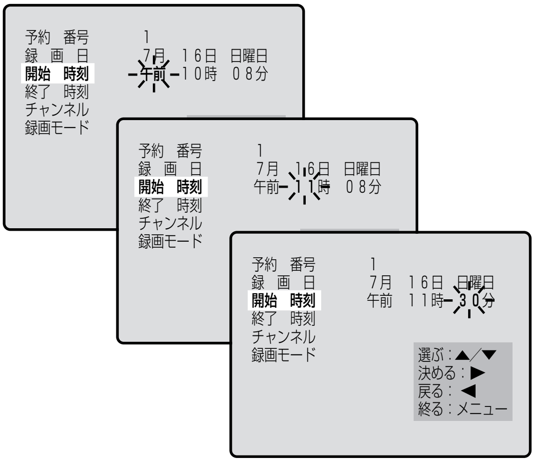


4

例）開始時刻を「午前11時30分」に設定するには…

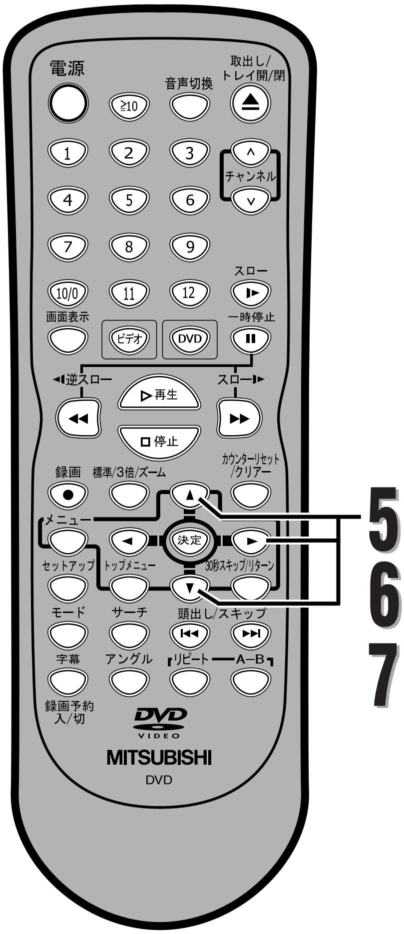
▲/▼で開始時刻の“午前”を選ぶ
▶で次項目に移る

- “時／分”についても同様の操作で設定します。



次ページに続きます。

ビデオ編　録画予約

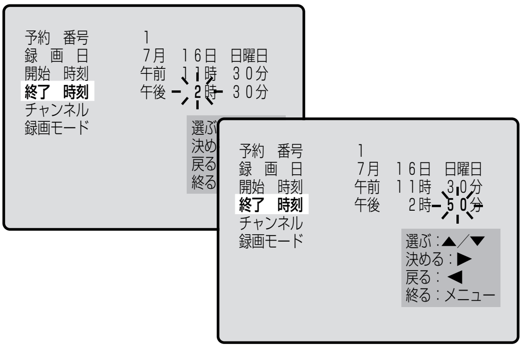


5

例）終了時刻を「午後2時50分」に設定するには…

▲/▼で終了時刻の“時”を選ぶ
►で次項目に移る

- “分”についても同様の操作で設定します。
- 終了時刻は開始時刻から12時間以内となりますので、“午前/午後”は自動的に設定されます。

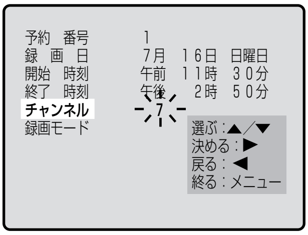


6

例）チャンネルを「7」に設定するには…

▲/▼で“チャンネル”を選ぶ
►で次項目に移る

- 外部機器から録画するときは、外部機器を接続した［ライン1］または［ライン2］を選択します。

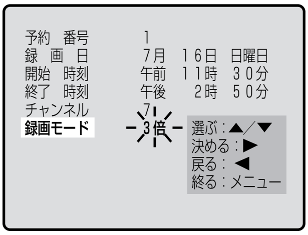


7

例）録画モードを「3倍」に設定するには…

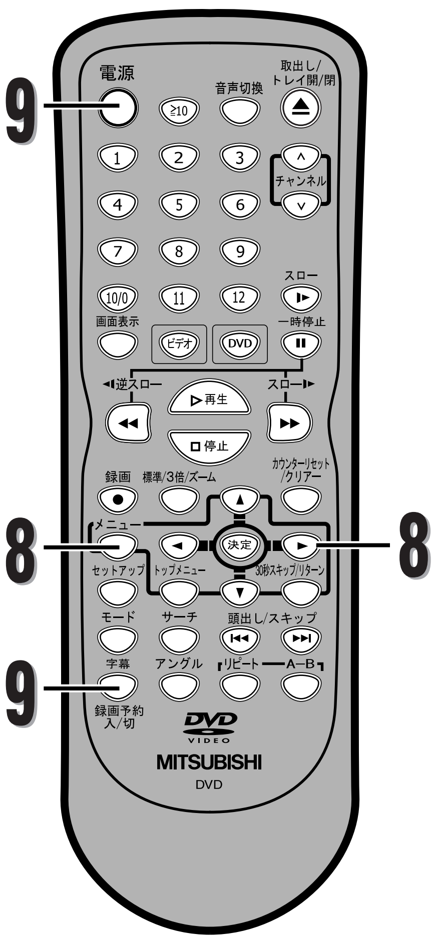
▲/▼で“録画モード”を選ぶ

- **標準(SP)モード**…画質を優先したいとき
- **3倍(EP)モード**…録画時間を長くしたいとき



ちょっと一言！

- 手順7の録画モード設定後►を押すと、予約番号確認画面に移ります。
続けてほかの予約番号に録画予約する場合は、再度手順2～7を行ってください。



8

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

▷で予約を確認し、メニューを押して通常画面に戻る

● 続けてほかの予約をするときは、手順2～7を繰り返してください。

9

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

字幕 録画予約入/切 を押すと、予約スタンバイ(タイマー待機中)状態になります。

- 録画予約動作中および予約スタンバイ中の[電源]ボタンは、DVDの電源のオン/オフを行います。また、録画予約動作中にDVDを使用する場合は、リモコンの[DVD]ボタンを押してから操作してください。（DVDランプ点灯）
- 録画予約動作中に録画を止めるには、本体の[停止/取出し]ボタンを押します。
- 字幕 録画予約入/切 を押すと予約スタンバイ状態になり、本体のビデオのランプが消灯して、DVDランプと ⏲ が点灯し、DVDモードに切り換わります。（本機の電源を入れてから、30分以上DVDを使用していない場合、[録画予約入/切]ボタンを押すとDVDランプは点灯せずに電源が切れます。）
- 録画予約設定後に予約内容の修正/取り消しをするには、[➡ 56～57ページ]をご覧ください。

録画予約完了後の本機のご使用について

すべての録画予約が完了すると、本機表示部のタイマーセット表示が点滅します。このとき、DVD使用時を除き電源はオフとなっておりますので、再びビデオをご使用になるには再度リモコンの[録画予約入/切]ボタンまたは本体の[停止/取出し]ボタンを押し、タイマーセット表示の点滅が解除されたことを確認してください。
また、DVD使用時は本体の[ビデオ/DVD切換]ボタンまたはリモコンの[ビデオ]ボタンを押してください。

録画予約/オフタイマー録画の録画終了後は

- 予約スタンバイ状態となり、DVDランプが点灯し、タイマーセット表示が点灯または点滅します。
- 本機の電源が入ってから一度もDVD側に切り換えていない場合は、DVDランプは点灯せずに電源が切れます。
- 録画が終了して予約スタンバイ状態になったとき、ほかに予約がない場合はタイマーセット表示が点滅し、ほかに予約がある場合やサテライト予約スタンバイ中の場合は点灯します。
- 予約スタンバイ状態（タイマーセット表示が点灯または点滅）になったままでは、ビデオ側の操作はできません。ビデオ側の操作をする場合は、[録画予約入/切]ボタンまたは[停止/取出し]ボタンを押してタイマーセット表示を消灯させ、予約スタンバイ状態を解除してください。
- ほかに予約がある場合は、予約時間前に[録画予約入/切]ボタンを押してタイマーセット表示を消灯させ、予約スタンバイ状態に戻してください。

ちょっと一言!
- 本機を予約スタンバイ状態にして画面がDVD側に換わったときに、画面上に「スクリーンセーバー動作中です。」の文字が出る場合があります。[➡ 115ページ]

次ページに続きます。

ビデオに録画する

ちょっと一言!

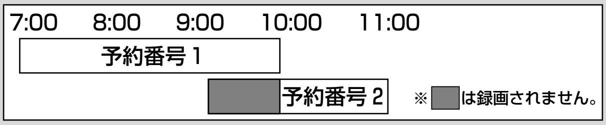
- 時計が合っていることを確認してください。（録画予約は、時計を合わせていないと設定できません。）時計合わせが行われていないときに録画予約を選ぶと、時刻設定の画面になります。
- ツメの折れていないビデオカセットテープを入れてください。
- ツメ折れテープを入れ予約設定を行った場合、予約スタンバイ状態になるとテープが排出されます。ツメの折れていないビデオカセットテープを入れ直してください。
- 初めから設定が合っているときは、[▶]ボタンを押すと次の操作に進むことができます。
- リモコンの[◀]ボタンを押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。

録画予約セット後は…

- DVD使用時を除き、録画開始時刻までは電源が切れています。録画開始時刻までにビデオを使用するときは、リモコンの[録画予約入/切]ボタン、または本体の[停止/取出し]ボタンを押し、予約スタンバイを解除してください。ビデオを使用されたあとは、必ずリモコンの[録画予約入/切]ボタンを押して予約スタンバイにしてください。（DVDを使用する場合は、予約スタンバイを解除しなくても操作できます。）
- リモコンの[録画予約入/切]ボタンで予約スタンバイ状態にしたあとDVDを使用しない場合は、[電源]ボタンでDVDの電源を切ってください。
- 録画予約動作中にテープが最終端になると、自動的に録画を停止し、テープを排出して電源が切れます。（テープは巻戻しされません。）新しいテープを挿入すると、録画を再開します。
- 録画予約動作中は、本体の[停止/取出し]ボタンを押すと録画が止まります。

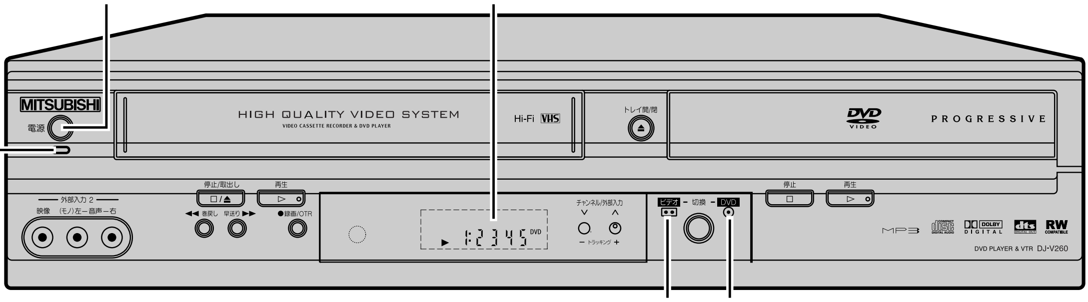
予約した時間が重なると…

- 同じ時間に予約が重なっている場合は、録画時刻の早いほうを優先します。
たとえば下図のような予約の場合、予約番号1の番組が7時から10時まで録画されたあと、予約番号2の番組が10時から11時まで録画されます。



- スポーツ中継などで番組がずれる可能性がある場合は、予約終了時間を長めにセットしておくことをおすすめします。

録画予約での本体表示について



本機の状態

（ケース1）
予約設定後、（本体電源 を切らずに）リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押して予約スタンバイ状態にした場合

（ケース2）
予約設定後、本体電源をオフした後に、リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押して予約スタンバイ状態にした場合
（ケース3）
予約設定後、リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押して予約スタンバイ状態にし、本体電源をオフした場合

予約スタンバイ状態

（状態１）
本体電源オンのまま以下の状態になります。

電源ランプ	タイマーセット表示	録画表示 REC	ビデオランプ ビデオ	DVDランプ DVD
点灯(赤)(注1)	点灯	消灯	消灯	点灯(緑)(注1)

（状態5）
本体電源オフのまま以下の状態になります。

電源ランプ	タイマーセット表示	録画表示 REC	ビデオランプ ビデオ	DVDランプ DVD
消灯	点灯	消灯	消灯	消灯

録画予約実行中

（状態2）
録画時間になると以下の状態になり、録画が開始します。

電源ランプ	タイマーセット表示	録画表示 REC	ビデオランプ ビデオ	DVDランプ DVD
点灯(赤)	点灯	点灯	消灯	点灯(緑)(注1)

（状態6）
録画時間になると以下の状態になり、録画が開始します。

電源ランプ	タイマーセット表示	録画表示 REC	ビデオランプ ビデオ	DVDランプ DVD
点灯(赤)	点灯	点灯	点灯(緑)	消灯

注3（状態6→状態3）

録画終了後 予約スタンバイ状態

（状態3）
録画終了後、以下の予約スタンバイ状態になります。

電源ランプ	タイマーセット表示	録画表示 REC	ビデオランプ ビデオ	DVDランプ DVD
点灯(赤)(注1)	点灯・点滅(注2)	消灯	消灯	点灯(緑)(注1)

（状態7）
録画終了後、以下の予約スタンバイ状態になります。

電源ランプ	タイマーセット表示	録画表示 REC	ビデオランプ ビデオ	DVDランプ DVD
消灯	点灯・点滅(注2)	消灯	消灯	消灯

通常使用状態

（状態4）
[録画予約入/切]ボタンを押して、予約スタンバイを解除した場合

電源ランプ	タイマーセット表示	録画表示 REC	ビデオランプ ビデオ	DVDランプ DVD
点灯(赤)	消灯	消灯	消灯	点灯(緑)(注1)

（状態8）
[録画予約入/切]ボタンを押して、予約スタンバイを解除した場合

電源ランプ	タイマーセット表示	録画表示 REC	ビデオランプ ビデオ	DVDランプ DVD
点灯(赤)	消灯	消灯	点灯(緑)	消灯

再度予約設定をするとき

次の録画予約設定後、[録画予約入/切]ボタンを押して予約スタンバイ状態にすると状態１になります。

- その後、DVD操作を行った場合、次の録画予約設定後、[録画予約入/切]ボタンを押して予約スタンバイ状態にすると状態1となります。
- その後、DVD操作を行わなかった場合、次の録画予約設定後、[録画予約入/切]ボタンを押して予約スタンバイ状態にすると状態5となります。

（注1） 停止状態で約5分間の無操作でスクリーンセーバーが起動します。
再生一時停止約30分間またはスクリーンセーバー起動後約25分間経過すると消灯します。
（注2） ほかに予約がない場合は予約ランプが点滅し、ほかに予約がある場合やサテライト予約スタンバイ中の場合は点灯します。
（注3） 状態6で録画予約がスタートした後、一度でもDVD側に切り換えると録画終了後は、DVDランプが点灯して電源は切れずに状態3となります。

ビデオ編 録画予約

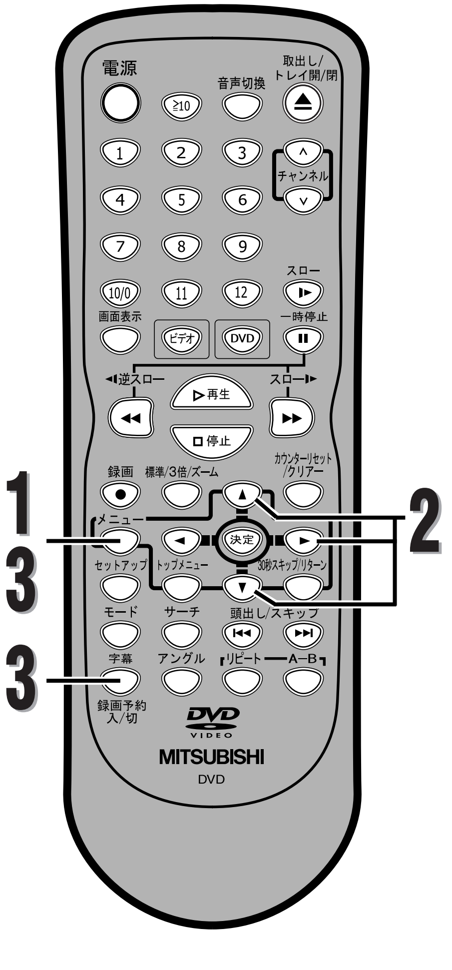
予約内容の確認

録画予約設定後に予約内容を確認できます。

一覧表で確認するには…

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
  （予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押してください。）
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。

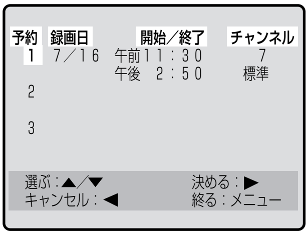


1 メニュー を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 ▶ で次画面へ移る

- 予約内容が一目で確認できます。
- ▲/▼ を押していくと、予約番号4以降を確認することができます。



3 メニュー を押して通常画面に戻り、

字幕 録画予約入/切 を押す

- 予約スタンバイ（タイマー待機中）状態になります。

ちょっと一言！

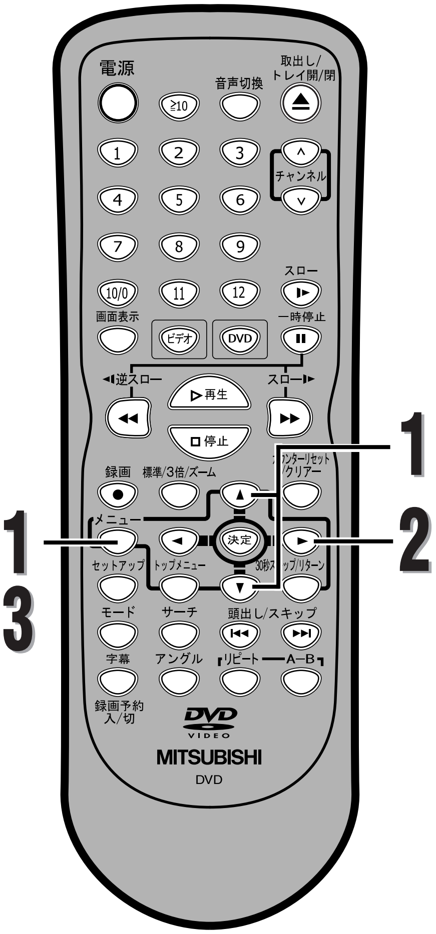
- 予約内容の確認後は、必ずリモコンの[録画予約入/切]ボタンを押して、予約スタンバイの状態にしてください。

留守録リターン

すべての録画予約終了後、自動的に最初の録画開始位置までテープを巻戻し電源が切れます。

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
  （予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押してください。）
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



1

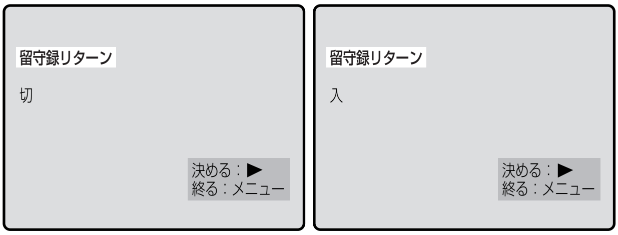
メニュー ボタンでメニュー画面を表示させ、

▲/▼で “留守録リターン” を選ぶ

2

▶を押して次画面に移り、

▶で “入”、“切” を選ぶ



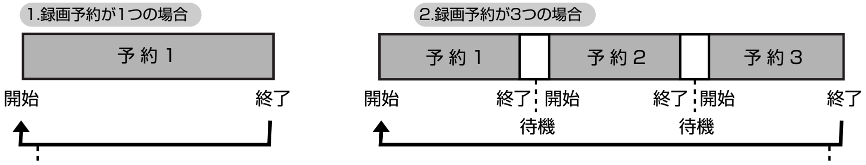
3

メニュー ボタンを押し、通常画面に戻る

ちょっと一言！

- 毎日/毎週録画、サテライト予約、オフタイマー録画では留守録リターン機能は働きません。
- 予約録画の途中でテープの残り時間がなくなり録画が終了したときは留守録リターンが働きません。

留守録リターン入を選択したとき



録画開始位置まで巻戻し、本体のビデオランプが消灯して、DVDランプが点灯します。（本機の電源を入れてから、30分以上DVDを使用していない場合は、電源が切れます。

3つ目の録画予約が終了した時点で録画開始位置まで巻戻し、本体のビデオ操作用のランプが消灯して、DVDランプが点灯します。（本機の電源を入れてから、30分以上DVDを使用していない場合は、電源が切れます。）

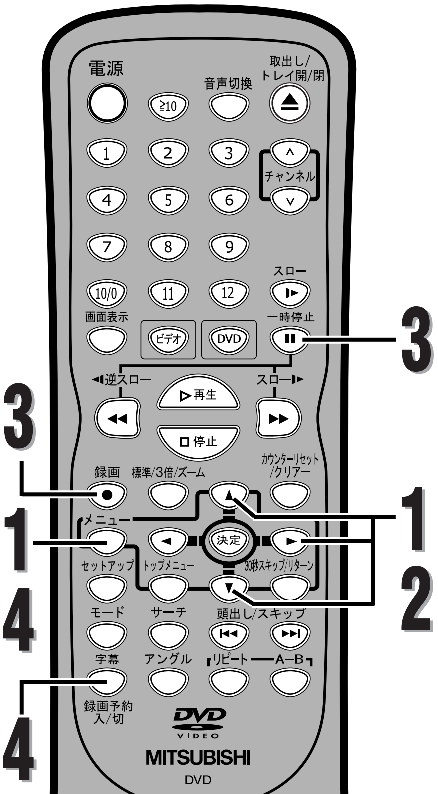
予約延長設定

スポーツ中継などの番組延長で、後ろの番組の放送時間がずれた場合に、簡単に予約時間を変更することができる機能です。

録画予約が開始されていない場合…

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
  （予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押してください。）
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



1

メニュー ◯ でメニュー画面を表示させ、

▲/▼ で

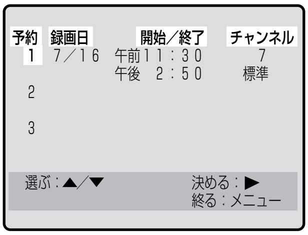
"録画延長" を選び、

▶ で次画面に移る

2

▲/▼ で時間延長したい "予約番号" を選び、

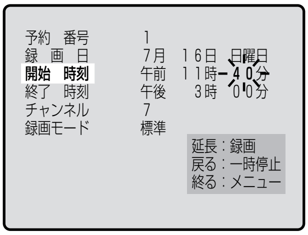
▶ で次画面に移る



3

希望の予約時間になるまで 録画 ◉ を押す

- [録画]ボタンを押すごとに開始/終了時刻が10分間ずつ延長されます。
- リモコンの[録画]ボタンで時間延長したあとに、リモコンの[一時停止]ボタンを押すと、時間延長をする前の元の時間に戻すことができます。



4

メニュー ◯ を押して通常画面に戻り、

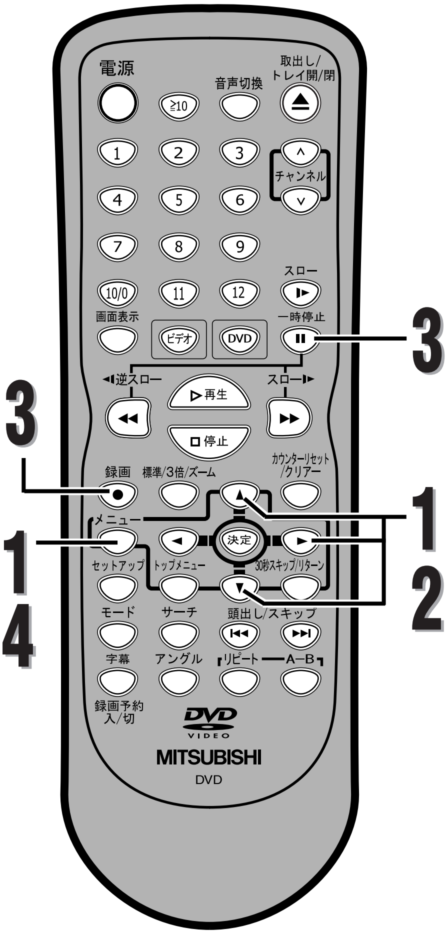
字幕 ◯ 録画予約入/切 を押す

- 予約スタンバイ（タイマー待機中）状態になります。

ちょっと一言！

- 毎日/毎週録画で設定された予約の場合は、予約延長設定はできません。
- 予約時間の延長中に開始時刻が次の日になった場合は、自動的に録画日／曜日が次の日に替わります。

録画予約が開始されている場合…

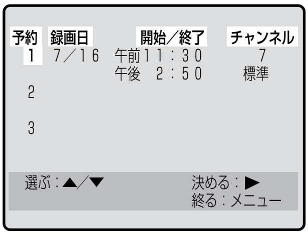


1

メニュー
でメニュー画面を表示させ、
▲/▼で
"録画延長"を選び、
►で次画面に移る

2

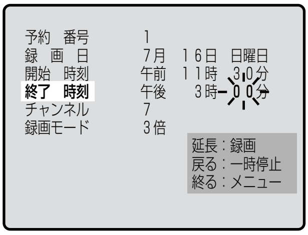
▲/▼で録画中の
"予約番号"を選び、
►で次画面に
移る



3

希望の終了時刻になるまで 録画 を押す

- [録画]ボタンを押すごとに終了時刻が10分間ずつ延長されます。
- リモコンの[録画]ボタンで時間延長したあとに、リモコンの[一時停止]ボタンを押すと、時間延長をする前の元の時間に戻すことができます。



4

メニュー
を押し、通常画面に戻る

ちょっと一言!

- 録画中の予約時間を延長した場合は、自動的に録画モードが3倍に変更されます。また、リモコンの[一時停止]ボタンでもとの時間に戻された場合も3倍モードのままになります。

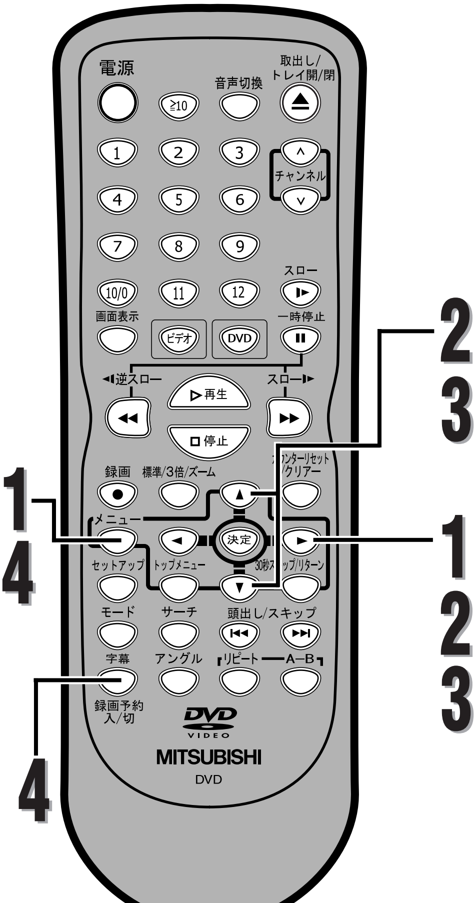
予約内容の修正・取り消し

録画予約セット後に予約内容を修正／取り消すことができます。

予約内容を修正するには…

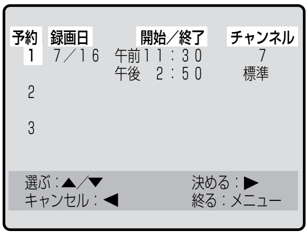
準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押してください。）
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。

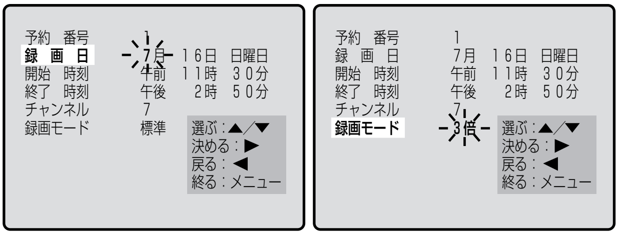


1 メニュー でメニュー画面を表示させ、 ▶ で次画面に移る

2 ▲/▼ で修正したい“予約番号”を選び、 ▶ で次画面に移る



3 ▶ で修正したい項目まで送る ▲/▼ で修正し、 ▶ を押す



4 メニュー を押して通常画面に戻り、

字幕／録画予約入/切 を押す

- 予約スタンバイ（タイマー待機中）状態になります。

ちょっと一言！

- 予約内容の修正／取り消し後は、必ずリモコンの[録画予約入/切]ボタンを押して、予約スタンバイ状態にしてください。

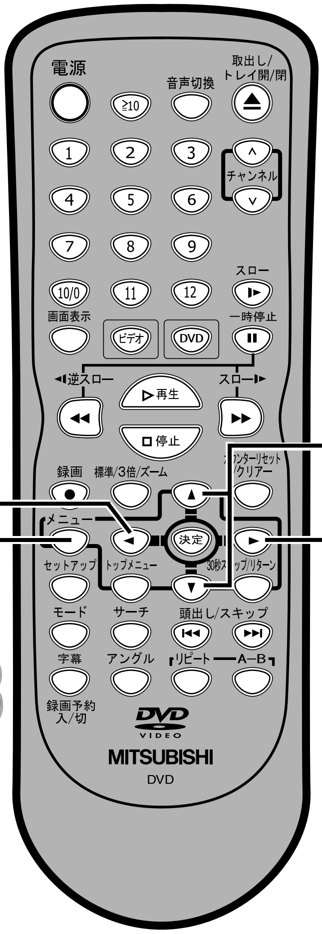
ビデオ編

予約内容の修正・取り消し

予約内容を取り消しするには…

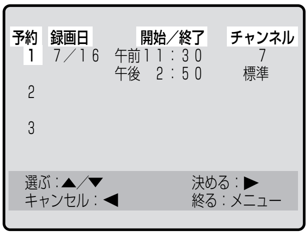
準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押してください。）
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



1 メニュー でメニュー画面を表示させ、▶ で次画面に移る

2 ▲/▼ で取り消したい"予約番号"を選び、◀ を押し、予約内容を取り消す



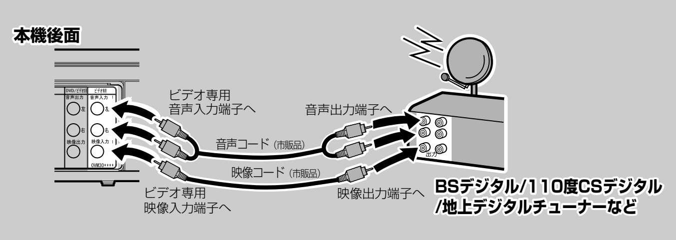
3 メニュー を押して通常画面に戻る

ちょっと一言!

- 録画予約が開始されている途中で予約を取り消すには、本体の[停止/取出し]ボタンを押し、その後、手順1から操作してください。

サテライト予約

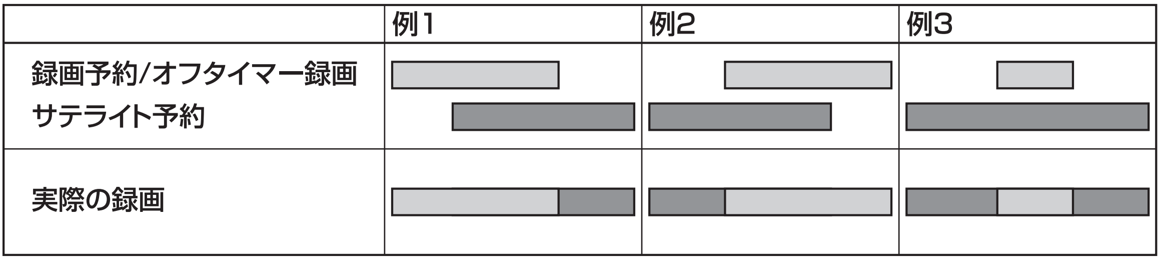
24時間以内に始まるBSデジタル/110度CSデジタル/地上デジタル放送などの外部入力に連動して録画するときに便利です。後面入力端子(ライン1)に接続してください。



● サテライト予約の設定をする前に本機とBSデジタル/110度CSデジタル/地上デジタルチューナーなどを接続してください。

録画予約/オフタイマー録画とサテライト予約が重なったときは…

録画予約/オフタイマー録画を優先して録画します。



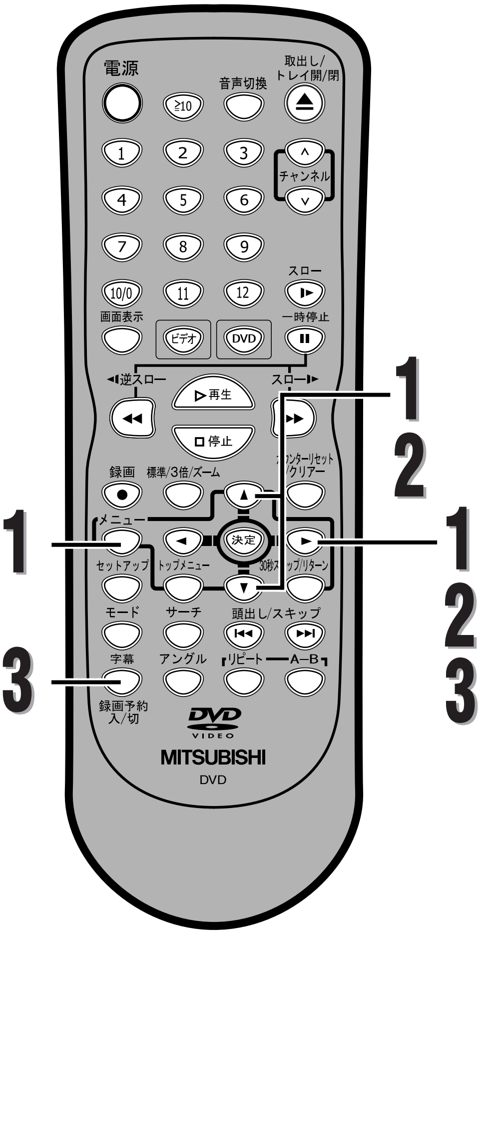
ちょっと一言!

- サテライト予約は前面入力端子(ライン2)では動作しません。
- BSデジタル/110度CSデジタル/地上デジタルチューナーの信号を感知してからビデオの動作に入るため、録画開始時間は数秒間の遅れが生じる場合があります。
- 本体の録画予約とCS番組のサテライト予約が同時刻または重なった場合、録画予約のほうが優先されます。
- 番組によってはコピーガード機能により正しく録画されない場合もあります。
- 録画モードはサテライト予約の設定に入る前に、[標準/3倍]ボタンで切り換えてください。
- サテライト予約のスタンバイはリモコンの[録画予約入/切]ボタン、または本体の[停止/取出し]ボタンを押し、本機の電源がオンになると解除されます。
- サテライト予約動作中に録画を止めるには、本体の[停止/取出し]ボタンを押します。
- デジタルチューナー/テレビのビデオコントローラー（ビデオマウスなど）やIrシステムを使う場合は、本機を操作することができないこともあります。Irシステムとは、テレビ側で予約した番組の情報を、リモコンと同じコードを発信することでビデオにも予約情報をとばすことです。
- Irシステムを使用する場合の予約スタンバイは、本体のビデオランプが点灯した状態でチャンネルを外部入力(ライン1)に設定したあと、電源をお切りください。
- テレビなどのIrシステム録画には、対応できない場合があります。詳細は、テレビなどの取扱説明書をお読みください。

ビデオに録画する

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押してください。）
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



1

メニュー ◯ でメニュー画面を表示させ、

▲/▼ で“サテライト予約”を選び、

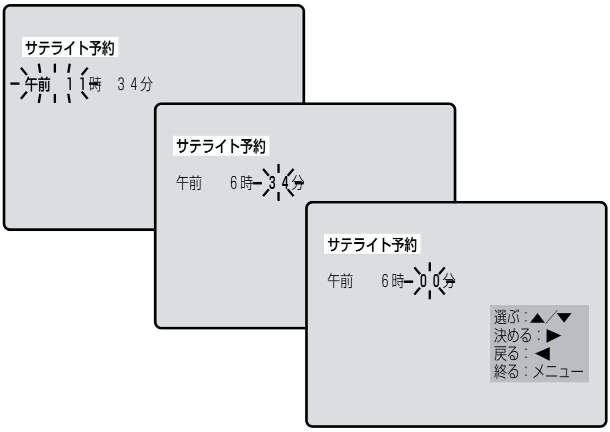
► で次画面に移る

2

▲/▼ で“サテライト予約”の時間設定をし（24時間以内）、

► で次項目に移る

- 始めは現在の時刻が表示されます。
- “分”についても同様の操作で設定します。



3

► を押す

- “入”が表示され、1秒後自動的にサテライト予約スタンバイモードになります。
- サテライト予約スタンバイモードを解除するには、[録画予約入/切]ボタンを押してください。

ちょっと一言！

- サテライト予約のスタンバイ中は設定された時間になると、BSデジタル/110度CSデジタル/地上波デジタルチューナーの入力信号を感知させるために電源ランプが点灯します。
- サテライト予約録画終了後も電源ランプは点灯したままとなります。引き続きサテライト予約録画を行わない場合や、ビデオの操作をするときは、リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押して予約スタンバイを解除し、リモコンの[ビデオ]ボタンを押してください。
- 予約スタンバイを解除したときは、再度[録画予約入/切]ボタンを押してもサテライト予約はスタンバイモードにはなりませんので、手順1〜3をやり直してください。

音声多重放送について

本機をステレオテレビやお手持ちのステレオと接続すると、ステレオ放送や二重音声(2カ国語)放送を楽しめます。

● 送られてくる音声の画面表示について

· **[画面表示]ボタン**を押すとテレビ画面右上に音声モードが表示され確認できます。

● ステレオ放送を受信したときや、Hi-Fi録画されたテープを再生したときは…

· 自動的に**ステレオモード**に切り換わります。
· **[音声切換]ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**ステレオ→左音声→右音声→モノラル**に切り換わります。

音声モード	ステレオ放送受信時 Hi-Fiテープ再生時	画面表示
ステレオ	ステレオで聞こえる	ステレオ
左（主）	両方のスピーカーから 左の音声が聞こえる	左音声
右（副）	両方のスピーカーから 右の音声が聞こえる	右音声
ノーマル	モノラルで聞こえる	モノラル

● 二重音声放送(2カ国語放送)を受信したときは…

· 音声は自動的に**二重音声モード**に切り換わります。
· **[音声切換]ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**主音声→副音声→主：副**に切り換わります。
このとき音声モードが記憶され、次に二重音声放送を受信すると前に記憶した音声モードに自動的に切り換わります。

音声モード	二重音声放送受信時	画面表示
ステレオ	左から主音声（日本語） 右から副音声（外国語）が聞こえる	主：副
左（主）	両方のスピーカーから 主音声（日本語）が聞こえる	主音声
右（副）	両方のスピーカーから 副音声（外国語）が聞こえる	副音声

（2カ国語放送が録画されたテープを再生するときも、同様です。）

● 本機は常に次の2つの方法で録音します。

Hi-Fi録音

· 音声専用回転ヘッドによる**FM録音方式**を使い、すぐれたHi-Fi音声で録音や再生をします。
Hi-Fi録音では、ステレオ放送はステレオで二重音声(2カ国語)放送は**左に主音声**、**右に副音声**が記録されます。
モノラル放送は、**左右に同じ音声**が録音されます。

ノーマル録音

· 従来のビデオと同じ録音方式で**モノラル**で録音します。
ノーマル録音では、ステレオ放送はモノラルで録音され、**二重音声(2カ国語)放送は主音声(日本語)**だけが録音されます。録音レベルは、自動的に適切なレベルに設定されます。

ちょっと一言!

- **Hi-Fi録音以外のテープを再生すると、自動的にノーマル音声になります。**
- **Hi-Fi録音されたテープを、Hi-Fi方式でないビデオデッキで再生した場合はノーマル音声になります。**

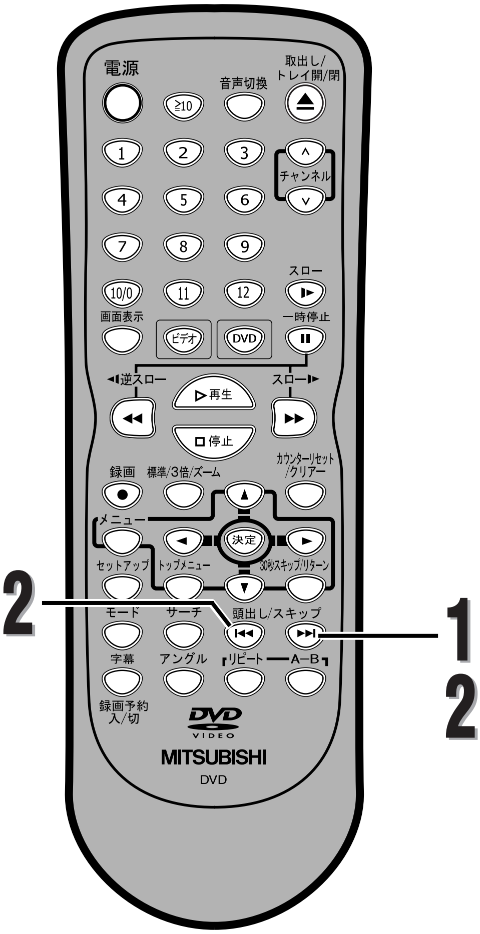
テープの頭出し

インデックス記録された番組の頭出しをします。
インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。
(録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。)

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。

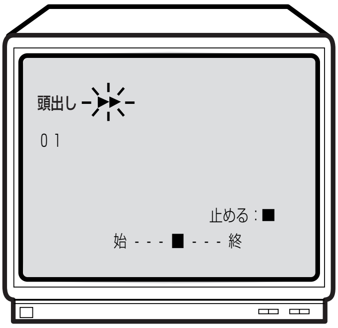
2つ先の番組を頭出しする場合…



1

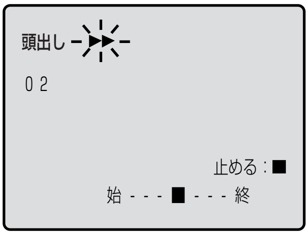
頭出し/スキップ (▶▶I) を押す

- 頭出し検索が始まります。



2

頭出し/スキップ (▶▶I) を再度押し、インデックス番号"02"を選ぶ



- ボタンを押しすぎて、"02"を越えてしまった場合は、頭出し/スキップ (I◀◀) で数字を減らすことができます。
- 頭出し検索中にインデックス信号を検知すると、自動的に数字が減ります。
- 頭出しは、最大20まで設定できます。
- 設定した位置にくると、自動的に再生が始まります。

ちょっと一言!

頭出しについて

今見ている番組

	ニュース	前の番組	ドラマ	次の番組	映画
インデックス	03 02	01		01	02 03
	I◀◀ 前			次 ▶▶I	

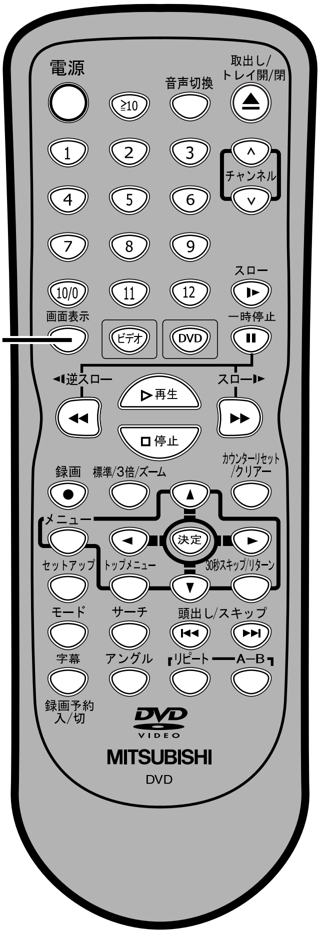
- インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。ただし、録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。
- テープの巻き始めに記録されているインデックスや、録画時間が1〜2分の短い番組の場合は、検知されないことがあります。
- 手順1で[頭出し/スキップ(I◀◀)]ボタンを押すと、前の番組方向に頭出し検索をすることができます。[頭出し/スキップ(I◀◀)]ボタンまたは[頭出し/スキップ(▶▶I)]ボタンを押すごとにお好みのインデックス番号を選ぶことができます。
- 再生開始位置は若干前後する場合があります。

テープポジション

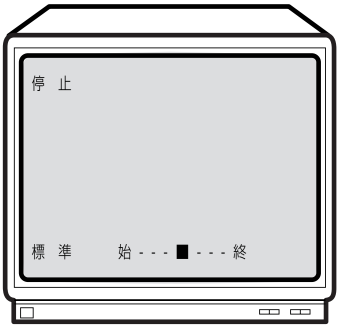
現在のテープ位置を画面に表示します。録画前にテープ残量を調べるのに便利です。

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させせます。



1 画面表示 を押す



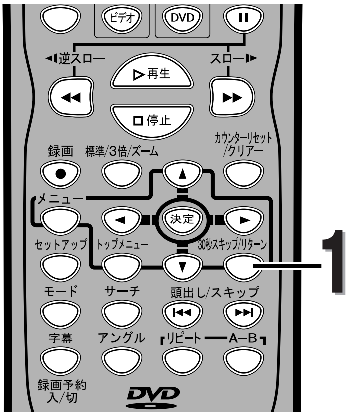
- 現在のテープの位置が「■」で表示されます。
- 早送り/巻戻しを行うと自動的にテープポジション表示になります。（ただし、カウンター/時計表示の場合は、テープポジション表示にはなりません。）
- テープポジション表示中に再生を行うと、テープポジション表示は消えます。

ちょっと一言！

- [画面表示]ボタンを繰り返し押すと、テープポジション/カウンター/時計表示の順に切り換わります。[➡ 63ページ]をご覧ください。
- 録画や再生中にテープポジション表示に切り換えた際、テープ位置を示す「■」が表示されるまで2分ほどかかる場合があります。
- T-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、テープ位置が正しく表示されない場合があります。

CMスキップ

コマーシャルを早送りさせたいときなどに、テープを30秒単位で早送り再生します。



1 再生中に（30秒スキップ/リターン）を押す

（ビデオの音声はでません。）

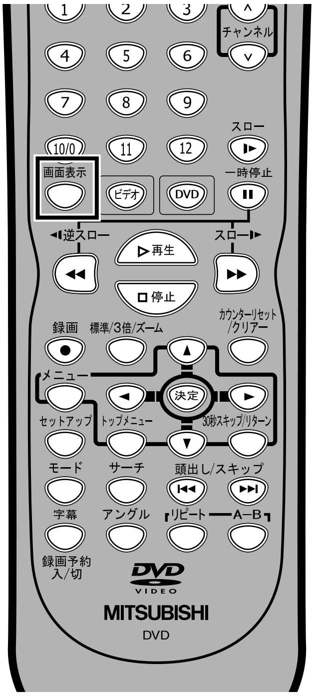
- 押すごとに約30秒ずつ加算されます。
  (最大180秒の早送り再生ができます。)
  1回押すと：約30秒早送り再生します。
  2回押すと：約60秒早送り再生します。
  3回押すと：約90秒早送り再生します。
- 指定した時間が経過すると、通常の再生に戻ります。

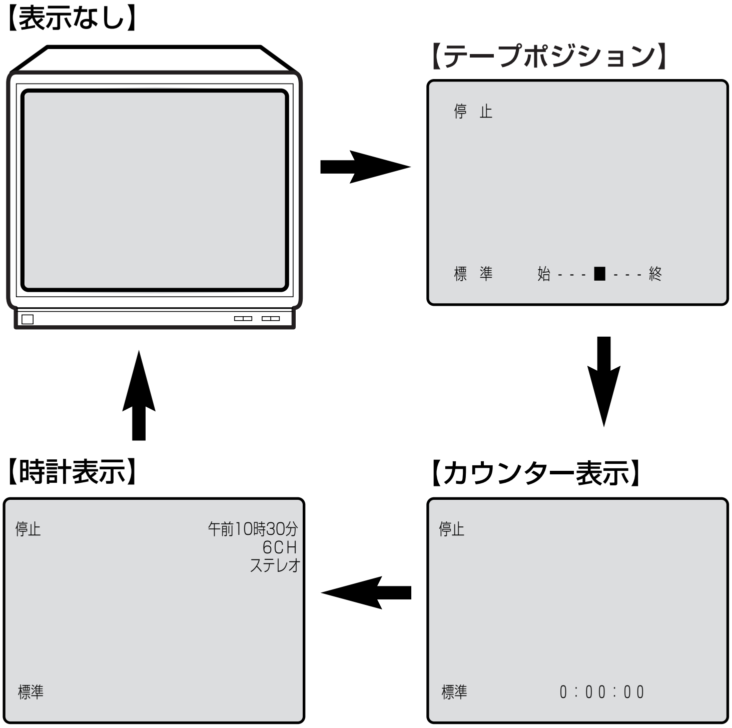
ちょっと一言!

- CMスキップは再生時以外は操作できません。

画面表示ボタンの使いかた

[画面表示]ボタンを繰り返し押すと、下図のようにテレビ画面が変わります。





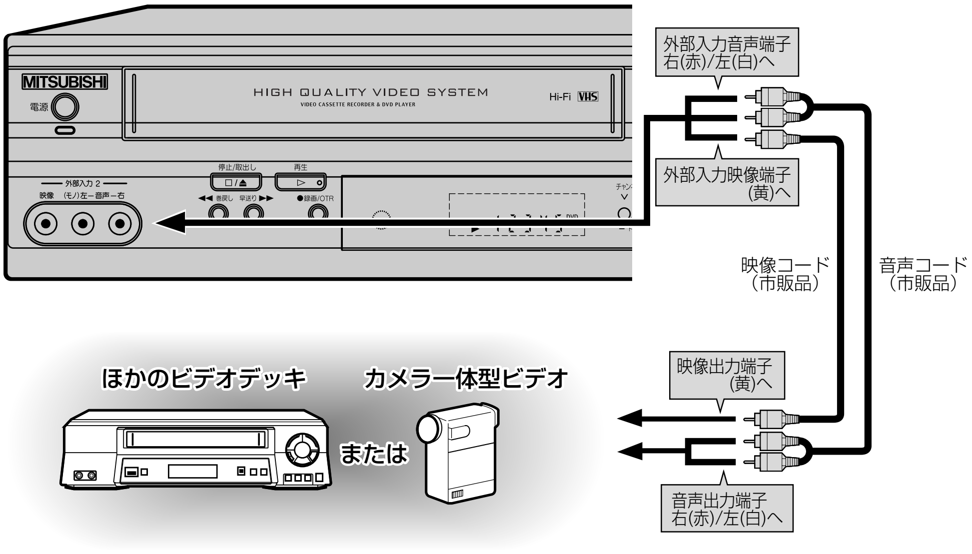
ちょっと一言!

- テープポジションについては、
  [➡ 62ページ]をご覧ください。
- オフタイマー録画中は、[画面表示]ボタンを押すと残り時間が表示されます。

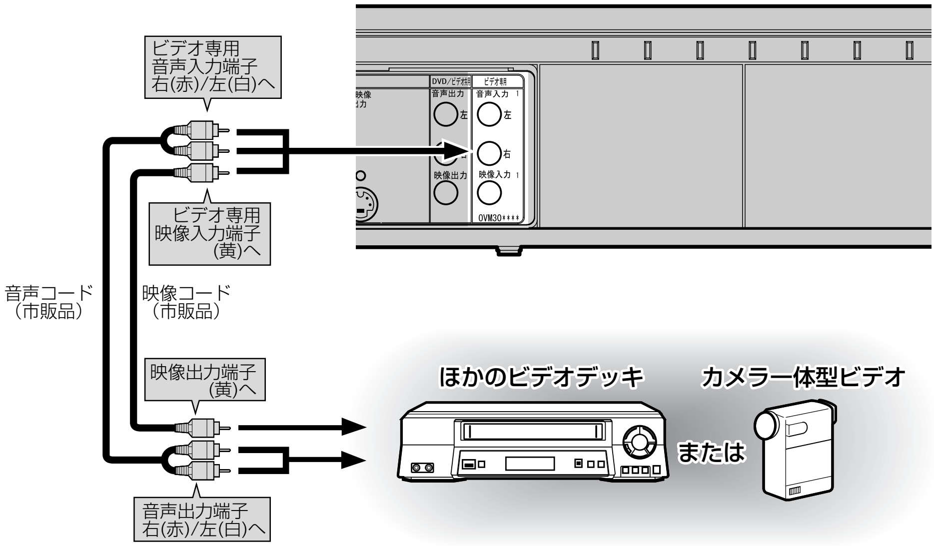
テープのダビングについて

ほかのビデオデッキまたはカメラ一体型ビデオからダビングするには…
（本機を録画専用ビデオとした場合）

前面入力端子(ライン2)を使用する場合のダビング接続例



後面入力端子(ライン1)を使用する場合のダビング接続例



ちょっと一言!

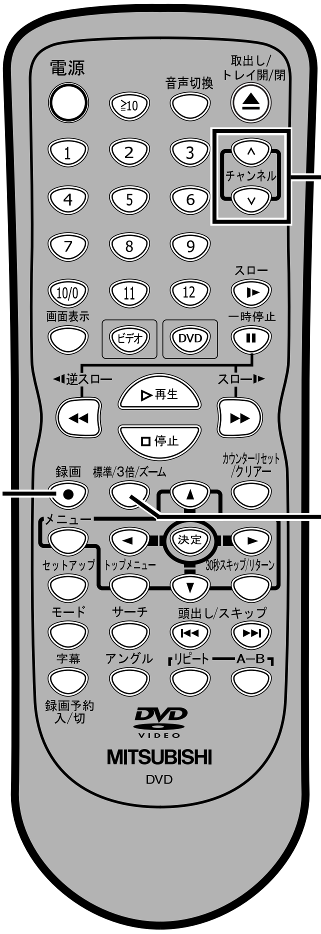
- 市販のテープやレンタルテープ、およびその他のメディア（DVDディスクなど）をダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、テレビの映像が正常に映らない場合があります。これは著作権者保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。
- 本機のDVDからビデオへはダビングできません。
- あなたがテレビ放送やレコード、録画物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオの便利な機能

テープをダビングするには

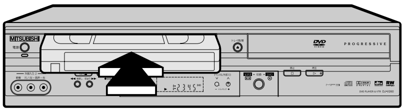
準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオランプを点灯させます。



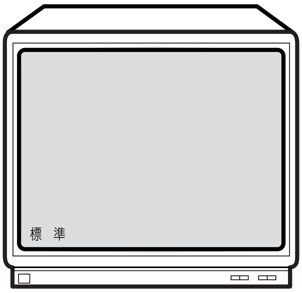
1 ツメの折れていないビデオカセットテープを挿入する

- ツメが折れている場合は録画できません。



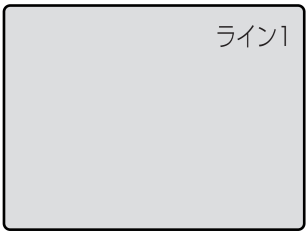
2 [標準/3倍/ズーム] を押して“録画モード”を選ぶ

- 標準(SP)モード
  …画質を優先したいとき
- 3倍(EP)モード
  …録画時間を長くしたいとき



3 [チャンネル ∧/∨] を押して“ライン1”または“ライン2”を選ぶ

- 本機の後面入力端子に接続している場合は、“ライン1”を選びます。
- 本機の前面入力端子に接続している場合は、“ライン2”を選びます。



4 [録画] を押す

- 録画を開始します。

5 ほかのビデオデッキ（またはカメラ一体型ビデオ）の再生ボタンを押す

ちょっと一言!

- ダビングを止めるときは、録画する機器（本機）を止めてから再生する機器を止めてください。
- 誤作動を防ぐためには、録画する機器の操作は本体ボタンを使用することをお勧めします。
- 接続する機器の取扱説明書もよくご覧ください。
- 誤って元のテープの映像を消去しないために、ダビングの際には元のテープの誤消去防止のツメを折ることをお勧めします。

DVD・CDを再生する

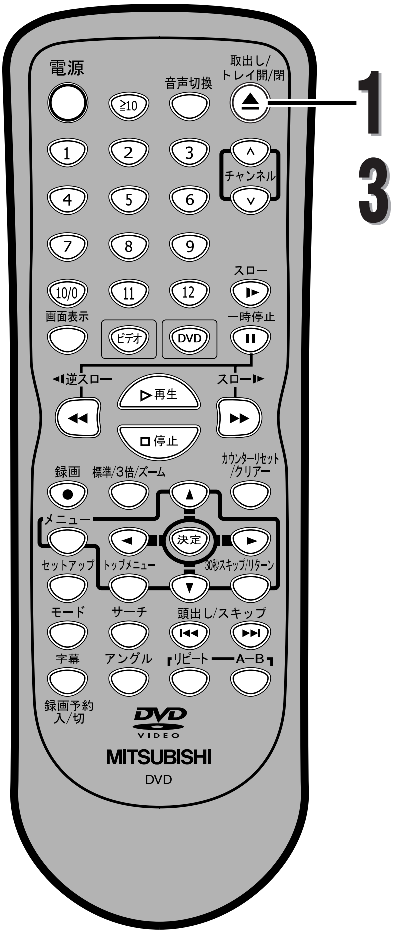
DVD、音楽用CDの再生

DVD-V　CD　VR DVD-RW/-R

- すべての接続が終わったら、電源プラグをコンセントにつなぎます。
- テレビ、アンプ、その他、本機に接続されている機器の電源をすべて入れます。（入力方式を本機に適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。）
- ディスク回転中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、[電源]ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

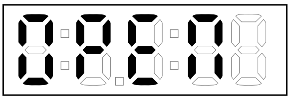
準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を（ビデオ）にします。
- リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。



1

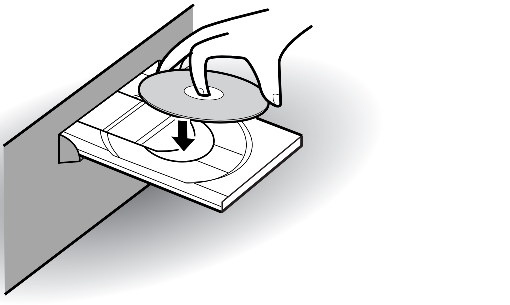
取出し/トレイ開/閉 ⏏ を押してディスクトレイを開ける



2

再生するディスクをトレイにのせる

- ラベル面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。



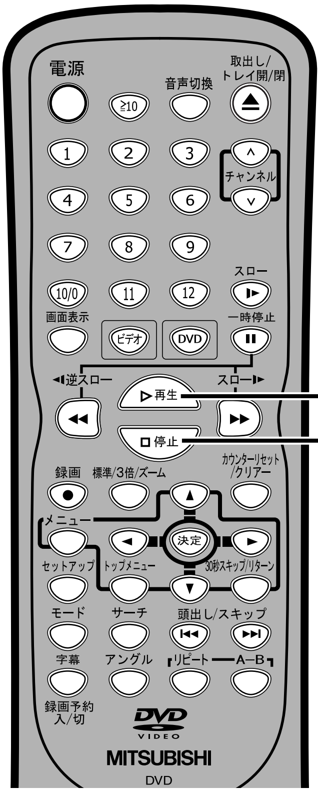
3

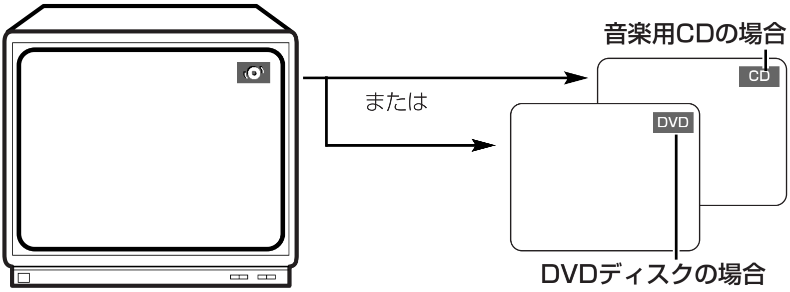
取出し/トレイ開/閉 ⏏ を押してディスクトレイを閉める

ちょっと一言!

- ディスクを裏表逆に入れていると、ディスクに傷をつけたり、誤動作の原因となります。
- 電源「切」の状態でも、[取出し/トレイ開/閉]ボタンを押すと電源が入り、トレイが開きます。
- 2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。
- VRモードで録画されたDVD-RW/-Rでは、編集（タイトル消去、録画の繰り返し）やプレイリスト作成の状態により、再生中に映像が止まることがあります。
- MP3/JPEGディスクの再生に関しては［MP3/JPEGディスクの再生（ ➡ 68～69ページ）］をご覧ください。
- 音楽用CDを第1セッションに、MP3ファイルとJPEGファイルを第2セッションに記録したような種類の異なるマルチセッションディスクを再生した場合は、第1セッションのみの再生となる場合があります。

DVD・CDを再生する





4 ▷再生 を押す

- ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。
- メニュー画面が記録されているDVDディスクを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。[➡84～85ページ]の項をご覧ください。
- DVD-RW/-R（VRモード）記録のディスクはオリジナル、プレイリスト画面から直接お好みのタイトルを選んで再生することができます。

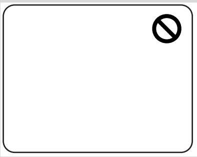
5 再生をやめるとき、□停止 を押す

画面に下記の表示が出た場合は、[➡ 115ページ]をご覧ください。

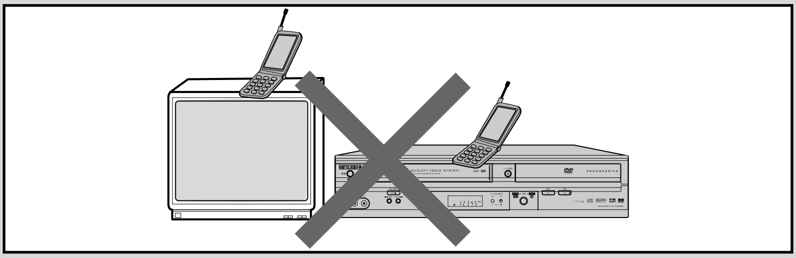
--ディスクを取り出してください。--	リージョンエラー	視聴制限エラー
対応していないディスクが入っているか、キズや汚れのため再生できません。	--ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。	現在の視聴制限設定では再生が制限されます。

ちょっと一言！

- ディスクによっては、自動的に再生が始まるものがあります。
- [再生]ボタンを押したあと、映像や音声がでるまでに時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。
- 本機の動作中にテレビ画面の右上隅に禁止アイコン(⊘)が表示されることがあります。これは、禁止されている操作が本機かディスクに対して行われていることを警告するためのものです。



- ディスクに汚れや傷があると、画像がゆがんで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源を切り、電源プラグをコンセントからいったん抜き取り、電源プラグをコンセントに差し込みなおしてから再生を再開してください。
- 再生プログラム信号が備わっているDVDディスクの場合は、2番目のタイトルから再生が始まったり、タイトルを飛ばして再生をすることがあります。
- ディスクを取り出すときは、取出し/トレイ開/閉を押してください。
また、本機の電源を切る前にディスクを取り出してください。
- 映像や音声が出力されるまでに時間がかかることがありますが、故障ではありません。
- 携帯電話をご使用になるときはテレビや本機に近づけないでください。
音声に異音が入ったり、テレビにノイズがでたりする場合があります。
異音がでたり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

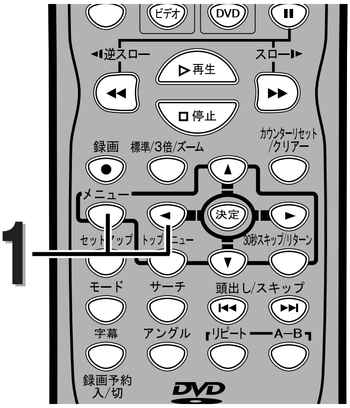


MP3／JPEGディスクの再生

MP3 JPEG

準備

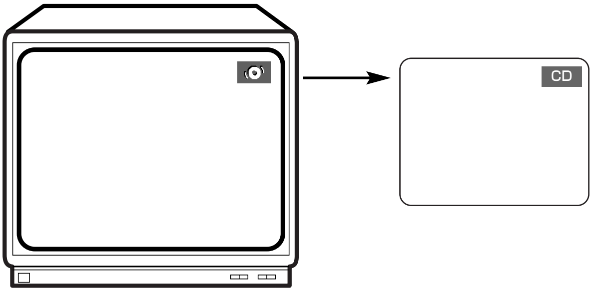
- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。



1

MP3/JPEGファイルの混在するディスク、またはそれぞれのファイルのみが記録されたディスクを挿入する

- ディスクを挿入すると、下図が画面上に表示されます。

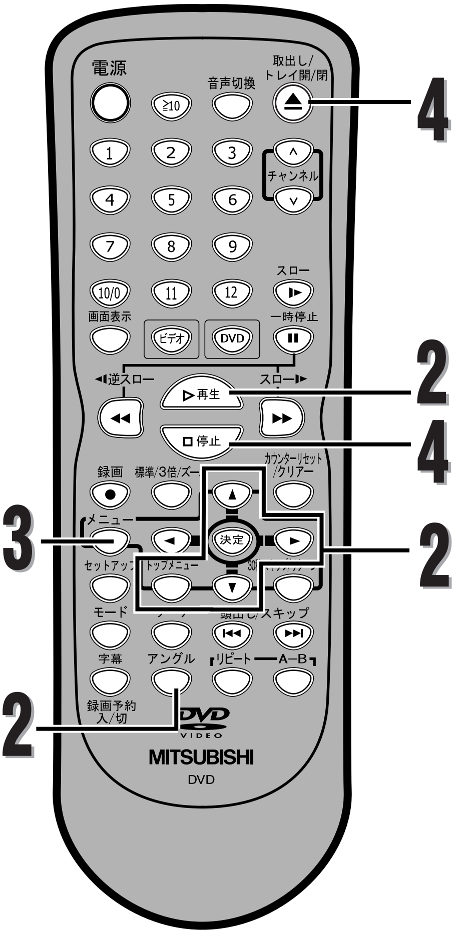


- 自動的にファイルリスト画面が表示されます。

- グループ（フォルダ）名の先頭には“🗉”が表示されます。
- MP3トラック名の先頭には“♪”が表示されます。
- JPEGトラック名の先頭には“☺”が表示されます。
- 画面内にすべて表示されない場合は、次のページを示す“▽”が表示されます。前のページがある場合には“△”が表示されます。“▽” の右側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- グループの中にMP3またはJPEGトラックが見つからない場合、そのグループは表示されません。
- カーソルボタン[◀]を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。
- 再生中または停止中に[メニュー]ボタンを押すと、ファイルリスト画面が表示されます。

ちょっと一言！

- 「オーディオ」（音声設定）のデュアル再生設定項目については、[➡ 110〜111ページ]を参照してください。
- グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- ファイルリストの最初の画面を表示するには、ファイルリスト画面表示中に[トップメニュー]ボタンを押します。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- 固定ビットレート32kbps以上で記録されたMP3ファイルを推奨します。
- ファイルリスト画面を表示していない状態で再生しているときに数字ボタンでファイル番号を入力すると、そのファイルのダイレクト再生を始めることができます。
- ファイルリスト画面表示中はダイレクト再生ができません。
- 希望するタイムカウントからの再生はできません。
- プログレッシブJPEG画像は再生できません。
- JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。



2

▲/▼で再生したいグループまたはトラックを選択し、▷再生または決定を押す

トラックを選択した場合
選択したトラックから順に再生が始まります。

グループを選択した場合
カーソルボタン[▶]または[決定]ボタンを押し、次にカーソルボタン[▲/▼]でそのグループ内の再生したいトラックを選択し、[再生]ボタンまたは[決定]ボタンを押すと再生が始まります。

- [トップメニュー]ボタンを押すと1番上の階層に戻ります。
- 9階層以降の階層は再生できません。
- JPEG画像が表示されている間は、[アングル]を押すごとに時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

3

「オーディオ」（音声設定）で[デュアル再生]を[オン]にしている場合

- MP3ファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのMP3ファイルが再生されます。
- JPEGファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのJPEGファイルが再生されます。

画像と音楽を同時に楽しむには…

- 再生中に、[メニュー]ボタンを押すと、ファイルリストが表示されます。
- MP3ファイルを再生中に、ファイルリストからJPEGファイルを選択すると、同時再生が始まります。
- JPEGファイルを再生中に、ファイルリストからMP3ファイルを選択すると、同時再生が始まります。

「オーディオ」（音声設定）で[デュアル再生]を[オフ]にしている場合

- MP3ファイルとJPEGファイルは同時に再生されません。この場合、記録されたトラック順に再生されます。

4

再生を停止するときは□停止を押す

- ディスクを取り出すときは、[取出し/トレイ開/閉]ボタンを押してください。また、本機の電源を切る前にディスクを取り出してください。

ちょっと一言!

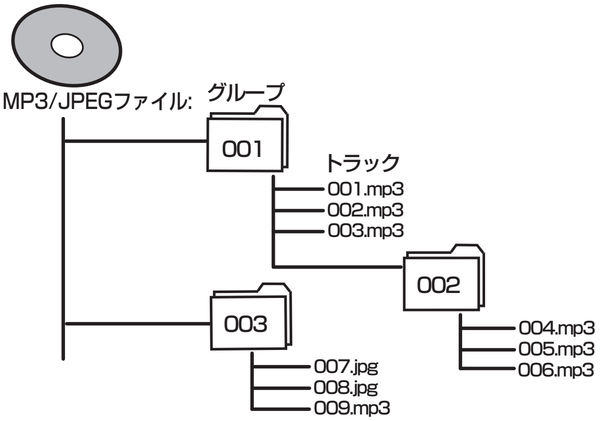
- デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が5,000KB以下、画像の大きさが縦×横 5,000×5,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
- デュアル再生は、すべてのファイル構成の組み合わせを保証するものではありません。[➡ 111ページ]

MP3／JPEGファイル形式について

MP3 JPEG

- 「.mp3(MP3)」という拡張子がついたファイルを「MP3ファイル」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子がついたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。
- ディスクに記録されたMP3ファイルやJPEGファイルはトラックとよばれ、下図のようにグループとよばれるフォルダに分類されます。

例 MP3/JPEG



- 本機ではExif規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
  ＊Exif (Exchangeable Image File format)はファイルフォーマット形式の一つで、JEIDA (Japanese Electronic Industry Development Association) によって制定されたものです。
- 拡張子が「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」と「.jpeg(JPEG)」以外のファイルはMP3またはJPEGメニューのリストには表示されません。
- 拡張子「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」がついたファイルでも、MP3、JPEG形式で記録されていないものを再生するとノイズがでることがあります。

再生可能MP3ファイル	
サンプリング周波数	44.1kHzまたは48kHz
ビットレート	32kbps～320kbps
タイプ	MPEG1 オーディオレイヤー3
フォーマット	ISO9660 Level1/Level2 Joliet方式

再生可能JPEGファイル		
画像サイズ	JPEG再生時 7MB以下	最大:6,300×5,100ピクセル 最小:32×32ピクセル
	デュアル再生時 5MB以下	最大:5,000×5,000ピクセル 最小:32×32ピクセル

- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- 9階層以降の階層は再生できません。

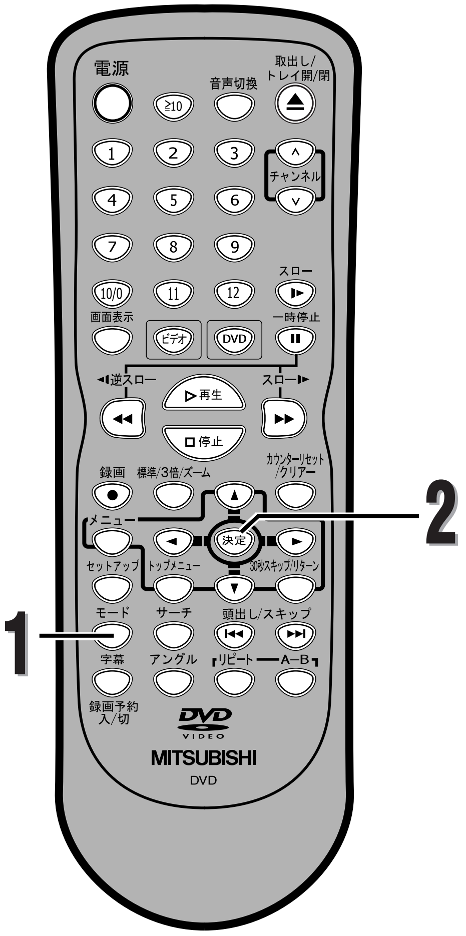
ちょっと一言!

- グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が5,000KB以下、画像の大きさが縦×横 5,000×5,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
- 「ディスプレイ」（映像設定）の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

スライドショーモード

再生中にスライドショーモードを切り換えることができます。スライドを見るように、画像を順番に表示します。

準備
- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させせます。



1 再生中に[JPG]が表示されるまで モード を繰り返し押す

- スライドショーモード画面が表示されます。
- スライドを見るように画面を順番に表示します。
- 停止中、またはファイルリスト画面からスライドショーモードを切り換えることはできません。

2 決定 を押す

- スライドショーモードが切り換わります。

– カット イン／アウトモード：
  完全な画像を順次表示していきます。

– フェード イン／アウトモード：
  次の画像に移るときに、徐々に表示していきます。

ちょっと一言！
- JPEGファイルの[スライドショー]において画面が切り換わる時間を変えることができます。[➡ 107～109ページ]
- 「ディスプレイ」（映像設定）の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。
- プログレッシブJPEG画像は再生できません。
- 次の画像や前の画像が見たい場合は、カーソルボタン[◀ / ▶]を押してください。
- トレイを開閉しても、スライドショーモードの設定は保持します。

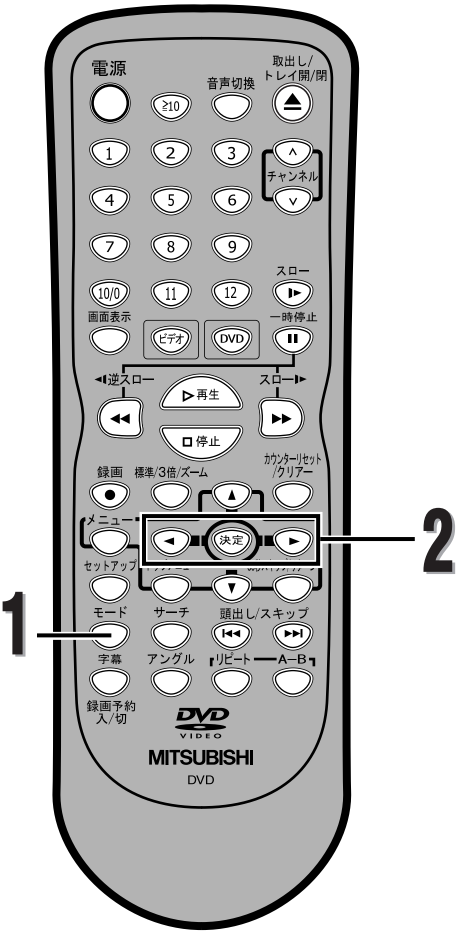
JPEGファイルの画像サイズを調整する

JPEG

接続するテレビによっては表示されるJPEGファイルの端が切れる場合があります。このような場合には、画像を少し小さくして表示します。

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させせます。



1

再生中に[ ]が表示されるまで モード を繰り返し押す

- 画像サイズ設定画面が表示されます。
- 停止中、またはリスト画面から画面サイズ設定画面を表示することはできません。

2

決定 または ◄ / ► で設定を切り換える

－ノーマル：100%の画面サイズで表示します。

－スモール：95%の画面サイズで表示します。

ちょっと一言！

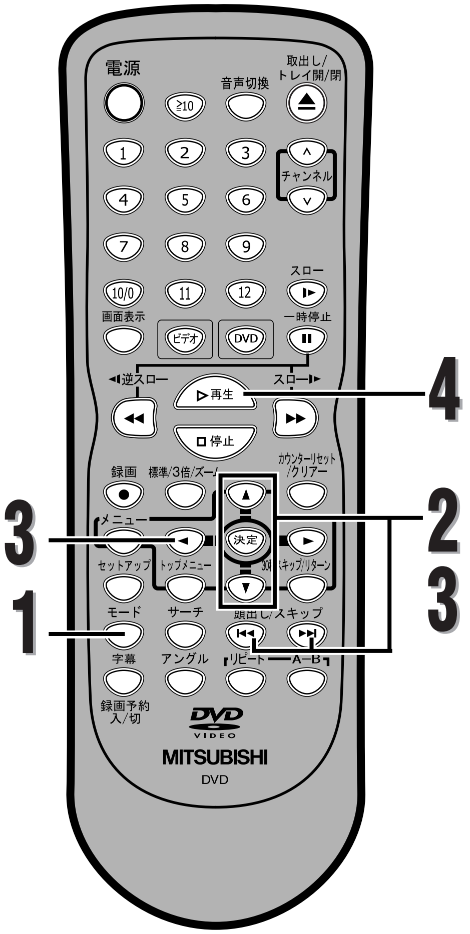
- 画像サイズを[スモール]に設定しても、効果のあらわれない画像があります。
〈例〉画像サイズの小さなファイルなど
- トレイを開閉しても、画像サイズの設定は保持します。

MP3／JPEGディスクをプログラム順に再生する

MP3 JPEG

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。
- [デュアル再生]を[オン]にしている場合、プログラム再生はできません。[➥ 110～111ページ]



1

MP3／JPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にプログラム画面が表示されるまで（モード）を繰り返し押す

- プログラム画面が表示されます。

2

（▲）/（▼）でグループを選択し、（決定）を押す

- リスト画面が表示されます。

3

（▲）/（▼）でトラックを選択し、（決定）を押す

- プログラムが入力されます。
- プログラム入力されたトラックは右画面に表示されます。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す“▷▷I”（I◁◁）が表示され、[頭出し／スキップ]ボタン(▶▶I / I◀◀)で入力したトラックの確認ができます。
- 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す“▽”が表示されます。
- カーソルボタン[◀]を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。

4

プログラム入力を完了し、（▷再生）を押す

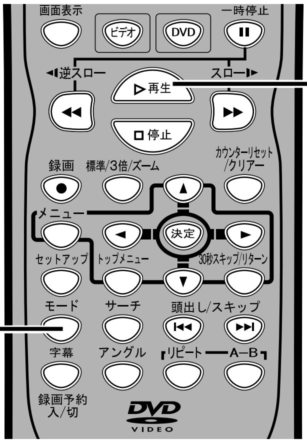
- プログラム再生が始まります。

ちょっと一言！

- [カウンターリセット／クリアー]ボタンを押すと最後に入力したプログラムを取り消すことができます。
- すべてのプログラムを消すには、手順3でリストの1番下の[オールクリア]を選択します。
- [スキップ／リターン]ボタンを押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。
- プログラム再生を止めるには、[停止]ボタンを2回押します。設定していたプログラム再生を始めるには、[モード]ボタンを押してから[再生]ボタンを押します。
- 電源を切る、またはディスクトレイを開けるとプログラム設定は解除されます。
- 最大プログラム数は99トラックまでです。

MP3／JPEGディスクをランダムに再生する

MP3 JPEG



準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。
- [デュアル再生]を[オン]にしている場合、ランダム再生はできません。[➡ 110～111ページ]

1

MP3またはJPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にランダム画面が表示されるまで モード を繰り返し押す

2

再生 を押す

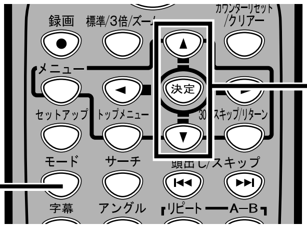
- ランダム再生が始まります。

ちょっと一言!

- ランダム再生中に[停止]ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。
- ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。

MP3／JPEGディスクをフォルダごとに再生する（フォルダ再生）

MP3 JPEG



フォルダ再生中、[停止]ボタンは次のように作動します。

- [停止]ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。再び[再生]ボタンを押すと、停止されていた位置から、フォルダ再生を続けることができます。
- [停止]ボタンを2回押した場合、フォルダ再生は解除されます。

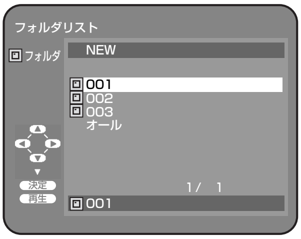
準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。
- [デュアル再生]を[オン]にしてください。
- [デュアル再生]を[オフ]にしている場合は、フォルダ再生できません。[➡ 110～111ページ]

1

MP3またはJPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中に モード を押す

- フォルダリスト画面が表示されます。
- フォルダがない場合の再生方法は[➡ 68～69ページ]をご覧ください。



2

カーソルボタン[▲ / ▼]でフォルダを選択し、 決定 を押す

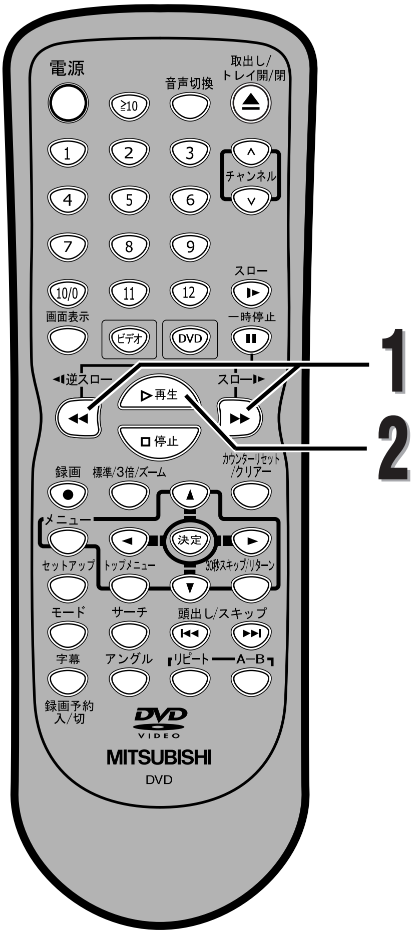
- 選択されたフォルダ内のMP3ファイルとJPEGファイルが同時に再生されます。

ちょっと一言!

- フォルダ再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。
- 一つのフォルダ内に、MP3/JPEGファイルが混在しているディスクを再生する場合、フォルダ再生実行中にリモコンのスキップボタン［|◀◀, ▶▶|］を押しても、MP3のスキップしかできません。
- MP3/JPEGファイル混在のディスクを再生し、最終JPEGファイルを再生した場合、画面がブルーバックになりますが、[メニュー]ボタンを押すと、フォルダリスト画面に戻ります。

早送り／早戻しをする

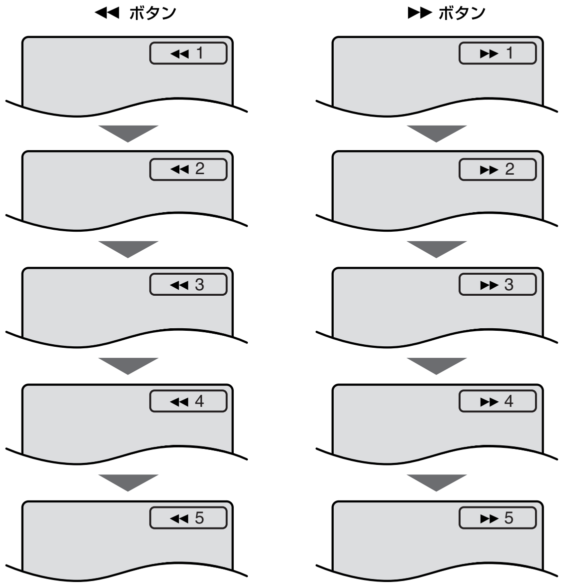
DVD-V CD MP3 VR DVD-RW/-R



1 再生中に ▶▶ または ◀◀ を押す

- DVDディスクの場合はボタンを押すたびに1（×2）、2（×8）、3（×20）、4（×50）、5（×100）の5段階に再生速度が変わります。

DVDの場合



- 音楽用CD、MP3の場合は、ボタンを押すたびに1（×2）、2（×8）、3（×30）の3段階に再生速度が変わります。
- 再生速度の倍速は通常再生を1としたときの目安です。実際の速度ではありません。

2 ▷再生 を押すと通常の再生速度に戻る

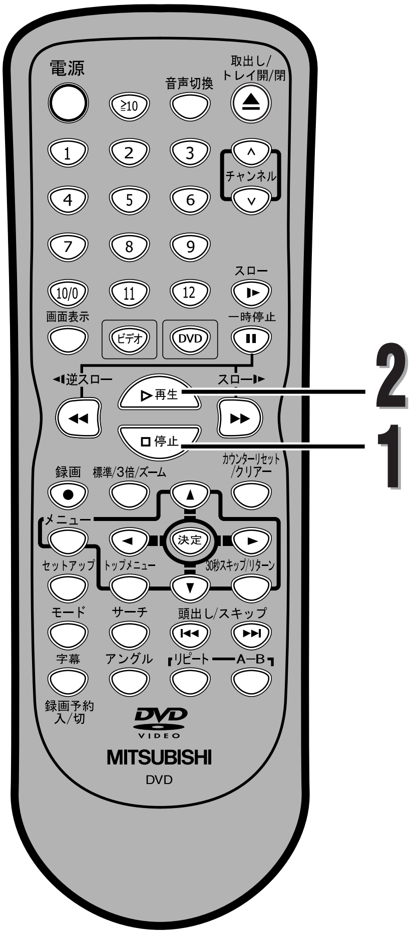
DVD編　早送り／早戻しをする

ちょっと一言！

- DVDディスクで早送り／早戻し中に映像がブレる場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 107〜109ページ]

つづきから再生する（リジューム機能）

DVD-V　CD　MP3　VR DVD-RW/-R　JPEG



1

再生中に［□停止］を押す

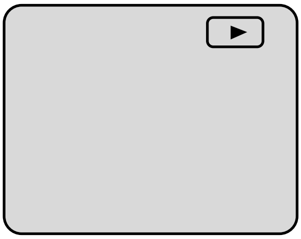
● 再生が停止し、次いで画面中央に「再開メッセージ」が表示されます。

＜例：DVDディスク、音楽用CDの場合＞

2

［▷再生］を押す

● 停止した位置から、続けて再生されます。



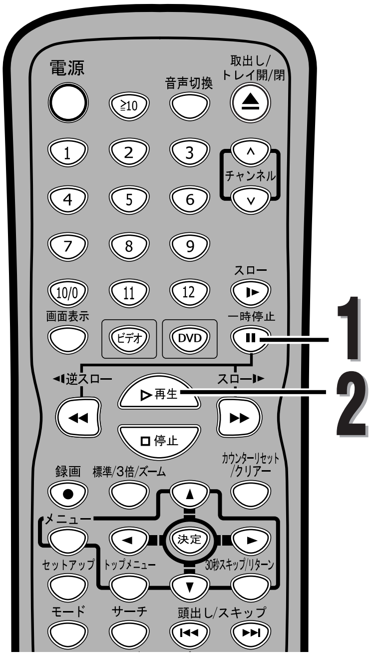
ちょっと一言!

● [停止]ボタンを2回押すか、ディスクトレイを開くと、リジューム機能の情報は解除されます。
● 電源を切っても、リジューム機能の情報は消えません。
● MP3/JPEG再生時にこの操作を行うと、停止したトラックの先頭から再生を始めます。

DVD・CDを再生する

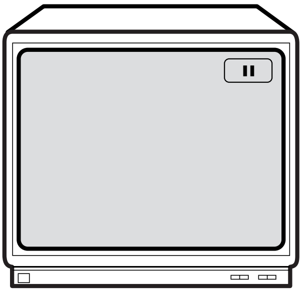
再生を一時停止する（一時停止）

DVD-V　CD　MP3　VR DVD-RW/-R　JPEG

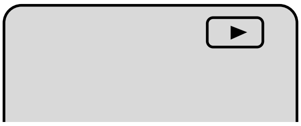


1 再生中に 一時停止（II） を押す

- DVDディスクは静止画再生となります。
- CD、MP3、JPEGは一時停止となります。



2 再生を再開するには ▷再生 を押す

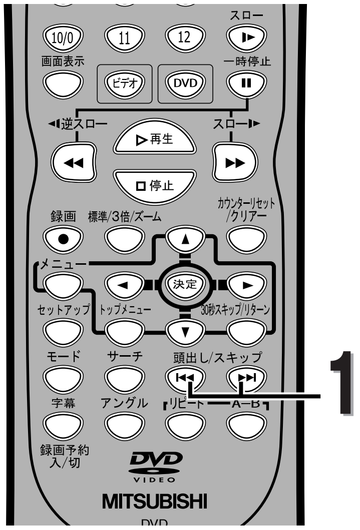


ちょっと一言！

- DVDディスクで一時停止中に映像がブレる場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 107～109ページ]
- MP3とJPEGの同時再生中に[一時停止]ボタンを押すとJPEGファイルのみ一時停止します。再度[一時停止]ボタンを押すと、MP3ファイルも一時停止します。
- MP3とJPEGの両方が一時停止中に[再生]ボタンを押すと、両ファイルとも再生されます。

チャプターやトラックを頭出しする（スキップ）

DVD-V　CD　MP3　VR DVD-RW/-R　JPEG



1 再生中に 頭出し/スキップ（▶▶I） または 頭出し/スキップ（I◀◀） を押す

- DVDディスクの場合は、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。
- 音楽用CDまたは、MP3/JPEGの場合は、トラックの頭出しができます。

頭出し/スキップ（▶▶I） ── 次のチャプターを頭出しします。

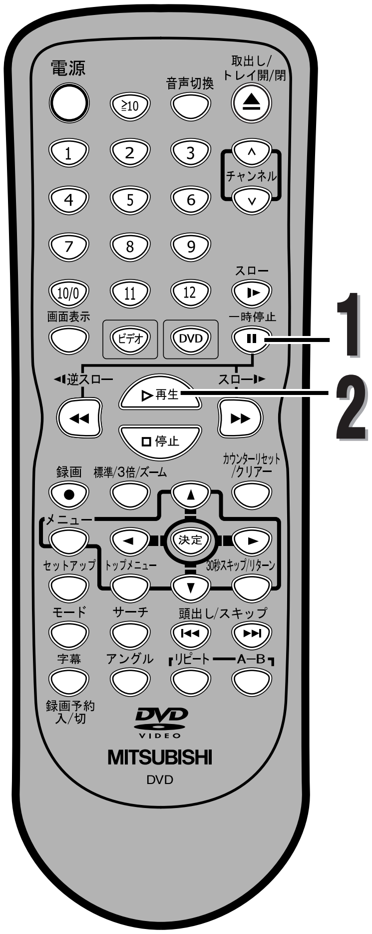
または

頭出し/スキップ（I◀◀） ── 現在のチャプターを頭出しします。（JPEGの場合は前のトラックに戻ります）さらに押すと前のチャプターに戻ります。

- 一時停止状態からスキップすると、一時停止のままで止まります。再生させるには[再生]ボタンを押してください。
- MP3とJPEGを同時再生しているときのスキップ操作は、MP3ファイルに対してのみ有効です。JPEGファイルをスキップ操作する場合は、カーソルボタン[◀/▶]を押してください。
ただし、「ディスプレイ」（映像設定）の[スライドショー]を[トラック]にしている場合は、MP3とJPEG両方に有効です。[➡ 107～109ページ]

コマ送り

DVD-V　VR DVD-RW/-R



1 再生一時停止中に（一時停止）を押す

- ボタンを押すたびに、音声は消音されたまま、1コマずつコマ送りされます。
- コマ送り再生中は字幕も表示されます。
- 逆方向のコマ送りはできません。

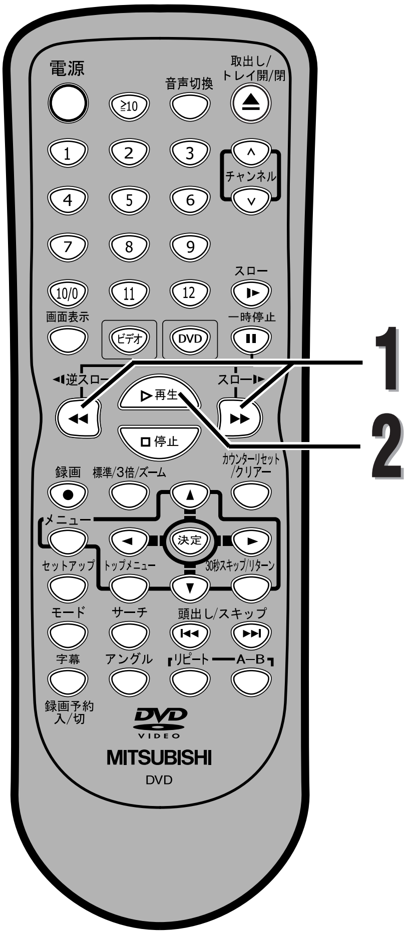
2 （▷再生）を押すと通常の再生速度に戻る

ちょっと一言!

- 本機では逆方向のコマ送り（コマ戻し）はできません。
- コマ送り再生中に映像がブレる場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 107～109ページ]

スロー再生

DVD-V　DVD-RW/-R VR

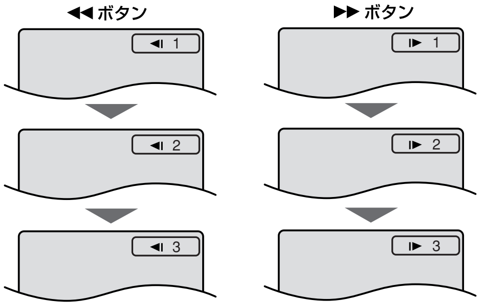


1

再生一時停止中に ▶▶ または ◀◀ を押す

（音声は消音のままです。）

- ボタンを押すたびに1（×1/16）、2（×1/8）、3（×1/2）の3段階に再生速度が変わります。



- 再生速度の倍速は通常再生を1としたときの目安です。実際の速度ではありません。

2

▷再生 を押すと通常の再生速度に戻る

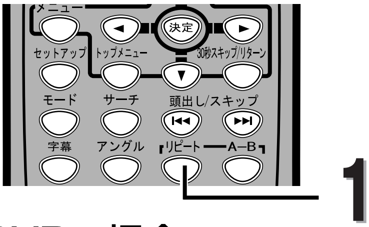
ちょっと一言！

- 音楽用CDのスロー再生はできません。
- スロー再生中に映像がブレる場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 107～109ページ]

DVD編　スロー再生

繰り返し再生（リピート再生）

DVD-V　CD　MP3　VR DVD-RW/-R　JPEG

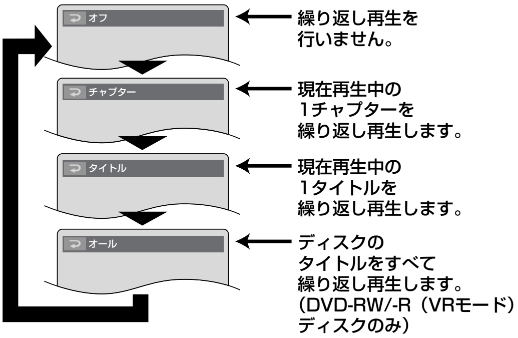


1

再生中に リピート ◯ を押す

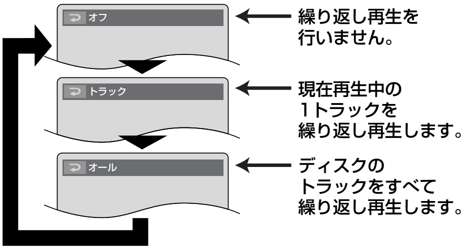
DVDの場合

- １つのタイトルまたはチャプター、ディスク全体（DVD-RW/-R（VRモード）ディスクのみ）を、繰り返し再生します。
- リピート ◯ を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。



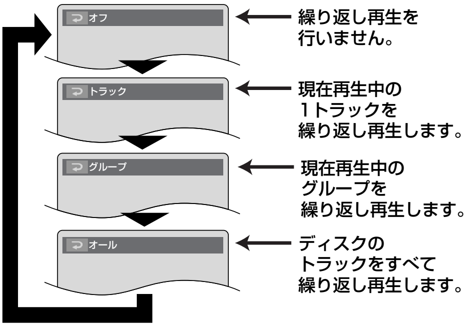
音楽用CDの場合

- ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
- リピート ◯ を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。



MP3/JPEGの場合

- グループまたは1つのトラック、ディスク全体が繰り返し再生されます。
- リピート ◯ を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。



音楽用CD、MP3、JPEGの場合、プログラム/ランダム再生中に リピート ◯ を押し、"オール"にするとプログラム/ランダム再生が繰り返し実行されます。

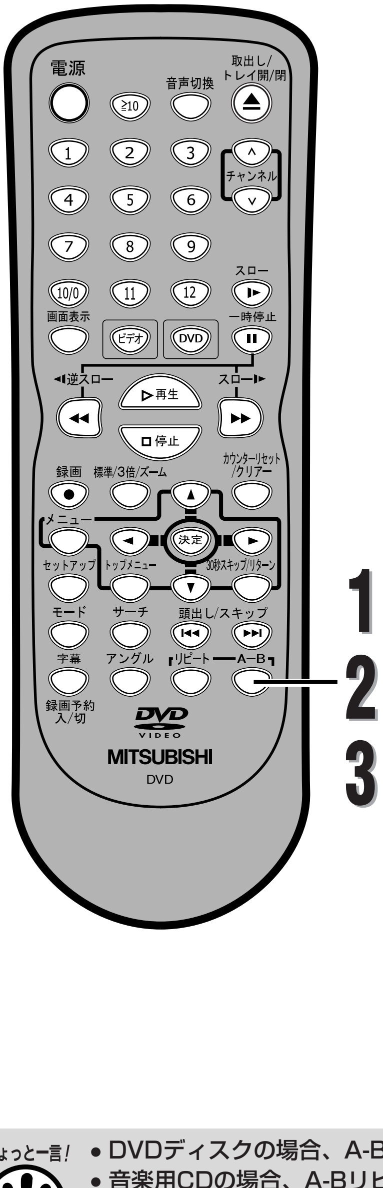
ちょっと一言！

- DVDディスクによっては、再生の繰り返しができないものがあります。
- チャプターリピート、トラックリピート再生中にスキップを行うと、リピート再生は解除されます。また、A-Bリピート再生中はほかのリピート再生はできません。
- リピート設定をしても、タイトル・チャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るディスクがあります。
- MP3とJPEGを同時再生しているときのグループリピートは、それぞれのグループが繰り返し再生されます。例えば、グループAのJPEGとグループBのMP3を再生中にグループリピートを設定すると、グループAのJPEGファイルすべてとグループBのMP3ファイルすべてを繰り返し再生します。

繰り返し再生（A-Bリピート再生）

DVD-V　CD　VR DVD-RW/-R

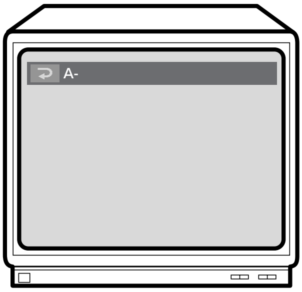
指定した2点間を繰り返し再生することができます。



1

再生中に繰り返し再生の開始点にしたい箇所で A–B を押す

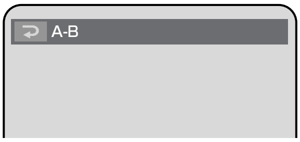
- 開始ポイント（A）が選択されます。



2

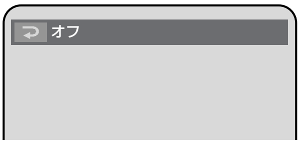
リピート再生の最終点にしたい箇所で、再度 A–B を押す

- 選択されたセクションが繰り返し再生されます。



3

A-Bリピート再生を終わらせるには、A–B を押して"オフ"を表示させる



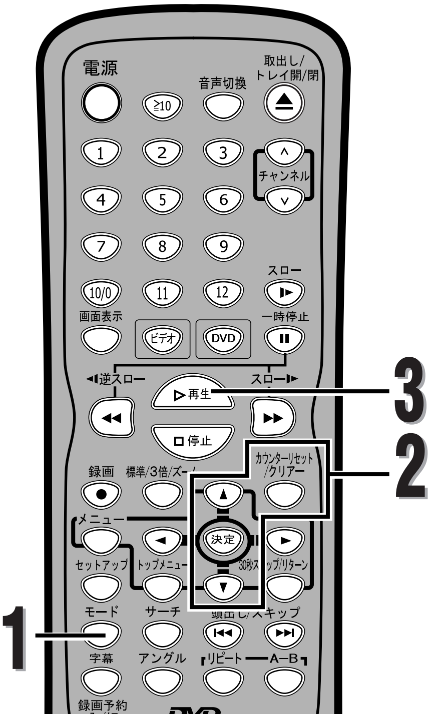
ちょっと一言！

- DVDディスクの場合、A-Bリピートは、現在のタイトル内にのみ設定することができます。
- 音楽用CDの場合、A-Bリピートは、現在のトラック内にのみ設定することができます。
- DVDディスクの場面によっては、A-Bリピート機能を利用できない場合もあります。
- Bポイントの選択前にAポイントをキャンセルしたいときは、カウンターリセット/クリアー を押すと、"オフ" と表示されます。
- A-Bリピート再生中にスキップを行うと、A-Bリピート再生は解除されます。また、ほかのリピート再生中はA-Bリピート再生はできません。
- MP3のA-Bリピートはできません。
- Aポイントのみ設定したままタイトル／トラックの終端まで再生された場合は、自動的に終端にBポイントが設定されます。

音楽用CDをプログラム再生する

準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。



1 ディスクを挿入し、停止中に [モード] を押す

- プログラム設定画面が表示されます。
- 表示はディスクにより異なります。

2 [▲]/[▼] を押して希望するトラック番号を選択し、[決定] を押す

- プログラムされたトラックは右画面に表示されます。
- 引き続き別のトラックをプログラムするときは、手順2を繰り返します。
- 選択したトラックの合計時間が画面上側に表示されます。
- 最後に入力したプログラムを取り消すには、[カウンターリセット/クリアー] を押します。

3 [再生] を押す

- プログラムされている順序で再生が開始します。

プログラム再生中、[停止]ボタンは次のように作動します。

- [停止]ボタンを1回押した場合、停止してリジューム機能が働きます。
  再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。
- [停止]ボタンを2回押した場合、プログラム再生はオフとなります。プログラム設定は保持されます。
  再生再開時：トラック1から通常再生を始めます。

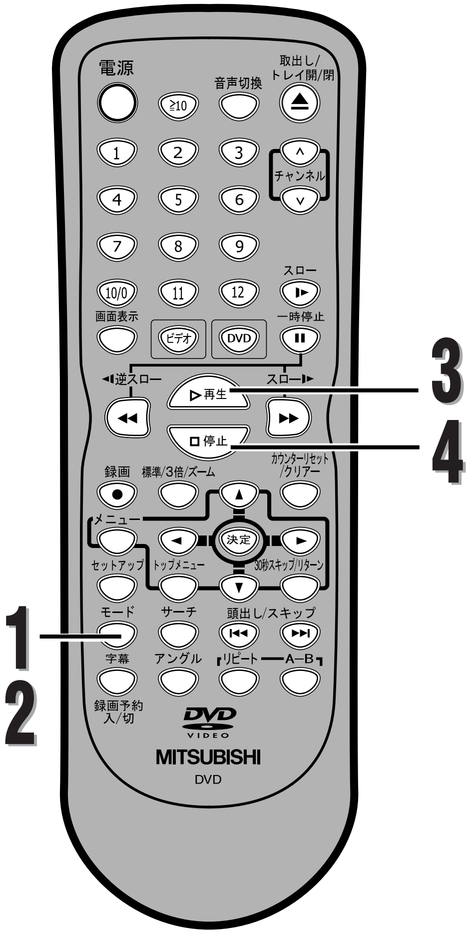
ちょっと一言！

- プログラム設定画面右側のリストが複数ページとなるとき、リスト画面のページ送りはリモコンの [頭出し/スキップ ▶▶|] 、ページ戻しは [頭出し/スキップ |◀◀] を押します。
- お好みの順番で最大99トラックまで再生ができます。
- プログラム再生中はプログラムの追加はできません。このような操作を行う前に現在の再生を停止してください。
- プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
- すべてのプログラムを消すには、手順2でリストの一番下の[オールクリア]を選択してください。
- 電源を切ったりディスクトレイを開けるとプログラム設定は解除されます。
- プログラム再生中に次の再生をするときは [頭出し/スキップ ▶▶|] を押してください。

音楽用CDをランダム再生する

準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。



1 ディスクを挿入し、停止中に[モード]を押す

- プログラム設定画面が表示されます。
- 表示はディスクにより異なります。

2 [モード]をもう一度押す

- ランダム設定画面が表示されます。

3 [▷再生]を押す

- ランダム再生が始まります。

4 ランダム再生をやめるには[□停止]を押す

- [停止]ボタンを1回押した場合は、ランダム再生が解除され、リジューム機能が働きます。
- [停止]ボタンを2回押した場合は、リジューム機能は働きません。

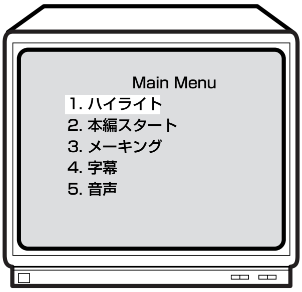
ちょっと一言！

- ランダム再生中は、希望のトラックからの再生およびプログラム再生はできません。
- ランダム再生中は、前のトラックへ戻ることはできません。
- ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。

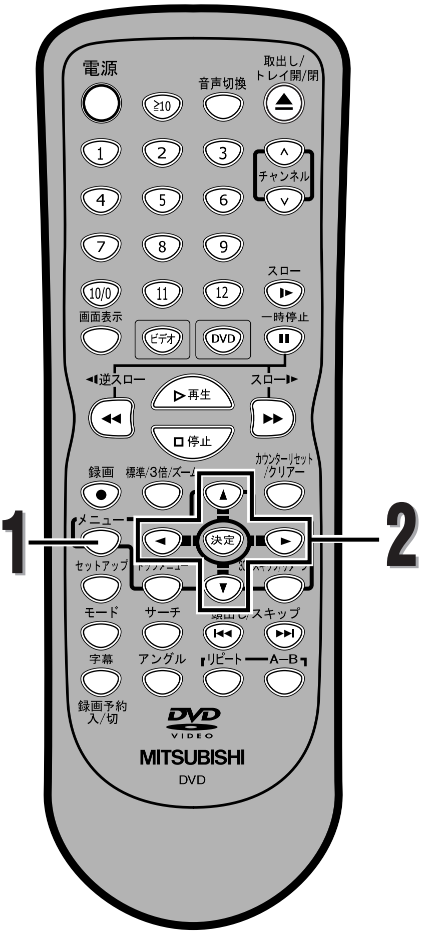
ディスクメニューを使う

ディスクの内容を表示し、ディスクメニューから再生することができます。

（例）



● 表示される内容はDVDディスクによって異なります。ここでは一般的な操作の例を示しています。



準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 ディスクを挿入し、メニュー を押す

- ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

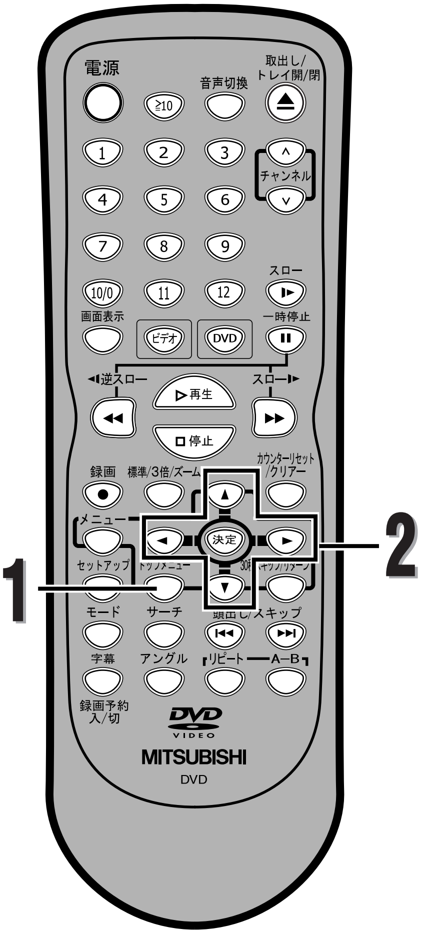
- カーソルボタン[▲ / ▼ / ◄ / ►]を押して選びます。
  次に 決定 を押します。
- ディスクによっては、数字ボタンや[再生]ボタンが有効な場合があります。

3 選択したタイトルから再生が始まる

タイトルメニューを使う

DVD-V

タイトルメニューが入っているDVDディスクの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。



準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 ディスクを挿入し、[トップメニュー]を押す

- タイトルメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

- カーソルボタン[▲/▼/◄/►]を押して選びます。

  次に[決定]を押します。

- ディスクによっては、数字ボタンや[再生]ボタンが有効な場合があります。

3 選択したタイトルから再生が始まる

再生中にメニュー画面を呼び出す

- [メニュー]を押してディスクメニューを呼び出します。
- [トップメニュー]を押してタイトルメニューを呼び出します。
  （ディスクによっては呼び出せないものがあります。）

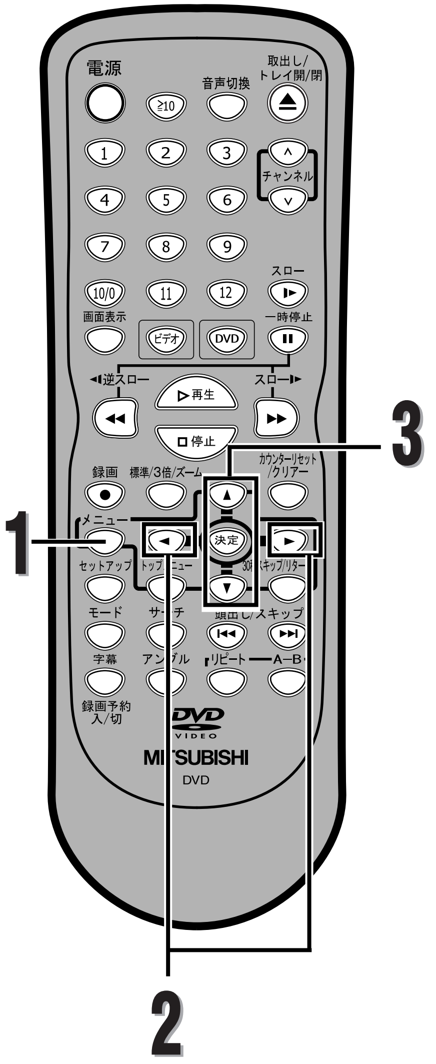
ちょっと一言！

- タイトルメニューの内容や役割は、ディスクによって異なります。
- 詳細はディスク付属の説明書を参照してください。

VRモードで記録されたDVD-RW/-Rディスクを再生する

VR DVD-RW/-R

VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RW/-Rディスクにプレイリストを設定しているときは、"オリジナル"、または"プレイリスト"を選択して再生することができます。



準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 停止中に メニュー を押す

- 現在設定されているメニューが表示されます。

2 ◄ / ► を押してオリジナル、またはプレイリストを選択する

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面にプレイリストは表示されません。
- 設定の状態を切り換えると、つづき情報(リジューム)は解除されます。
- 表示はディスクにより異なります。

3 ▲ / ▼ を押して希望するタイトルを選択し、 決定 を押す

- ディスクによっては数字ボタンや[再生]ボタンが有効な場合があります
- 選択したタイトルの再生が始まります。

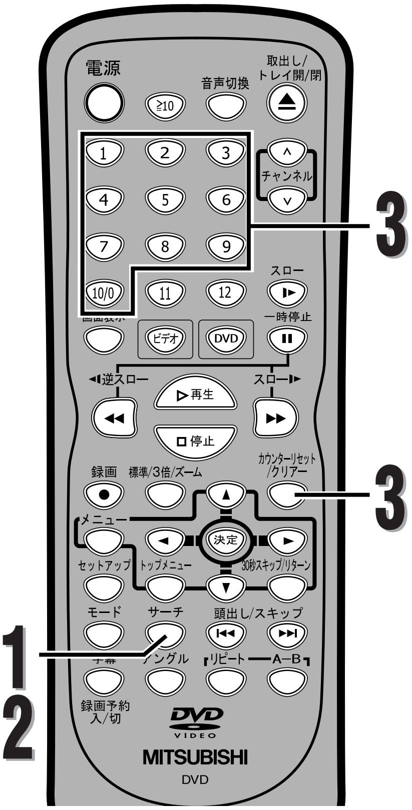
ちょっと一言！

- DVDレコーダーで録画して作られたタイトルをオリジナルと呼びます。
- "オリジナル"をもとに編集用に作成したタイトルをプレイリストと呼びます。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- ディスク名／タイトル名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他認識されない文字はアスタリスクで表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては表示できない（アスタリスクが表示される）場合があります。
- VRモードで記録されたDVD-RW/-Rでは、編集（タイトル消去・記録の繰り返し）やプレイリスト作成により、再生中に映像や音声が一瞬止まることがあります。

希望するところから再生する（サーチ）

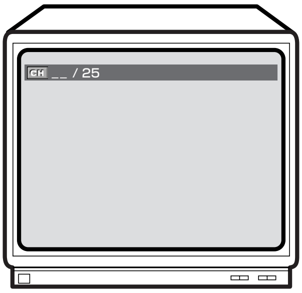
希望するチャプターまたはタイトルからの再生（チャプター／タイトルサーチ）

DVD-V　VR DVD-RW/-R



1 再生中に [サーチ] を1回押す

● チャプターサーチ画面が表示されます



2 タイトルサーチをする場合は、もう一度 [サーチ] を押す

● タイトルサーチ画面が表示されます

3 数字ボタンを押して、希望するチャプターまたはタイトル番号を入力する

● ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるときに1桁のチャプターやタイトルを選ぶときは、[10/0] を押してから希望の数字を押してください。

例）チャプター、トラック1：
[10/0] → [1] （2桁の場合）
または [10/0] → [10/0] → [1] （3桁の場合）

● 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、その数字を押してください。

● 入力を間違った場合は、[カウンターリセット/クリアー] を押したあと入力し直してください。

● 入力が確定すると、自動的にサーチし再生します。

[頭出し／スキップ(|◀◀、▶▶|)]ボタンの使い方

再生中または一時停止中に[▶▶|]ボタンを押すと、次のチャプターに飛び、再生または再生一時停止されます。[|◀◀]ボタンを一回押すと、そのときに再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内に[|◀◀]ボタンをもう一回押すと一つ前のチャプターに戻ります。

ちょっと一言！

- DVDディスクによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
- 再生中に、数字ボタンで直接チャプターサーチすることもできます。

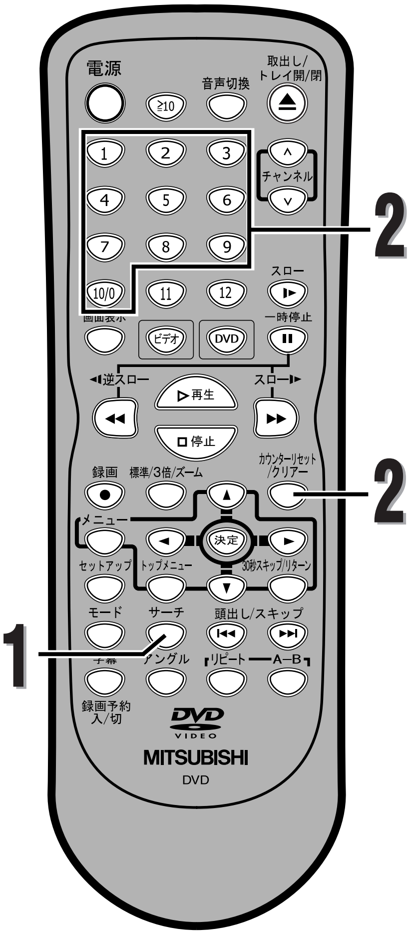
  1桁の番号をサーチする場合の例）
  チャプター1：[1]
  2桁以上の番号をサーチする場合の例）
  チャプター10：[≧10] → [1] → [10/0]
- 停止中に、数字ボタンで直接タイトルサーチすることもできます。

  1桁の番号をサーチする場合の例）
  タイトル1：[1]
  2桁以上の番号をサーチする場合の例）
  タイトル10：[≧10] → [1] → [10/0]

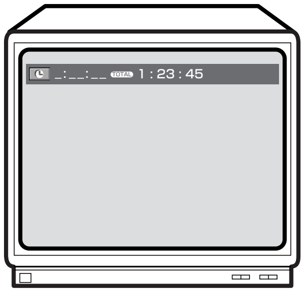
希望するところから再生する（サーチ）

希望するタイムカウントからの再生（タイムサーチ）

DVD-V　CD　VR DVD-RW/-R



1 再生中に（サーチ）を繰り返し押してタイムサーチ画面を表示する



2 数字ボタンを押すと希望するタイムカウント(時間)から再生される

- 例：1時間23分30秒の場合

  1 → 2 → 3 → 3 → 10/0

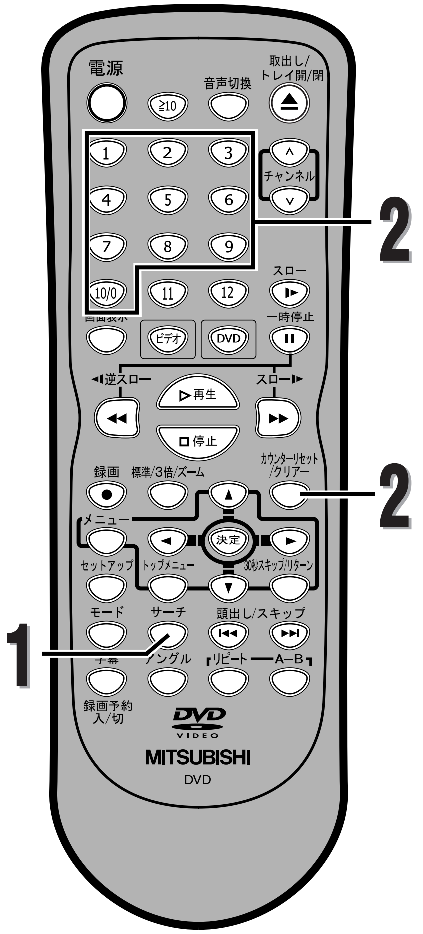
- 入力を間違った場合は、（カウンターリセット/クリアー）を押したあと入力し直してください。
- 入力が確定すると、自動的にサーチし再生します。

ちょっと一言!
- DVDディスクの場合、チャプターのタイムサーチはできません。
- 音楽用CDの場合、CD全体のタイムサーチはできません。
- ディスクによっては、タイムカウント(時間)からの再生ができないものがあります。
- ディスクの収録時間を超えた数値を入れたとき、タイムサーチは働きません。
- MP3のタイムサーチはできません。
- タイトルやトラックの総時間に応じて、入力する必要のない箇所にはあらかじめ0が表示されます。
  例えばタイトルの総時間が10分未満ならば、0：0_：_ _と表示されます。

希望するところから再生する（サーチ）

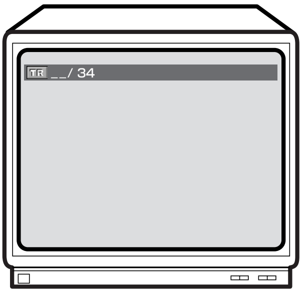
希望するトラックからの再生（トラックサーチ）

CD　MP3　JPEG



1

再生中または停止中に（サーチ）を１回押してトラックサーチ画面を表示する



2

数字ボタンを押すと希望するトラック番号から再生される

- ディスクに2桁以上のトラックがあるときに1桁のトラックを選ぶときは、(10/0)を押してから希望の数字を押してください。

  例）トラック1：
  (10/0)→(1)　（2桁の場合）
  または(10/0)→(10/0)→(1)　（3桁の場合）

- 1桁のトラックしかない場合は、その数字を押してください。

  例）トラック：1→(1)

- 入力を間違った場合は、（カウンターリセット/クリアー）を押したあと入力し直してください。
- 入力が確定すると、自動的にサーチし再生します。

[頭出し／スキップ(I◀◀、▶▶I)]ボタンの使い方

再生中または再生が一時停止中に[▶▶I]ボタンを押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばして次のトラックが再生されます。[I◀◀]ボタンを一回押すと、そのときに再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内に[I◀◀]ボタンをもう一回押すと一つ前のトラックに戻ります。

ちょっと一言！

- 再生中または停止中に、数字ボタンで直接トラックサーチすることもできます。

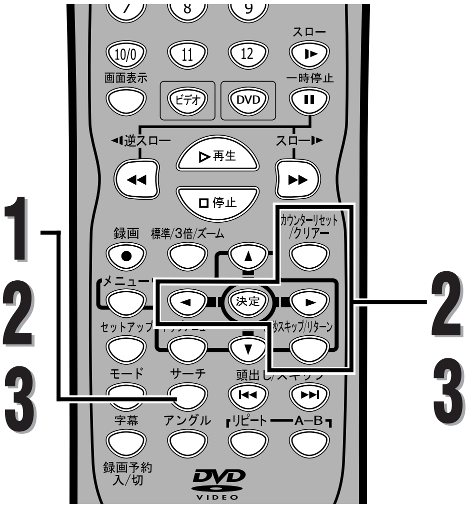
  1桁の番号をサーチする場合の例）
  トラック1：(1)
  2桁以上の番号をサーチする場合の例）
  トラック10：(≧10)→(1)→(10/0)

希望するところから再生する（サーチ）

マーカーをしたところからの再生（マーカーサーチ）

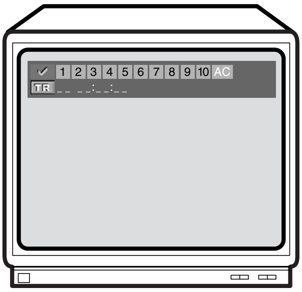
DVD-V　CD　VR DVD-RW/-R

マーカー機能を使って、指定した箇所をすばやく頭出しすることができます。マーカーは10個まで設定することができます。



マーカーを設定するには

1 再生中に（サーチ）を繰り返し押してマーカーサーチ画面を表示する



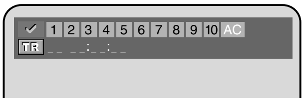
2 ◀／▶を押して設定されていないマーカー（_ _ _ _:_ _:_ _）を選ぶ

3 マーカーをつけたい箇所で（決定）を押す

- マーカーをつけた箇所の時間が表示されます。
- （サーチ）または（30秒スキップ/リターン）を押すと再生中の画面に戻ります。

マーカーを設定したところから再生するには

1 再生中または停止中に（サーチ）を繰り返し押してマーカーサーチ画面を表示する

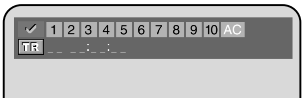


2 ◀／▶を押して頭出ししたいマーカーを選び（決定）を押す

- 選択された箇所から再生が始まります。
- （サーチ）または（30秒スキップ/リターン）を押すと再生中の画面に戻ります。

マーカー設定を削除するには

1 再生中または停止中に（サーチ）を繰り返し押してマーカーサーチ画面を表示する



2 ◀／▶を押して削除したいマーカーを選び（カウンターリセット/クリアー）を押す

- すべてのマーカー設定を削除する場合は、▶で[AC]を選び、（決定）を押します。
- （サーチ）または（30秒スキップ/リターン）を押すと再生中の画面に戻ります。

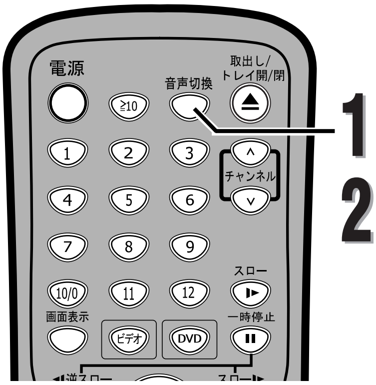
ちょっと一言！

- 設定したマーカーは、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと削除されます。

音声（言語）をかえる

DVD-V　CD　VR DVD-RW/-R

本機には、希望する音声(言語)およびサウンドモードが選択できる機能が備えられています。



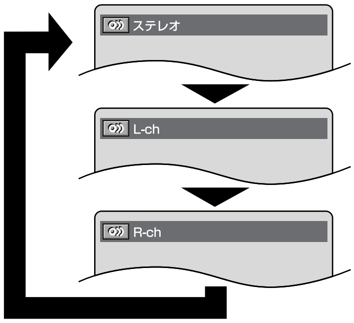
1
再生中に 音声切換 を押す

2
音声切換 を繰り返し押して希望する音声(言語)を選択する

- DVDディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- 音楽用CDはステレオ／左チャンネル（L-ch）／右チャンネル（R-ch）に切り換えることができます。
- 二重音声（二ヵ国語）で録画されているDVD-RW/-R(VRモード)では、主音声、副音声、主音声+副音声を切り換えることができます。

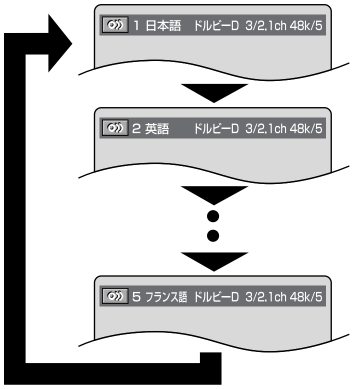
音楽用CDの場合

（例）



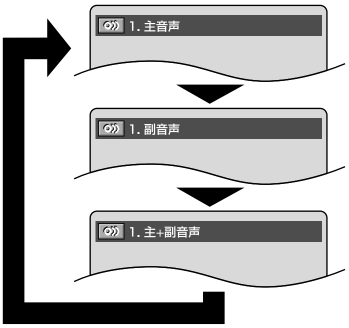
DVDディスクの場合

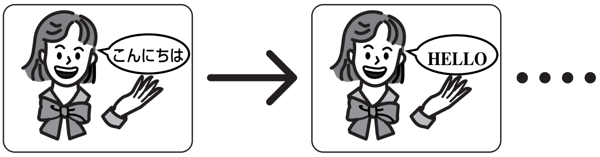
（例）



DVD-RW/-R(VRモード)の場合

（例）＊二重音声のみ





ちょっと一言！

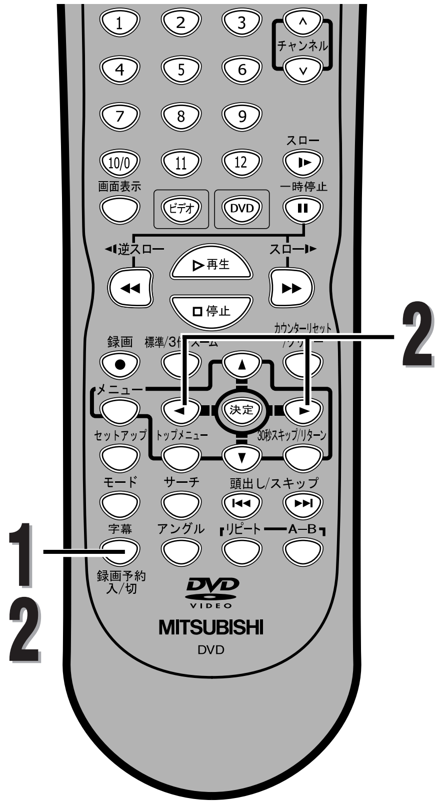
- DVDディスクによっては、複数の言語が入っていても[音声切換]ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で音声を切り換えください。
- [音声切換]ボタンを数回押しても希望する言語が表示されないとき、言語がDVDディスクに含まれていません。
- 電源を切ると、「言語設定」画面で選択されている音声言語に戻ります。選択された言語が含まれていないときは、DVDディスクに入っている言語が選ばれます。[➡ 103ページ]
- 音声言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- 音声言語の表示には"日本語"や"英語"のほかに、アルファベット3文字や"－－－"と表示される場合があります。
- DTS・CDはサウンドモードを切り換えることができません。
- DVD-RW/-R(VRモード)で二重音声が記録されていない場合は、主音声、副音声、主+副音声の切り換えはできません。
- デジタル接続のみで音声出力しているときは、VRモードのディスク再生時に音声を切り換えることはできません。
- スピーチコントロール［ ➡ 95ページ］起動中は、音声（言語）の切り換えができません。
- MP3音声の設定は変更ができません。

再生中に切りかえる

字幕（言語）をかえる

DVD-V

本機には、希望する字幕(言語)を選択できる機能が備えられています。

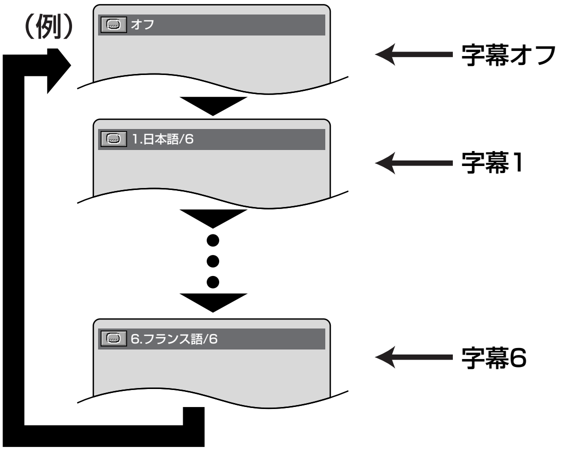


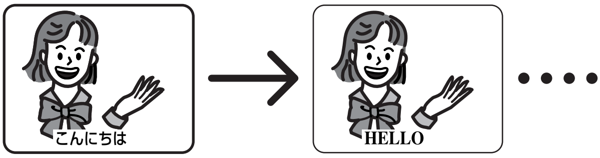
1 再生中に［字幕 録画予約 入/切］を押す

2 さらに［字幕 録画予約 入/切］を押して希望する言語の字幕を選択する

- 再生中のDVDディスクに複数の言語が含まれている場合、字幕（言語）を切り換えることができます。
- 字幕（言語）は、使用中のDVDディスクに1つの言語しか含まれていない場合、切り換えることができません。

（例）





字幕（言語）オン/オフの切り換えは次のように行うことができます。

1. ［字幕 録画予約 入/切］を押す。
2. ［◀］/［▶］を押す。

- ［字幕 録画予約 入/切］を押すと字幕（言語）が、字幕１、字幕２…と切り換わります。

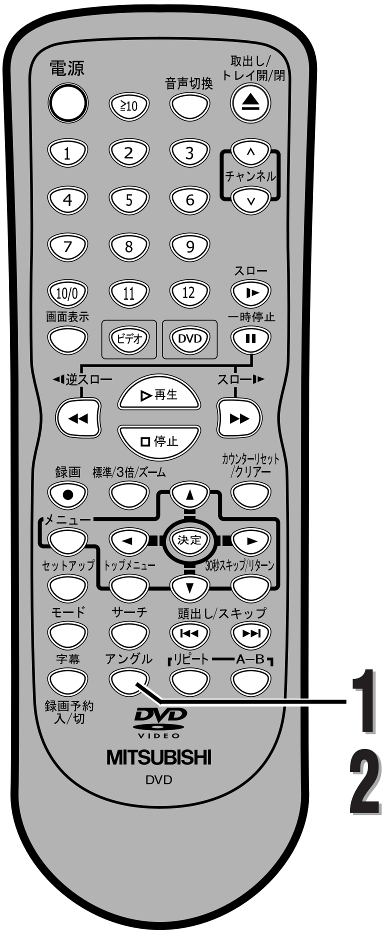
ちょっと一言！

- ［字幕 録画予約 入/切］を繰り返し押しても希望する言語が表示されないときは、その言語の字幕がDVDディスクに含まれていません。
- 電源を切ると、「言語設定」画面で選択されている字幕言語に戻ります。選択された言語が含まれていないときは、DVDディスクに入っている言語が選ばれます。[➡ 103ページ]
- 変更した字幕(言語)が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- 字幕言語表示画面は約5秒後に消えます。
- 字幕“なし”が画面上に表示されたときは、字幕はそのシーンに入っていません。
- 字幕言語には、"日本語"や"英語"のほかに、アルファベット3文字や"－－－"と表示される場合があります。
- DVDディスクによっては、複数の言語が入っていても[字幕]ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で字幕を切り換えてください。

アングル（カメラアングル）をかえる

DVD-V

本機には、希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。



1

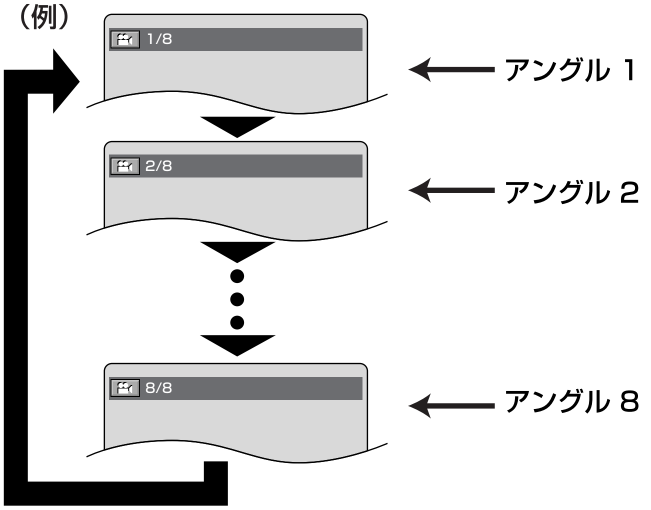
再生中に アングル を押す

- [アングルアイコン]の設定を[オン]にしている場合、各種カメラアングルの画像が記録されたDVDディスクでは、画面右上にアングルアイコン（ ）が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。
- 画面に禁止アイコン（⊘）があらわれた場合、カメラアングルを変更することができません。

2

アングル番号が画面上に表示されている間に アングル を押す

（例）



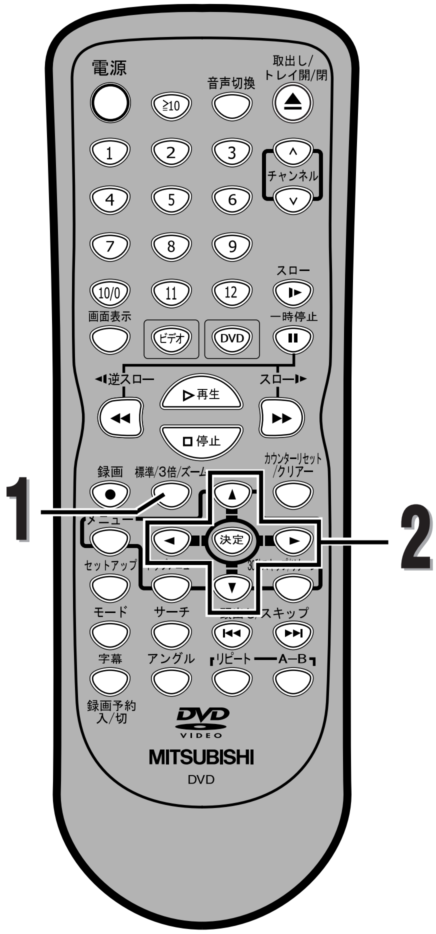
ちょっと一言！

- アングル表示画面は約5秒後に消えます。
- [アングルアイコン]の設定を[オフ]にしている場合はアングルアイコンはあらわれません。
[➡ 107〜109ページ]
- ディスクによっては、アングルアイコンが表示されていてもアングルの切り換えができない場合があります。

ズーム再生（画面上で拡大）

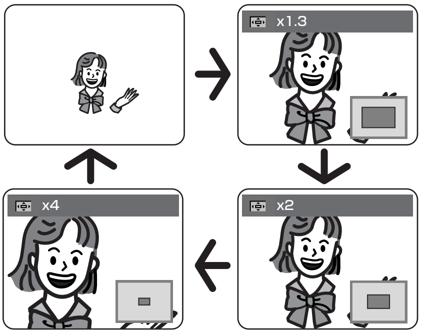
DVD-V　VR DVD-RW/-R　JPEG

お好みにより画面上で、1.3倍、2倍または4倍の大きさに拡大できます。



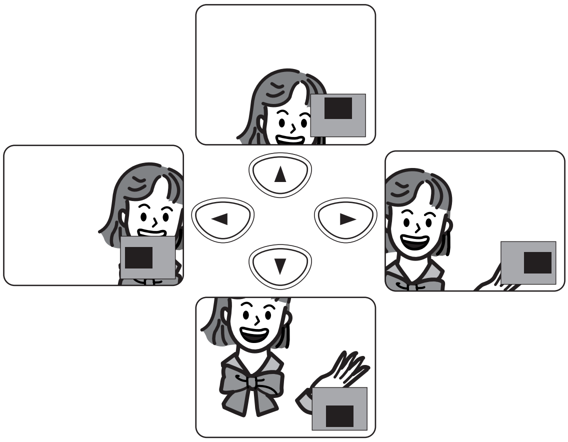
1 再生中に 標準/3倍/ズーム を押す

- 画面中央で画像が拡大されます。
- 標準/3倍/ズーム を繰り返し押すと、3段階の切り換えができます。



2 ズーム再生中に ▲/▼/◀/▶ を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から上下左右に移動させることができます。
- 現在拡大されている箇所は画面下のカーソル（■）部分です。
- 画面右下の表示が必要な場合は 決定 を押してください。もう一度 決定 を押すと、表示を消すことができます。JPEGは画面右下のガイドが表示されません。



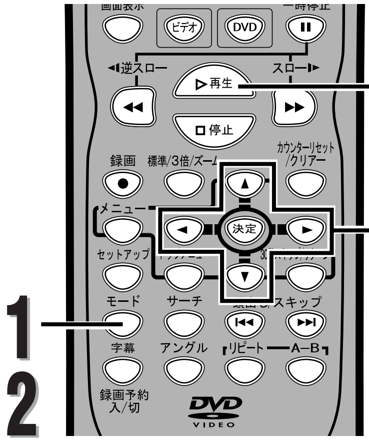
ちょっと一言！

- 4:3レターボックス表示にしている場合は、表示される画像が倍率よりも多少大きくなります。
- ディスクによっては4倍ズームできないものもあります。
- JPEGは2倍ズームのみ拡大できます。
- JPEGの2倍ズーム中は、一時停止になります。続きから再生する場合は、ズームを解除してください。
- JPEGはズームフレームが表示されません。

再生中に切りかえる

画質・音声調整設定

DVD-V　CD　MP3　VR DVD-RW/-R　JPEG



2 項目を選択する

● (モード) を押すたびに下記の順で設定画面が表示されます。

DVDディスクの場合

ディスク再生画面 → スピーチコントロール画面 → 画質調整画面 → 画質ユーザー設定画面※ → 黒レベル設定画面 → バーチャルサラウンド設定 → ディスク再生画面

※「画質調整」を[ユーザー]に設定しているときにのみ表示されます。

音楽用CD、MP3の場合

ディスク再生画面 ←→ バーチャルサラウンド設定画面

JPEGの場合

ディスク再生画面 → スライドショーモード画面 → 画像サイズ設定画面 → ディスク再生画面

デュアル再生（MP3/JPEG）

(デュアル再生が[オン]の場合のみ有効[➡110～111ページ]

ディスク再生画面 → バーチャルサラウンド設定画面 → スライドショーモード画面 → 画像サイズ設定画面 → ディスク再生画面

1 再生中に (モード) を押す

●「画質調整」画面が表示されます。

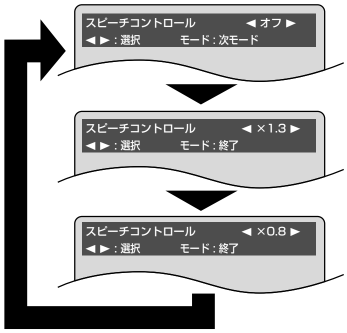
●音楽用CDやMP3の場合は「バーチャルサラウンド」設定画面が表示されます。[➡ 97ページ]

ちょっと一言！

- 「画質調整」・「画質ユーザー設定」は、電源を切ると「ディスプレイ」（映像設定）画面で選択されている設定に戻ります。
- 「黒レベル設定」・「バーチャルサラウンド設定」は、電源を切っても設定はそのまま残ります。
- スライドショーモード画面は[➡ 71ページ]を参照ください。
- 画像サイズ設定画面は、[➡ 72ページ]を参照ください。

再生速度を微調整する(スピーチコントロール)

※ドルビーデジタル方式で記録されたディスクのみ有効な機能です。



1. (◀) / (▶) を押すと×1.3/×0.8/オフが切り換わります。

×0.8：　約0.8倍速で再生を行います。
×1.3：　約1.3倍速で再生を行います。
オフ：　通常再生を行います。

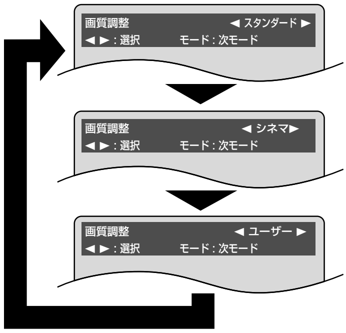
2. (▷再生) を押すと通常再生に戻ります。

ちょっと一言！

- スピーチコントロール中は音声（言語）切り換えはできません。
- スピーチコントロール中は画質調整、黒レベル設定、バーチャルサラウンド設定はできません。
- スピーチコントロール中はバーチャルサラウンド機能は働きません。
- ディスクによってはスピードコントロールが働かない箇所があります。
- デジタル端子（同軸音声出力端子）に接続している場合PCM音声が出力されます。

次ページに続きます。

画質調整(初期設定：スタンダード)

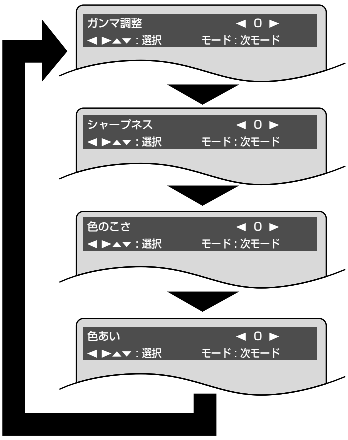


◄ / ► を押すと設定が切り換わります。

表示する映像を見やすく設定します。
スタンダード：　映像の補正を行わずに再生します。
シネマ：　暗部の階調を補正して、映画などの暗いシーンなどを見やすく再生します。
ユーザー：　ガンマ調整、シャープネス、色のこさ、色あいを設定することができます。

画質調整は、スピーチコントロール起動中に設定の変更ができません。

画質ユーザー設定(初期設定：すべて0)



「画質調整」画面の[ユーザー]を選択して モード を押すと「画質ユーザー設定」画面が表示されます。

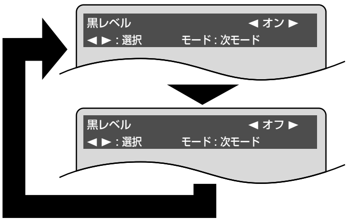
1. ◄ / ► を押すと数値が変更されます。
2. ▲ / ▼ を押すと項目が切り換わります。
3. モード を押し、変更内容を保存します。

4. ◄ / ► を押し、保存するときは[はい]を、保存しないときは[いいえ]を選択し 決定 を押します。

   [はい]を選択した場合は、「ディスプレイ」（映像設定）画面の[画質ユーザー設定]の値も変更されます。
   [いいえ]を選択した場合は、電源を切ると「ディスプレイ」（映像設定）画面の[画質ユーザー設定]の値に戻ります。

ガンマ調整（−1、0、+1、+2）
映像の中間明度を調整します。+側にすると中間明度を強調し暗くて見えにくい場面を見やすくします。
シャープネス（−2、−1、0、+1、+2）
映像の鮮鋭度（解像感）を調整します。+側にするとクッキリし、−側にするとソフトになります。
色のこさ（−2、−1、0、+1、+2）
映像の色の濃さを調整します。+側にすると色が濃くなります。
色あい（−2、−1、0、+1、+2）
映像の色合いを調整します。+側にすると緑がかり、−側にすると赤みがかります。

黒レベル設定(初期設定：オフ)

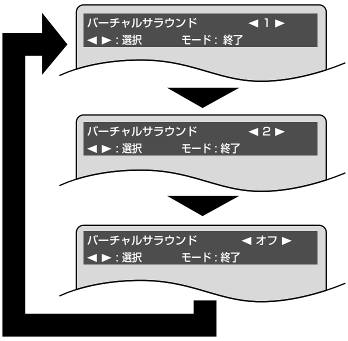


◄ / ► を押すと設定が切り換わります。

暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくする機能です。
オン： 暗部の補正を行います。
オフ： 補正を行わずに表示します。

黒レベル設定は、スピーチコントロール起動中に設定の変更ができません。

バーチャルサラウンド設定(初期設定：オフ)

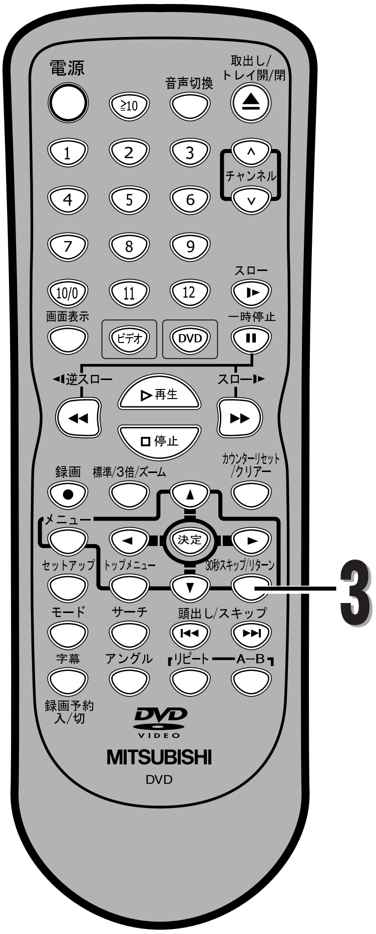


◄ / ► を押すと設定が切り換わります。
バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。
1： サラウンド（標準）
2： サラウンド（強）
オフ： オリジナルの音声を再生します。

バーチャルサラウンド設定は、スピーチコントロール起動中に設定の変更ができません。

ちょっと一言！

- 音楽用CDでサウンドモードを[ステレオ]以外に設定している場合は、バーチャルサラウンドを切り換えることができません。[➡ 91ページ]
- 96kHzの音源に対してバーチャルサラウンド設定を有効にすると、48kHzにダウンサンプリング出力されます。



3

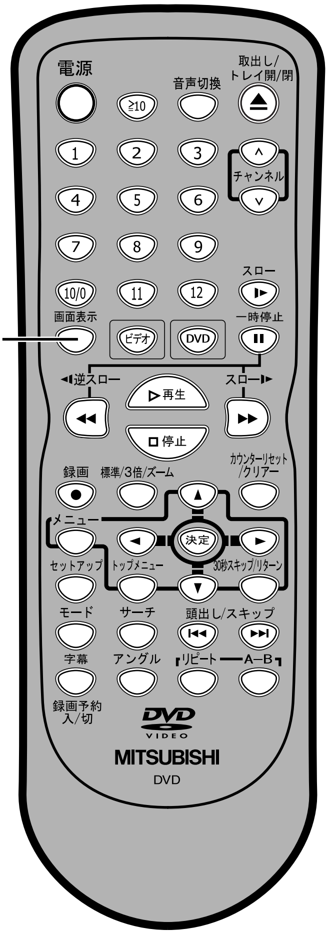
30秒スキップ/リターン を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

画面表示の切り換え

DVD-V　CD　MP3　VR DVD-RW/-R　JPEG

リモコンの[画面表示]ボタンを押してディスクについての情報を確認することができます。

1


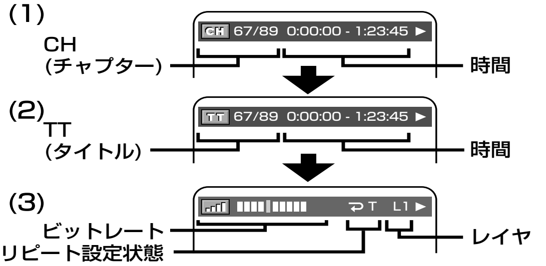
再生情報の表示

1

再生中に［画面表示］を押す

- 画面上に情報が表示されます。
- ［画面表示］を繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDディスクの場合

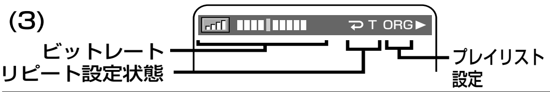


	項目	表示内容
(1)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	TT	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDディスクに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは､表示されません)｡ C：チャプター　T：タイトル A⇄B：A-Bリピート
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生しているとき、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。

[30秒スキップ/リターン]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

DVD-RW/-R(VRモード)の場合

(1)と(2)はDVDディスクの場合と同じです。

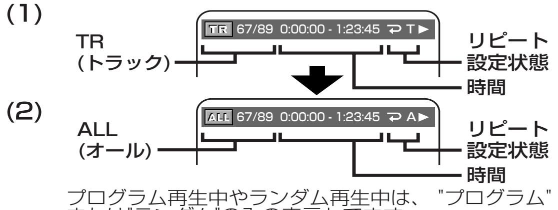


	項目	表示内容
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDディスクに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 C：チャプター　T：タイトル　A：オール A⇄B：A-Bリピート
	プレイリスト	ORG：[オリジナル]を再生しています。 PL：[プレイリスト]を再生しています。

[30秒スキップ/リターン]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

再生中に切りかえる

音楽用CDの場合

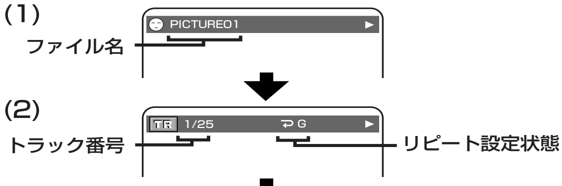


プログラム再生中やランダム再生中は、"プログラム"または"ランダム"のみの表示もでます。

	項目	表示内容
(1)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック　A：オール　A⇄B：A-Bリピート
(2)	ALL	現トラック番号/総トラック数
	時間	ディスク経過時間/ディスク残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック　A：オール　A⇄B：A-Bリピート

[30秒スキップ/リターン]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

JPEGの場合



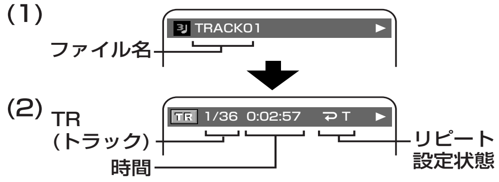
(3) プログラム／ランダム再生中のみ

（デュアル再生が[オン]の場合は選択できません）

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック（ファイル）の名称
(2)	TR	現トラック番号/総トラック数
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ） A：オール

[30秒スキップ/リターン]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

MP3の場合



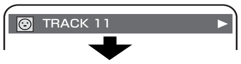
プログラム再生中やランダム再生中は、"プログラム"または"ランダム"のみの表示もでます。

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラックの名称
(2)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック　G：グループ　A：オール

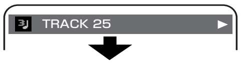
[30秒スキップ/リターン]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

デュアル再生オン設定時のMP3、JPEGの場合

(1) JPEGファイル名



(2) MP3ファイル名



(3) MP3のトラック番号／時間

(4) フォルダ再生のみ

	項目	表示内容
(1)	ファイル名（JPEG）	現在再生しているJPEGトラックの名称
(2)	ファイル名（MP3）	現在再生しているMP3トラックの名称
(3)	TR	現MP3トラック番号/総トラック数
	時間	MP3トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック G：グループ A：オール

[30秒スキップ/リターン]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

DVD・CDの設定をかえる(セットアップ)

設定一覧

便利にお使いいただくために設定しておける内容と、お買い上げ時の設定を一覧表にしています。

- ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご覧ください。

メニュー項目	設定項目(はお買い上げ時)		設定内容
1. 言語設定 ➡103〜105ページ	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
	画面表示言語 簡単設定	日本語 ENGLISH	設定画面の言語やテレビ画面に表示される言語の設定
2. ディスプレイ (映像設定) ➡107〜109ページ	TV画面モード 簡単設定	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9ワイド 16:9ノーマル	接続するテレビのタイプに合わせて設定
	画質調整	スタンダード シネマ ⋮	映像の色合い等を調整
	スチルモード	オート フィールド フレーム	一時停止中の画質を設定
	D1/D2出力 簡単設定	インターレース プログレッシブ	プログレッシブスキャンの設定
	スライドショー	5sec 10sec トラック	JPEGの表示時間を設定 (デュアル再生を[オン]にしないと[トラック]の表示は出ません)
	アングルアイコン	オン オフ	アングルアイコン( )の画面表示有無の設定
	画面表示	オン オフ	テレビ画面に表示される"▶"等の表示の有無を設定
3. オーディオ (音声設定) ➡110〜111ページ	DRC	オン オフ	音量範囲をコントロールするか設定
	ドルビーデジタル 簡単設定	ビットストリーム PCM	デジタル音声出力端子からでる音声信号の種類を設定
	DTS 簡単設定	ビットストリーム オフ	
	ダウンサンプリング	オン オフ	デジタル端子接続時、96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換するか設定
	デュアル再生	オフ オン	MP3とJPEGの同時再生オン/オフを設定
4. 視聴制限 ➡112〜113ページ	視聴レベル	オール 8〜1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更

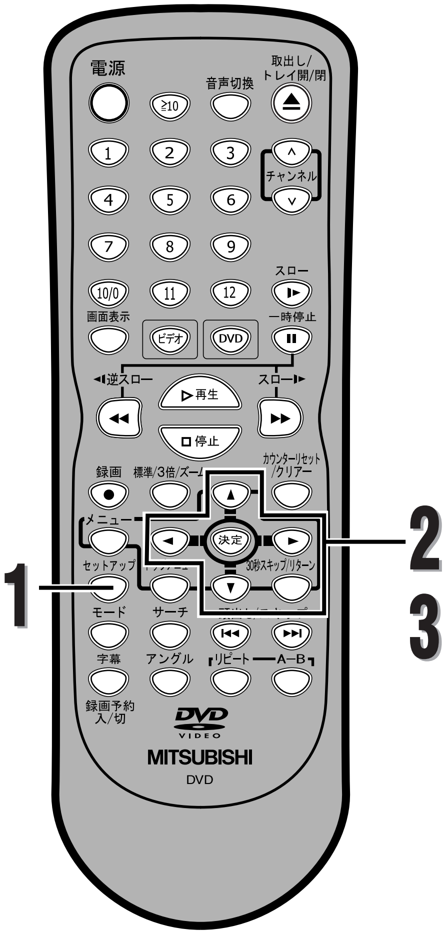
- 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
- 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
- メニュー画面つきDVDディスクを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
- 簡単設定 マークのある項目は、「簡単設定」画面と「詳細設定」画面のどちらでも設定できます。その他の項目は、「詳細設定」画面でのみ設定できます。

簡単設定

再生中の場合、 □停止 を押します。

準備

● リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。



1

セットアップ を押す

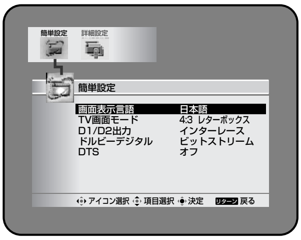
● 「簡単設定」画面が表示されます。

2

◀ / ▶ を押して“簡単設定”を選択し、決定 を押す

● 「簡単設定」画面が表示されます。

● 手順2〜3で1つ前の階層のメニューに戻る場合は、 30秒スキップ/リターン を押します。

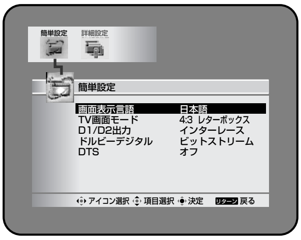


3

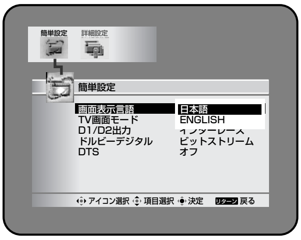
▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

画面表示言語（初期設定：日本語） 簡単設定

本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。



決定 を押す



▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

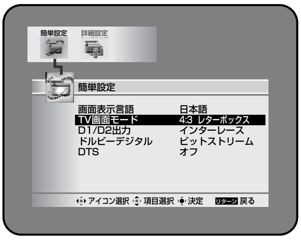
DVD編 簡単設定

次ページに続きます。

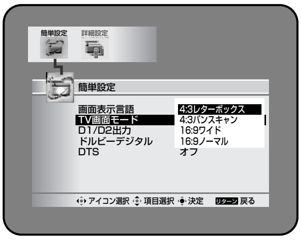
DVD・CDの設定をかえる(セットアップ)

TV画面モード（初期設定：4:3 レターボックス） 簡単設定

4:3 レターボックス ：通常のテレビで、ワイド画像を横長のまま表示して画面の上下に帯が入ります。
4:3 パンスキャン ：通常のテレビで、ワイド画像の一部をカットして画面全体に表示します。
16:9ワイド ：ワイドテレビまたはワイドモードのある通常テレビで見る場合に選びます。
16:9ノーマル ：[16:9ワイド]にすると通常サイズ（4:3）の映像が横長になり、そのときの画面サイズをテレビ側では切り換えることができない場合に選びます。



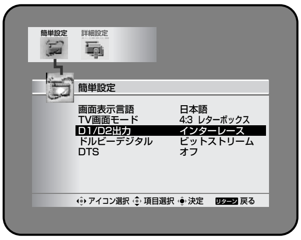
決定 を押す



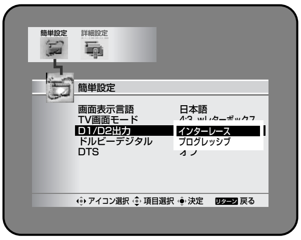
▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

D1/D2出力（初期設定：インターレース） 簡単設定

プログレッシブスキャンでの方式を選びます。
プログレッシブスキャンの説明は[➥ **23ページ**]をご覧ください。



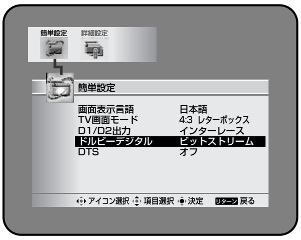
決定 を押す



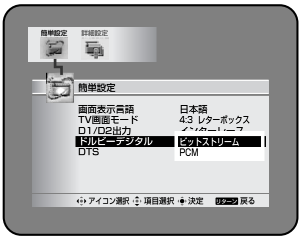
▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

ドルビーデジタル（初期設定：ビットストリーム） 簡単設定

ビットストリーム ：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプとデジタル接続したときに選びます。
PCM ：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。



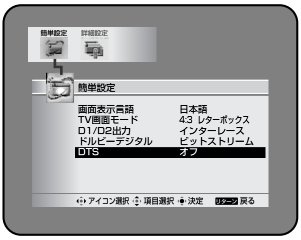
決定 を押す



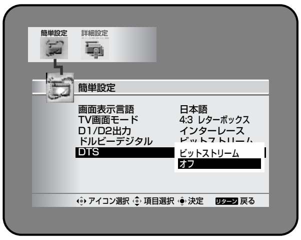
▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

DTS（初期設定：オフ） 簡単設定

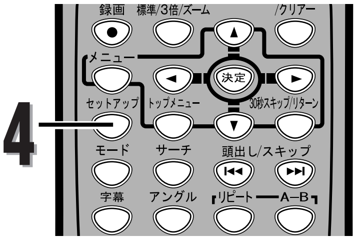
ビットストリーム ：DTSデコーダーを搭載したアンプとデジタル接続したときに選びます。
オフ ：DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。



決定 を押す



▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す



4 セットアップ を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。
- この時点でD1/D2出力の設定が有効になります。

DVD編 簡単設定

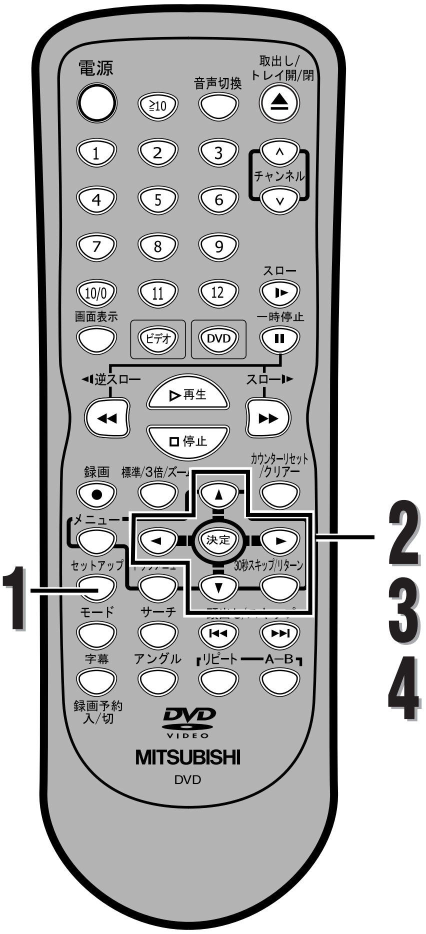
DVD・CDの設定をかえる(セットアップ)

言語設定

再生中の場合、 停止 を押します。

準備

● リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させせます。

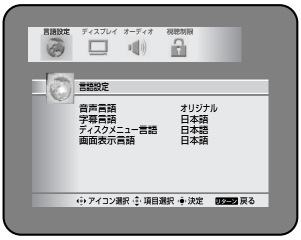


1 セットアップ を押す

● 「簡単設定」画面が表示されます。

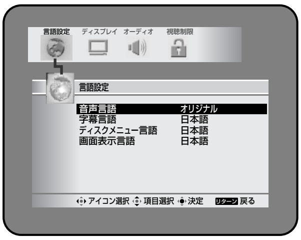
2 ◀ / ▶ を押して"詳細設定"を選択し、決定 を押す

● 「詳細設定」画面が表示されます。



3 ◀ / ▶ を押して"言語設定"を選択し、決定 を押す

● 手順3～4で1つ前のメニューに戻る場合は、 30秒スキップ/リターン を押します。

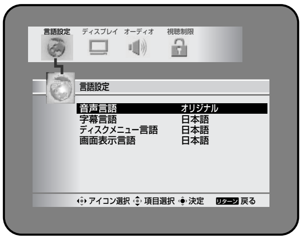


4 ▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

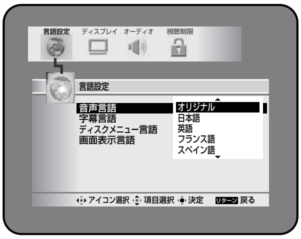
次ページに続きます。

DVD・CDの設定をかえる(セットアップ)

音声言語（初期設定：オリジナル）
再生ディスクの言語(音声)を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナル言語(音声)となります。

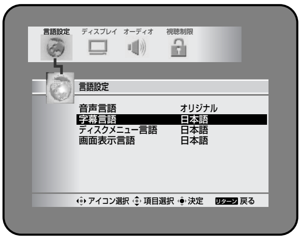


決定 を押す

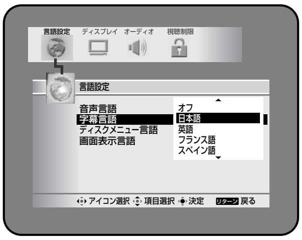


▲ / ▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

字幕言語（初期設定：日本語）
再生ディスクの言語(字幕)を選択します。
＊オフ：字幕なしとなります。

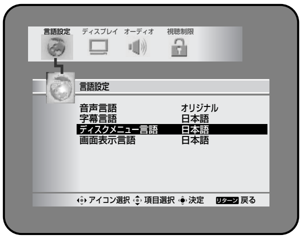


決定 を押す

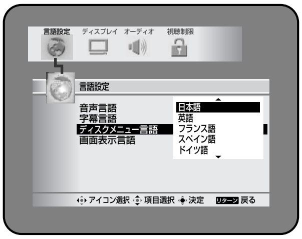


▲ / ▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

ディスクメニュー言語（初期設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。



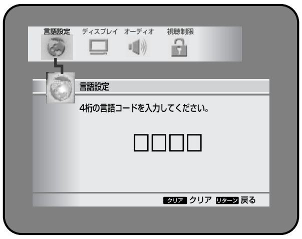
決定 を押す



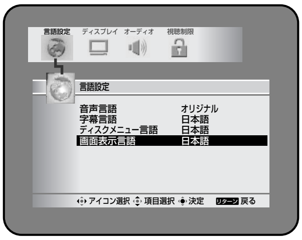
▲ / ▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

音声言語または字幕言語、ディスクメニュー言語に入っていない言語を選ぶ場合

[その他]を選択し、言語コード設定画面を表示させ 決定 を押します。[➡ 106ページ]の言語コード一覧表を参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

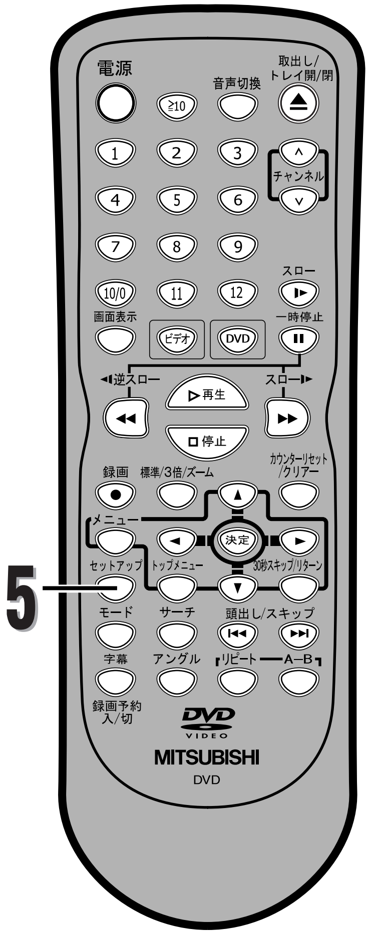


画面表示言語（初期設定：日本語） 簡単設定
本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。



決定 を押す

▲ / ▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す



5

セットアップ を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言!

- 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、[音声切換]ボタンと[字幕]ボタンを使います。詳しい説明は［ ➡ 91〜92ページ］にあります。

言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語(DAN)	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語(GRE)	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語(FIN)	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264
フリジア語	5271
アイルランド語(IRI)	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語(HUN)	5467
アルメニア語	5471

言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語(ICE)	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語(NOR)	6061
プロバンス語	6149
アファン語(オロモ語)	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語(POR)	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語(RUM)	6461
ロシア語※	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語(SWE)	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語(TUR)	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズール語	7267

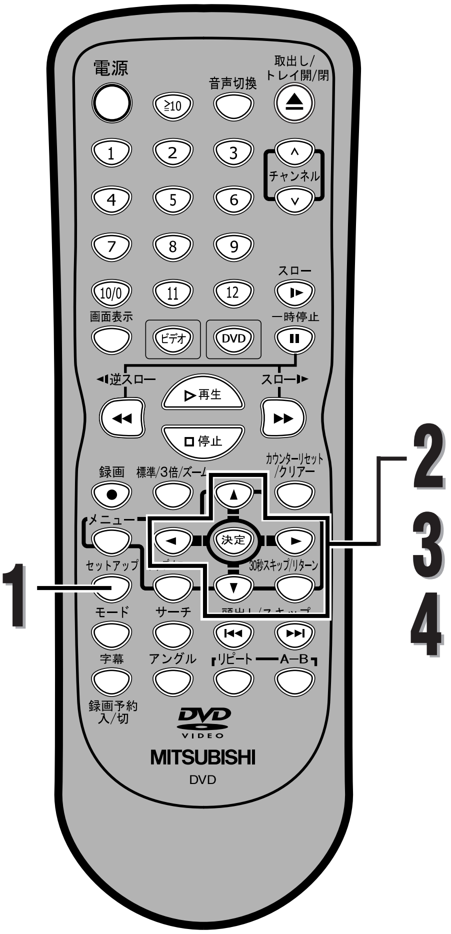
「※」のついている言語は、[音声切換]ボタンまたは[字幕]ボタンを押したとき、画面上にそのまま表示されます。
また、(　)で示されている言語は(　)通り、それ以外の言語は“－－－”で表示されます。

ディスプレイ（映像設定）

再生中の場合、
□停止 を押します。

準備

- リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させせます。



1

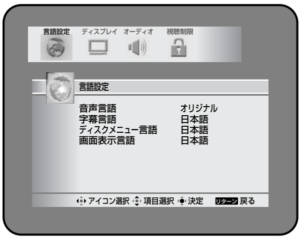
セットアップ を押す

- 「簡単設定」画面が表示されます。

2

◀/▶ を押して"詳細設定"を選択し、決定 を押す

- 「詳細設定」画面が表示されます。



3

◀/▶ を押して"ディスプレイ"を選び、決定 を押す

- 手順3～4で1つ前のメニューに戻る場合は、30秒スキップ/リターン を押します。

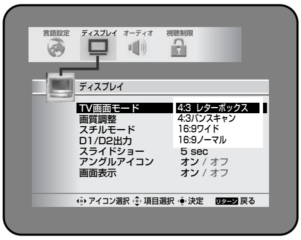
4

▲/▼ を押してそれぞれの項目を選び、決定 を押す

TV画面モード（初期設定：4:3 レターボックス） 簡単設定

4:3 レターボックス	：通常のテレビで、ワイド画像を横長のまま表示して画面の上下に帯が入ります。
4:3 パンスキャン	：通常のテレビで、ワイド画像の一部をカットして画面全体に表示します。
16:9ワイド	：ワイドテレビまたはワイドモードのある通常テレビで見る場合に選びます。
16:9ノーマル	：[16:9ワイド]にすると通常サイズ（4:3）の映像が横長になり、そのときの画面サイズをテレビ側では切り換えることができない場合に選びます。

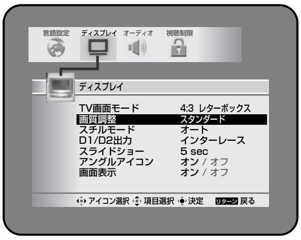
決定 を押す



▲/▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

次ページに続きます。

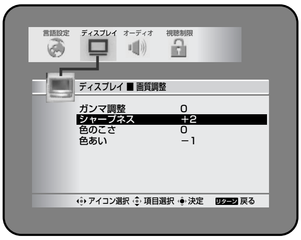
画質調整（初期設定：スタンダード）
表示する映像を見やすく設定します。
スタンダード　：映像の補正を行わずに再生します。
シネマ　　　　：暗部の階調を補正して、映画の暗いシーンなどを見やすく再生します。
ユーザー　　　：ガンマ調整、シャープネス、色のこさ、色あいを「ユーザー設定」で設定した値に調整します。
ユーザー設定　：ユーザー設定画面を表示します。



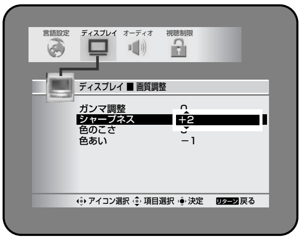
決定 を押す

▲ / ▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

ユーザー設定（「画質調整」で「ユーザー設定」を選択すると以下の設定をすることができます。初期設定：すべて0）
ガンマ調整　　：映像の中間明度を調整します。(－1、0、+1、+2)
シャープネス　：映像の鮮鋭度（解像感）を調整します。(－2、－1、0、+1、+2)
色のこさ　　　：映像の色の濃さを調整します。(－2、－1、0、+1、+2)
色あい　　　　：映像の色合いを調整します。(－2、－1、0、+1、+2)



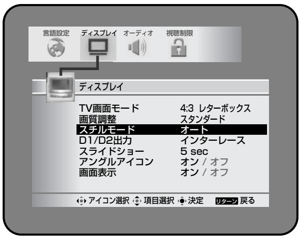
▲ / ▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す



▲ / ▼ を押して
選択したい数値を選び、
決定 を押す

[30秒スキップ/リターン]ボタンを押すと「画質調整」画面に戻り、設定が「ユーザー」になります。

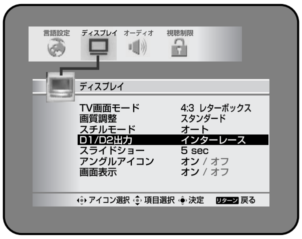
スチルモード（初期設定：オート）
一時停止時の画質を設定します。
オート　　：通常はこの設定を選びます。
フィールド：オートに設定しても画像がブレるときに設定します。[フィールド]を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレません。
フレーム　：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに選びます。[フレーム]を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを同時に出力させるため、画像がブレることがあります。



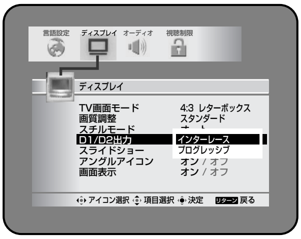
決定 を押す

▲ / ▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

D1/D2出力（初期設定：インターレース） 簡単設定
プログレッシブスキャンの方式を選びます。
プログレッシブスキャンの説明は[➡ **23ページ**]をご覧ください。



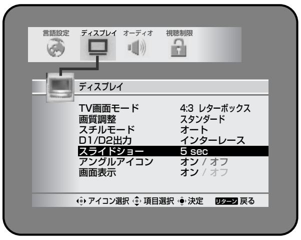
決定 を押す



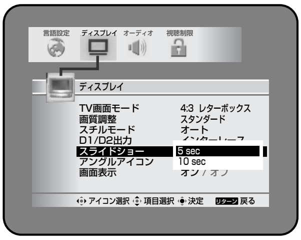
▲ / ▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

ちょっと一言!
- DVDディスクによっては、[TV画面モード]で設定したモードとは違う画面になることがあります。
- DVDディスク側で4:3レターボックスなどに指定されているときは、本機の[TV画面モード]で設定したモードとは違う画面になることがあります。

スライドショー（初期設定：5sec）
JPEG再生時のスライドショー時間を設定します。
5sec　　：約5秒ごとに画像が切り換わります。
10sec　 ：約10秒ごとに画像が切り換わります。
トラック：MP3とJPEGを同時に再生しているときは、MP3の切り換わりにあわせて画像が切り換わります。[デュアル再生]を[オン]にしてJPEGのみを再生しているときは、5秒ごとに画像が切り換わります。[トラック]は[デュアル再生]を[オン]に設定している場合のみ表示されます。

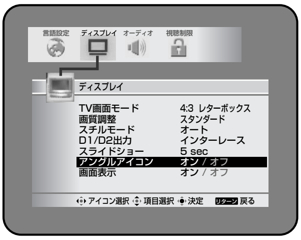


決定 を押す

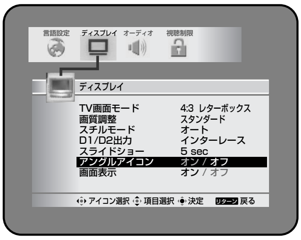


▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

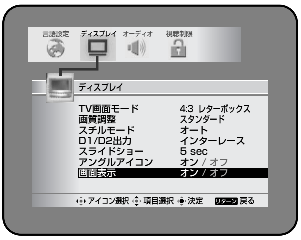
アングルアイコン（初期設定：オン）
画面上にアングルアイコンを表示／非表示します。



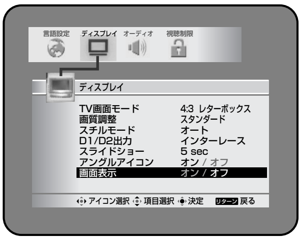
決定 を押す

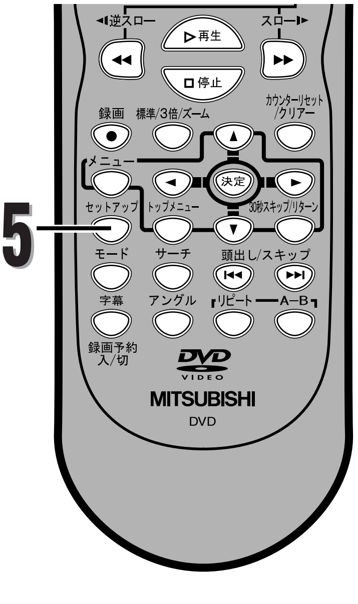


画面表示（初期設定：オン）
画面上に再生マークなどの操作時の表示を表示/非表示します。



決定 を押す





5

セットアップ を押す

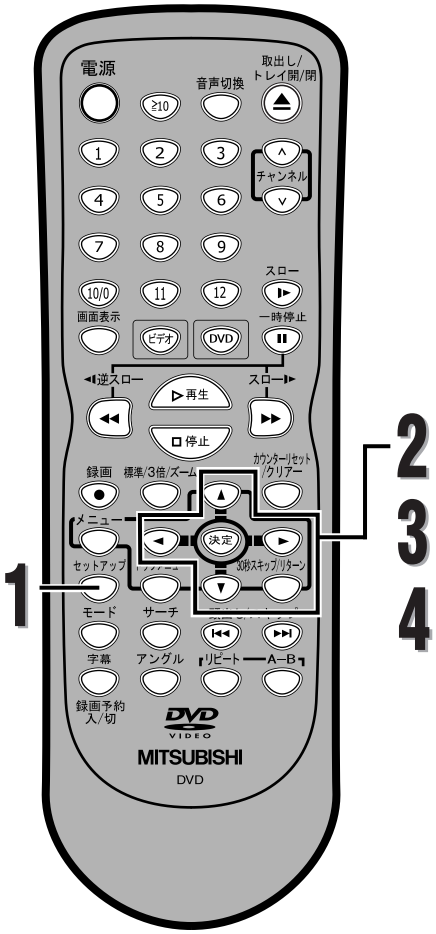
- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。
- この時点でD1/D2出力の設定は有効になります。

オーディオ（音声設定）

再生中の場合、 □停止 を押します。

準備

- リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。



1

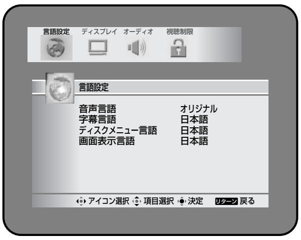
セットアップ ◯ を押す

- 「簡単設定」画面が表示されます。

2

◀/▶ を押して“詳細設定”を選択し、決定 を押す

- 「詳細設定」画面が表示されます。



3

◀/▶ を押して“オーディオ”を選び、決定 を押す

- 手順3～4で1つ前の階層のメニューに戻る場合は、30秒スキップ/リターン ◯ を押します。

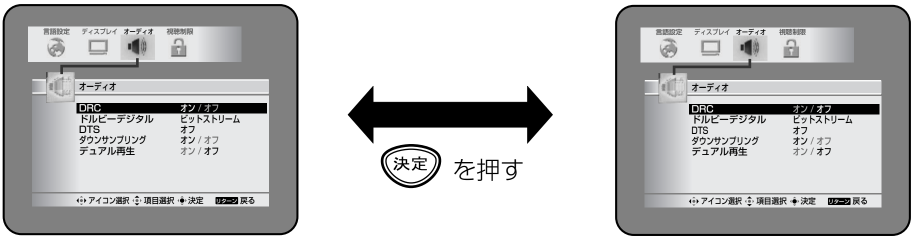
4

▲/▼ を押して項目を選び、決定 を押す

DRC（初期設定：オン）

オン：再生時音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、大きな音を小さく、小さな音を大きくします。夜間の映画鑑賞や会話が聞きづらいときに使うと効果があります。

- この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。



ドルビーデジタル（初期設定：ビットストリーム） 簡単設定
ビットストリーム ：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプとデジタル接続したときに選びます。
PCM ：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

決定 を押す

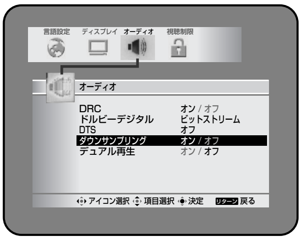
▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

DTS（初期設定：オフ） 簡単設定
ビットストリーム ：DTSデコーダーを搭載したアンプとデジタル接続したときに選びます。
オフ ：DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。

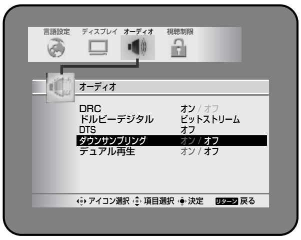
決定 を押す

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

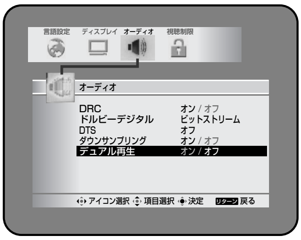
ダウンサンプリング（初期設定：オン）
デジタル端子接続時、96kHzのPCMで録音されたデジタル音声信号を48kHzに変換する/しないを設定します。また、96kHzの高音質で楽しむためには96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。
オン：96kHzに対応していないアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。96kHzで録音された信号を常に48kHzに変換して出力します。
オフ：デジタル端子から96kHzで出力されますが、ディスクのコピーガード機能が働いているときは、96kHzで録音された信号を48kHzに変換して出力します。



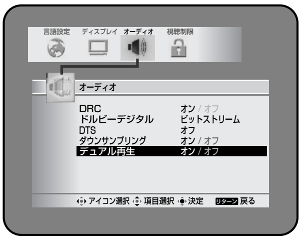
決定 を押す



デュアル再生（初期設定：オフ）
オン：MP3とJPEGを同時に楽しみたい場合に選びます。
オフ：MP3とJPEGを別々に楽しみたい場合に選びます。

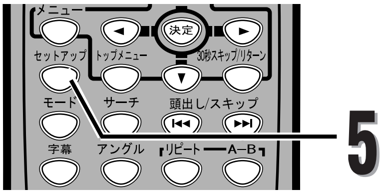


決定 を押す



ちょっと一言!

- 「ディスプレイ」（映像設定）の[スライドショー]表示設定時間が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。



5

セットアップ を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

DVD編 オーディオ（音声設定）

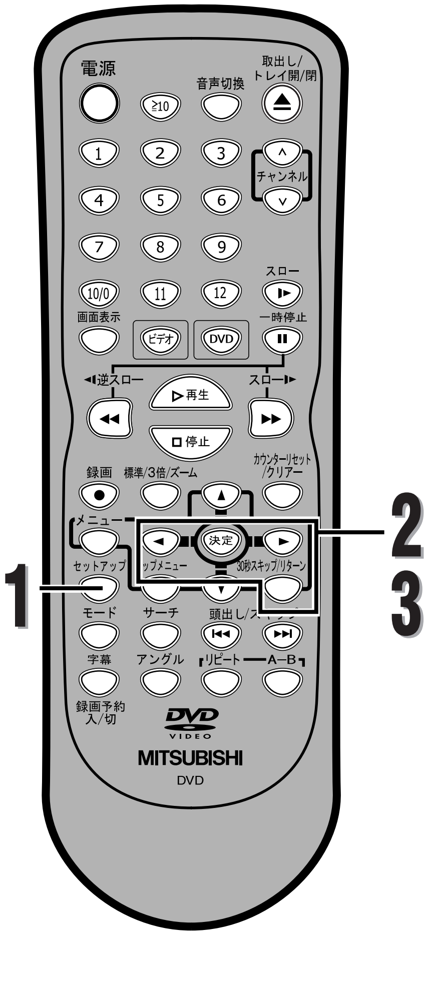
DVD・CDの設定をかえる(セットアップ)

視聴制限

再生中の場合、［□停止］を押します。

準備

● リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。



1

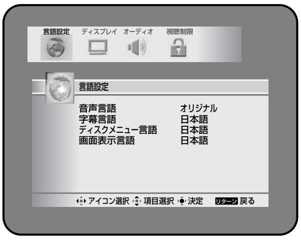
［セットアップ］を押す

● 「簡単設定」画面が表示されます。

2

［◀］/［▶］を押して"詳細設定"を選択し、［決定］を押す

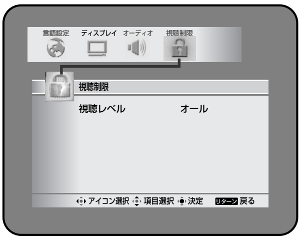
● 「詳細設定」画面が表示されます。



3

［◀］/［▶］を押して"視聴制限"を選択し、［決定］を押す

● 手順3〜4で1つ前の階層のメニューに戻る場合は、［30秒スキップ/リターン］を押します。

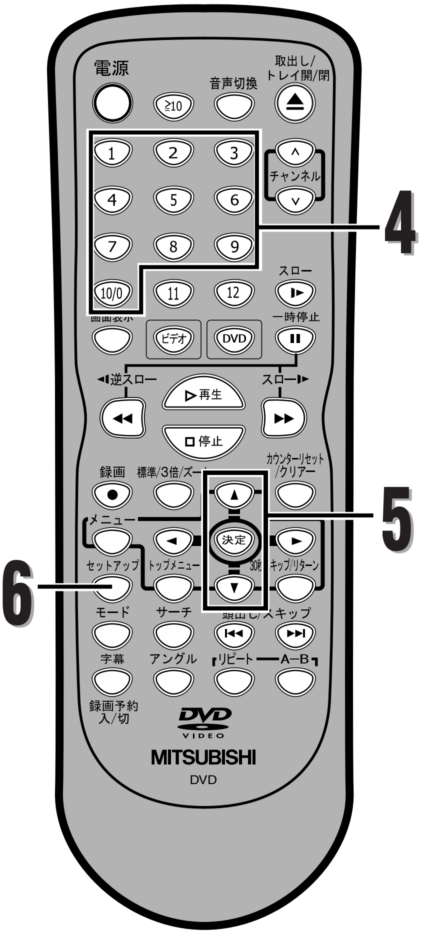


ちょっと一言！

視聴制限（パレンタル）について

● DVDビデオソフトによっては、暴力シーンなど子供に見せたくない内容を再生できないように、視聴の制限ができます。視聴できるレベルは、DVDビデオソフトによって異なります。

● 本機の視聴制限を設定すると、パスワードを入力しない限り、視聴制限を解除したり視聴レベルを変更することができなくなります。



ちょっと一言!

- 設定した方法で、視聴制限が作動するか確認してください。
- パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。

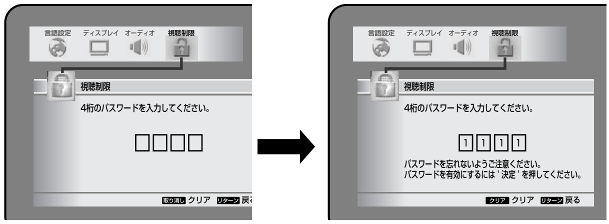
パスワードを忘れたとき

手順4で数字ボタンを[4] [7] [3] [7]の順に押すと、すでに入力されていたパスワードが解除されます。

4 数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

- 最初に設定をするとき、任意の4桁の数字を入力し、決定 を押します。

  この数字は次回からパスワードとして使用されます。忘れないようにご注意ください。
- パスワードを入力して視聴レベルとパスワード設定を変更することができます。
- 「4737」をパスワードにすることはできません。



5 ▲ / ▼ を押して項目を選び、決定 を押す

パスワード変更を選択した場合

- パスワード変更を選択した場合、数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、決定 を押します。

視聴レベルを選択した場合

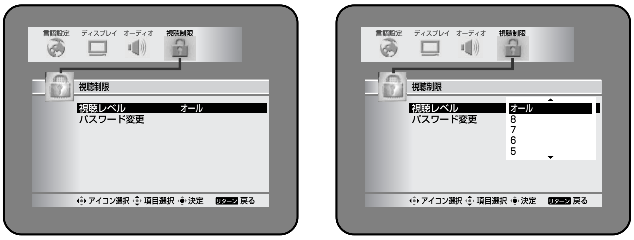
- ▲ / ▼ を押してオールまたは8〜1の項目を選び、決定 を押します。

(オール)
視聴制限をオフ状態にします。

(レベル8)
どのレベルのDVDビデオソフト（成人、一般、子供）でも再生できます。

(レベル7から2)
一般用と子供向けのDVDビデオソフトのみ再生できます。

(レベル1)
子供用のDVDビデオソフトのみ再生できます。成人向け、一般用のビデオソフトは利用できません。



6 セットアップ を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

DVD編 視聴制限

故障かな？と思ったときは

ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
共通	電源が入らない	※電源プラグがはずれている ※停電で電源が切れている	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む ●安全保護装置が働いていることがあるので、1度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください	ーー ーー
共通	画像と音声が出ない	※テレビ側にビデオ入力（映像/音声）端子がない	●テレビ側にビデオ入力端子がない場合は、本機と接続できません	21
共通	リモコンで操作できない	※リモコン操作切り換えボタンを押していない ※リモコンがこのプレーヤーの受光部に向いていない ※リモコンとこのプレーヤーが離れすぎている ※リモコンとこのプレーヤーの受光部の間に障害物がある ※リモコンの電池が消耗している ※リモコンに水など水分を含むものをこぼした	●ビデオを操作する場合は[ビデオ]ボタン、DVDを操作する場合は[DVD]ボタンを押す ●リモコンをこのプレーヤーの受光部に向ける ●7m以内のところで操作する ●障害物を取り除く ●電池を交換する ●リモコンの交換が必要です お買い求めの販売店にご相談ください	26 16 16 ーー 16 122
共通	**時計表示がでない** **(表示例)　ーー:ーー**	※停電があった ※電源プラグがはずれている	●電源を入れ、**時計を合わせ直す** ●電源プラグを**コンセント**に差し込み、時計合わせをやり直す	29-30 ーー
ビデオ部	ビデオの操作ができない	※DVDランプが点灯している ※録画予約されている	●本機の[DVD/ビデオ切換]ボタン、またはリモコンの[ビデオ]ボタンを押し、ビデオランプを点灯させてください ●リモコンの[録画予約入/切]ボタンを押し、予約スタンバイを解除する	26 49
ビデオ部	テレビの番組が映らない	※ビデオに接続されていたアンテナ線がはずれている ※アンテナ線が断線、ショートしている ※ビデオの受信チャンネルが設定されていない ※テレビの入力切換がビデオになっていない ※テレビ放送の電波が弱い	●**アンテナ線**を正しくつなぐ ●**アンテナ線を点検する** ●**受信チャンネル**を設定する ●テレビの切換を**「ビデオ」**に設定する ●電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときは販売店にご相談ください	19 ーー 31-32 43 20
ビデオ部	録画予約ができない	※時計合わせが正確に行われていない ※録画予約が正しくセットされていない ※ビデオテープが入っていない ※ビデオテープのツメが折れている ※停電があった	●**時計合わせ**を正確に行う ●**録画予約**を正しくセットする ●**ビデオテープ**を入れる ●ツメの場所に**セロハンテープ**を貼る ●電源を入れ、**時計合わせを正確に**行い、録画予約をやり直す	29-30 46-50 46 8 46-50
ビデオ部	録画ができない	※ビデオテープのツメが折れている	●ツメの場所に**セロハンテープ**を貼る	8
ビデオ部	再生の画像がきれいに映らない	※テレビの画面調整が正しくない	●テレビの**画面調整**をする	ーー
ビデオ部	音声はでるが再生画がでない、またはブルー一色になる	※ビデオヘッドが汚れている	●ヘッドクリーニングが必要です **クリーニングテープ(市販品)でヘッドクリーニングを行ってください**	8
ビデオ部	ビデオのときに映像がでない	※入力が1系統のテレビにS映像またはD端子を接続している	●入力が1系統のテレビをお持ちの場合は基本接続で、ご覧ください	21
ビデオ部	再生画像、音声共にでない	※テレビの入力切換などがテレビになっている ※映像・音声コードがはずれている	●テレビの入力切換などを**ビデオ**にする ●映像・音声コードを端子の根元まで**キッチリと差し込む。**	37 21-22
ビデオ部	ビデオに切り換えても画像がでない。｢ブー｣音のみがでる	※映像・音声コードの映像/音声が逆になっている	●映像・音声コードの映像/音声を**正しく接続**してください	21-22
ビデオ部	録画予約再生画像の一部にノイズがでる	※トラッキングの調整が合っていない ※別のビデオで録画したカセットテープを再生している ※傷んだテープを使用している	●見やすい画像になるように、**トラッキングを[チャンネルボタン（ ∧ / ∨ ）]**で調整する ●傷んだテープのご使用は**おひかえください**	10 ーー
ビデオ部	市販ビデオソフトをダビングしたら、画像が乱れる	※ビデオソフトはコピーガードの機能でガードされているので規格上ダビングできなくなっています	●故障ではありません	ーー
ビデオ部	テープが完全に巻戻されない	※巻戻しは2段階で行います。高速巻戻しから低速巻戻しに変わる際一度停止しますので、その時点で取出されますと完全に巻き取られていない場合があります	●故障ではありません	ーー
ビデオ部	ビデオテープを入れた直後、ビデオテープがでてきた	※ビデオ本体を保護するための安全機構が働いた ※ビデオ内部に異物が入った	●1度カセットテープを取り出してから、再度カセットテープをまっすぐに**入れ直してください** ●異物の取り出しが必要です。**異物を確認し、お買い求めの販売店や三菱電機 修理窓口ににご相談ください**	ーー 122-123

故障かな？と思ったときは

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
DVD部	DVDの操作ができない	※ビデオランプが点灯している	●本機の[DVD/ビデオ切換]ボタン、またはリモコンの[DVD]ボタンを押し、DVDランプを点灯させてください	26
	画像がでない	※映像コードがはずれている ※違う種類のディスクが入っている ※コピーガード機能が働いている ※ビデオランプが点灯している ※D1/D2出力がプログレッシブになっている（表示部に“P.SCAN”が点灯している）	●映像コードをしっかり接続する ●DVDディスク（リージョン番号2、ALL)、音楽用CD、MP3/JPEGファイルで記録されたディスク以外のものが入っていないか確認する ●本機とテレビを直接接続する ●本機の[DVD/ビデオ切換]ボタン、またはリモコンの[DVD]ボタンを押し、DVDランプを点灯させてください ●D1のみ対応のテレビとD端子で接続しているときは、［D1/D2出力］を［インターレース］にしてください	21-22 11-12 23 26 23
	再生が始まらない	※結露が発生している ※ディスクが入っていない ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクが汚れている ※視聴制限が有効になっている	●電源「入」のまま、乾燥するまで最低2時間放置する ●ディスクを入れる ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す ●ディスクを清掃する ●視聴制限を解除するか、視聴レベルを変更する	9 66 66 9 112-113
	音声がでない	※音声コードがはずれている ※音声出力の選択が正しくない ※音声接続をしている機器の電源が入っていない ※音声接続をしている機器の入力切換が正しくない ※DTS音声を再生している	●音声コードをしっかり接続する ●音声出力の選択を正しく行う ●音声接続をしている機器の電源を入れる ●音声接続をしている機器の入力切換を正しく行う ●DTS音声はアナログ出力端子からは出力されません	21-25 110-111 －－ －－ －－
	マルチチャンネルドルビーサウンドにならない	※間違ったケーブルを使用している	●マルチチャンネルドルビーサラウンドを楽しむには、同軸デジタルを使用し、マルチチャンネルドルビーデジタル対応アンプやデコーダーとの接続が必要です	25 110-111
	映像が乱れる	※コピーガード機能が働いている ※早送り、早戻しをした直後である ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している	●本機とテレビを直接接続する ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません ●本機から離して使用する	23 －－ 38
	セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDディスクにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	103-105
	アングルを変えて見ることができない	※DVDディスクに複数のアングルが記録されていない	●DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認する	93
	音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	91-92
	画面に「スクリーンセーバー動作中です。」と表示される	※スクリーンセーバーが動作している	●スクリーンセーバーは停止状態から約5分間の無操作で起動します。故障ではありません	13
	テレビ画面に“⊘”が表示され、操作できない	※本機またはディスクがその操作を禁止しています	●故障ではありません	67
	再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDディスクの仕様を満たしていない ※ディスクが汚れている ※ディスクにキズがある ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった	●**[停止]ボタン**を押してから、**[再生]ボタン**を押してみる ●ディスクを清掃する ●電源プラグをコンセントから抜き再度接続して再生する ●映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません	－－ 9 －－ －－
	勝手にDVDランプからビデオランプに切り換わる	※停止状態で30分経過すると、自動的にDVDの電源が「切」状態になります	●本機の[DVD/ビデオ切換]ボタン、またはリモコンの[DVD]ボタンを押し、DVDランプを点灯させる	26
	—ディスクを取り出してください。— 対応していないディスクが入っているか、キズや汚れのため再生できません。”と画面表示される	※再生できないディスクが入っている ※ディスクが汚れている ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクにキズがある	●再生できるディスクを入れる ●ディスクを清掃する ●ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す ●キズのないディスクと取り換えて再生する	11 9 66 9
	“リージョンエラー —ディスクを取り出してください。— この地域での再生は禁止されています。”と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる	11-12
	“視聴制限エラー 現在の視聴制限設定では再生が制限されています。"と画面表示される	※視聴制限の設定が有効になっている	●視聴制限の設定を変更する	112-113

ちょっと一言!

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。
- 市販のソフト（ディスク）によっては再生に支障をきたす場合があります。その場合は、三菱電機 ご相談窓口にご相談ください。

さくいん

あ行

頭出し[ビデオ] ・・・61
頭出し[DVD] ・・・77
アングルの変更 ・・・93
一時停止(静止画再生)[ビデオ] ・・・41
一時停止[DVD] ・・・77
お手入れ ・・・8～9
音声(言語)の変更 ・・・91、103～105
音声多重放送 ・・・60
音楽用CD ・・・11～12

か行

画質調整 ・・・95
カメラアングル ・・・93
画面表示の切り換え[ビデオ] ・・・63
画面表示の切り換え[DVD] ・・・98～99
乾電池 ・・・16
繰り返し再生 ・・・80～81
黒レベル設定 ・・・97
グループ ・・・12、99
言語コード一覧表 ・・・106
言語設定 ・・・103～105
故障かな？と思ったときは ・・・114～115
コマ送り ・・・78
コンポーネント映像入力端子(D端子) ・・・22

さ行

再生[ビデオ] ・・・37～38
再生[DVD] ・・・66～67
サーチ ・・・87～90
　再生(希望するタイムカウントからの再生) ・・・88
　再生(希望するチャプターまたはタイトルからの再生) ・・・87
　再生(希望するトラックからの再生) ・・・89
　再生(希望するところから再生する) ・・・87
　再生(マーカーをしたところからの再生) ・・・90
サテライト予約 ・・・58～59
時刻設定 ・・・29～31
視聴制限 ・・・112～113
字幕(言語)の変更 ・・・92、103～105
スクリーンセーバー ・・・13、49、115
ズーム再生 ・・・94
スチルモード ・・・108
スピーチコントロール ・・・95
スライドショー ・・・71、109
スロー再生[ビデオ] ・・・41
スロー再生[DVD] ・・・79
接続 ・・・19～25
設定一覧 ・・・100
セットアップ ・・・100

た行

タイトル ・・・12、87
タイトルメニュー ・・・85
ダウンサンプリング ・・・111
ダビング ・・・65
チャプター ・・・12、87
チャンネル設定 ・・・31～36
ディスクメニュー ・・・84
デュアル再生 ・・・111
テープポジション ・・・62

さくいん

トラッキング調整 ・・・10
トラック ・・・12、89
ドルビーデジタル ・・・25、111
トレイ ・・・66

は行

早送り[ビデオ] ・・・39
早送り[DVD] ・・・75
早戻し[DVD] ・・・75
パスワード ・・・113
パレンタルレベル ・・・112
バーチャルサラウンド設定 ・・・97
ピクチャーセレクト ・・・42
ビデオカセットテープ ・・・8
表示部 ・・・18
画面表示ボタンの使い方[ビデオ] ・・・63
画面表示ボタンの使い方[DVD] ・・・98〜99
プログラム再生 ・・・73、82
プログレッシブ ・・・23、102

ま行

マーカーサーチ ・・・90
巻戻し[ビデオ] ・・・39

ら行

ランダム再生 ・・・74、83
リージョン番号 ・・・11〜12
リジューム機能 ・・・76
リピート再生 ・・・80
リモコン ・・・16
留守録リターン ・・・53
録画[ビデオ] ・・・43〜45
録画(オフタイマー録画) ・・・45
録画(テレビ番組の録画) ・・・43〜44
録画予約 ・・・46〜59
録画予約(予約内容の確認) ・・・52
録画予約(留守録リターン) ・・・53
録画予約(予約延長設定) ・・・54〜55
録画予約(予約内容の修正・取り消し) ・・・56〜57
録画予約(サテライト予約) ・・・58〜59

英数字

A-Bリピート再生 ・・・81
BSデジタル放送の予約 ・・・58〜59
CMスキップ ・・・63
CPRM ・・・11
CS放送の予約 ・・・58〜59
DTS ・・・25、102
DVDビデオディスク ・・・11〜12
JPEG ・・・68〜74
MP3 ・・・68〜74
S映像出力 ・・・22
VRモード ・・・86
4:3 レターボックス ・・・102、107
4:3 パンスキャン ・・・102、107
16:9 ワイド ・・・102、107
16:9 ノーマル ・・・102、107

用語の解説

用語	説明
拡張子	OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。
黒レベル(設定)	暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくする機能です。
視聴制限（パレンタルレベル）	DVDディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
セットアップ（簡単設定、詳細設定）	本機でディスクを再生して楽しむため、映像出力設定や視聴制限（パレンタルレベル）などを設定します。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル(dB)単位で測定されます。ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルがあがり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き換え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラッキング	ビデオテープ再生中に画面に出たノイズを少なくし、きれいな再生画像になるように調整することです。
トラック	音楽用CDの各曲をトラックといいます。
ドルビーデジタルマルチチャンネルサラウンド	ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。最大5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタル（マルチチャンネルサラウンド）を楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。
バーチャルサラウンド	バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ビットレート	ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量を表します。
プログレッシブ	コンポーネント映像出力（D端子）で画像を再生するとき、ちらつきを少なくし、高画質な映像で再生します。
マルチアングル	同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。

その他

用語の解説

用語	説明
リジューム	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が メモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
リニアPCM	Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。 リニアPCMとは圧縮していないPCM信号です。CDの音声と同じ 方式ですが、DVDディスクの場合、サンプリング周波数が48kHzや96kHz で記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます
リージョン番号 (再生可能地域番号)	DVDは、地域に合わせて再生できるソフトが決められています。 その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
CPRM	CPRMとは、Content Protection for Recordable Mediaの略です。 「1回だけ録画可能」番組に対してスクランブルをかけて 録画する著作権保護システムです。
DRC	音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。 DRCオン/オフを切り換えることによって、テレビの会話などが 聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。
DTS	Digital Theater Systemの略です。デジタルシアターシステムズ社が 開発したデジタル音声システムです。音声6chを使って、正確な音場定位と 臨場感のある音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの 接続で映画館のような音声が楽しめます。ドルビーデジタルとは異なる サラウンドシステムです。
D1/D2映像出力端子 (D端子)	デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号です。 D映像入力端子やコンポーネント映像入力（Y、P_B/C_B、P_R/C_R）端子で テレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
JPEG	Joint Photographic Experts Groupの略です。静止画像ファイルの圧縮 形式のひとつで、不可逆圧縮方式となっています。 ファイルの拡張子は、「.jpg」「.jpeg」となります。
MP3	MPEG1 Audio Layer-3の略です。音声圧縮方式のひとつで、データを 1/10以下に圧縮することができます。ファイルの拡張子は、「.mp3」とな ります。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。 これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDディスクの映像/音声はこの 方式で記録されています。
NTSC方式	National Television System Committeeの略で、おもに日本やアメリカ で使われているテレビの信号方式です。
VHF放送とUHF放送	VHF放送は1～12チャンネル、UHF放送は13～62チャンネルで ご覧になれます。
4:3パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生した ときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。
4:3レターボックス	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生し たとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

仕　様

ビデオ部	テレビシステム		NTSC方式
	ビデオヘッド		回転式4ヘッド
	録画システム		回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式、 色信号低域変換直接記録方式VHS規格
	音声トラック		ハイファイ音声トラック：2チャンネル ノーマル音声トラック：1チャンネル
	使用テープ		1/2インチ(VHS)
	テープ速度		「標準」：33.4mm/秒、「3倍」：11.1mm/秒
	最大録画再生時間		「標準」：2時間40分(T-160使用時) 「3倍」：8時間(T-160使用時)
	受信チャンネル		VHF：1～12チャンネル、UHF：13～62チャンネル、CATV：C13～C63チャンネル
	受信方式		インターキャリア方式
	タイマー表示		午前/午後12時間システム
DVD部	形式		DVDビデオ、音楽用CD、MP3、JPEG
	使用ディスク		11ページを参照
	出力信号方式		NTSCカラー方式
	周波数特性		DVD(リニア音声) 20Hz～22kHz(48kHzサンプリング周波数) 20Hz～44kHz(96kHzサンプリング周波数) 音楽用CD 20Hz～20kHz(JEITA)
	信号対雑音比(S/N比)		CD：120dB(JEITA)
	ダイナミックレンジ		DVD(リニア音声)：93dB、CD：88dB(JEITA)
	総合ひずみ率		CD：0.01%、DVD：0.01%
	ワウ・フラッター		測定限界(±0.001% W PEAK)以下
端子	**ビデオ部**	アンテナ入力	VHF/UHF：F型コネクター(一軸)
		アンテナ出力	VHF/UHF：F型コネクター(一軸)
		映像入力	ピンジャック×2(後面1、前面1)
		音声入力	ピンジャック×4(後面2、前面2)
	ビデオ/DVD共用部	映像出力	ピンジャック×1(後面1)
		音声出力	ピンジャック×2(後面2)
	DVD部	S映像出力	ミニDIN 4pin (75Ω) (C) 0.286V(p-p) (75Ω)
		コンポーネント映像出力	D1/D2出力端子
		同軸デジタル音声出力	ピンジャック×1　1V(p-p) (75Ω)
		アナログ音声出力	ピンジャック×2(後面2) 2V(rms) (47kΩ)
電気的仕様(ビデオ部)	映像出力インピーダンス		75Ω
	映像出力レベル		1.0Vp-p
	音声出力レベル		–6dBv
	映像入力レベル		0.5～2.0Vp-p
	音声入力レベル		–10dBv
	映像S/N比		45dB以上
	音声S/N比		40dB以上
	ハイファイ音声		周波数特性：20Hz～20kHz、ワウ・フラッター：0.05%WRMS以下 ダイナミックレンジ：80dB以上
その他	電源		AC100V/50Hz, 60Hz
	消費電力		**約18W（待機時: 約3.3W）**
	停電保証		約30秒
	許容温度範囲		5℃～40℃
	許容湿度範囲		80%以下
	寸法		435mm(幅)×94mm(高さ)×233mm(奥行)
	質量		約2.7kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

保証書（別添付）

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日から１年間です

補修用性能部品の保有期間

当社は、DVDプレーヤー一体型ビデオの補修用性能部品を、製造打切り後8年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店かお近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったときは」の手順にしたがって、お調べください。
それでも不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いて、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機修理窓口」にご連絡ください。

保証期間中は
製品と保証書をご持参の上、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機修理窓口」にご依頼ください。
(本機の内部に異物を入れて故障したときや、接続・設定などに関しては、保証期間中でも有料修理になります。)

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
料金などについては、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機修理窓口」にご相談ください。

修理料金は
技術料・部品代などで構成されています。

接続をはずしたアンテナ線やコードには、あとで簡単に接続できるように、接続する端子の名前を書いた紙などを貼り付けておくことをおすすめします。

放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

三菱電機
修理窓口・ご相談窓口のご案内
（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まず **お買上げの販売店** へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は

修理のお問合わせは → **修理窓口 へ**

その他のお問合わせは → **ご相談窓口 へ**

お問合わせ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報を、下記のようにお取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事、および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質やサービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

保証とアフターサービス

修理窓口　電話受付：365日 24時間

北海道・東北地区

北海道全域、宮城県

東日本フロントセンター　東京都世田谷区池尻 3-10-3

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(03) 3424-1111
FAX	(03) 3424-1115
インターネット	http://www.melsc.co.jp

青森	(017) 773-8381	青森市大字野木字野尻 37-184
八戸	(0178) 28-8544	八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
盛岡	(019) 637-7454	盛岡市羽場13地割 30-11
水沢	(0197) 25-4511	奥州市水沢区卸町 2-3
秋田	(018) 865-4471	秋田市八橋三和町 19-36
横手	(0182) 32-1785	横手市卸町 3-2
大館	(0186) 42-2781	大館市餅田 2-5-44
山形	(023) 624-0018	山形市大野目 2-1-21
鶴岡	(0235) 24-6161	鶴岡市上畑町 5-4
郡山	(024) 959-6543	郡山市喜久田町卸 1-76-1
会津	(0242) 27-4426	会津若松市天寧寺町 3-7
原町	(0244) 24-2842	南相馬市原町区桜井町 1-173
いわき	(0246) 26-1822	いわき市小島町 1-2-2

関東・甲信越地区

東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県(飯田地区除く)、新潟県、静岡県

東日本フロントセンター　東京都世田谷区池尻 3-10-3

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(03) 3424-1111
FAX	(03) 3424-1115
インターネット	http://www.melsc.co.jp

関西・東海・北陸・中国・四国地区

大阪府、奈良県、兵庫県、京都府、和歌山県、滋賀県、愛知県、三重県、岐阜県、長野県(飯田地区)、石川県、富山県、福井県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、岡山県、香川県、徳島県、高知県、愛媛県

西日本フロントセンター　大阪市北区大淀中 1-4-13

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(06) 6454-3901
FAX	(06) 6454-3900
インターネット	http://www.melsc.co.jp

九州地区

福岡県、佐賀県

西日本フロントセンター　大阪市北区大淀中 1-4-13

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(06) 6454-3901
FAX	(06) 6454-3900
インターネット	http://www.melsc.co.jp

長崎	(095) 834-1116	長崎市丸尾町 4-4
佐世保	(0956) 30-7740	佐世保市木原町 155-1
熊本	(096) 380-0211	熊本市石原 1-10-35
八代	(0965) 33-5173	八代市緑町 13-1
大分	(097) 558-8803	大分市向原西 1-8-1
宮崎	(0985) 56-4900	宮崎市大字赤江字飛江田 150-1
延岡	(0982) 21-3540	延岡市惣領町 25-5
鹿児島	(099) 260-2421	鹿児島市卸本町 7-17
沖縄	(098) 898-3333	宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

■ 全国どこからでもおかけいただけるフリーコール
0120-139-365（無料）
いつも サンキュー　365日

■ 通常電話番号(携帯電話対応)　(03) 3414-9655
■ FAX　(03) 3413-4049

受付時間365日 24時間	■ ご相談対応	平日	9：00～19：00	(これ以外の時間は受付のみ可能です)
		土･日･祝	9：00～17：00	

● 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

B5-VK06A-V

本機の修理・取扱いのご相談は ⇒ お買上げの販売店へ 転居や贈答品などで、お買上げの販売店へご依頼できない場合は ・修理のお問合わせは ⇒「修理窓口」へ ・その他のお問合わせは ⇒「ご相談窓口」へ フリーダイヤル 0120-139-365	ご相談対応時間など、くわしくは「保証とアフターサービス」をごらんください。

愛情点検	●長年ご使用の製品の点検をぜひ！ （熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）			
	このような症状はありませんか	●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●コゲくさい臭いがする。 ●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ●電源スイッチを入れても、映像や音声がでない。 ●その他の異常・故障がある。	➡ ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

DVDプレーヤー一体型ビデオの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

本製品は J-Moss(JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)に基づくグリーンマークを表示しています。
特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しています。
詳細は、Webサイトhttp://www.MitsubishiElectric.co.jp/dvd をごらんください。

ご購入店などをメモしておくと、あとで役に立ちます。

形　名	DJ-V260	お買い上げの販売店	
お買い上げ日		(電話番号)	(　　)　　－

三菱電機株式会社

京都製作所　〒617-8550　京都府長岡京市馬場図所1番地

Printed in China

E8A90JD / 1VMN22435A ★★★